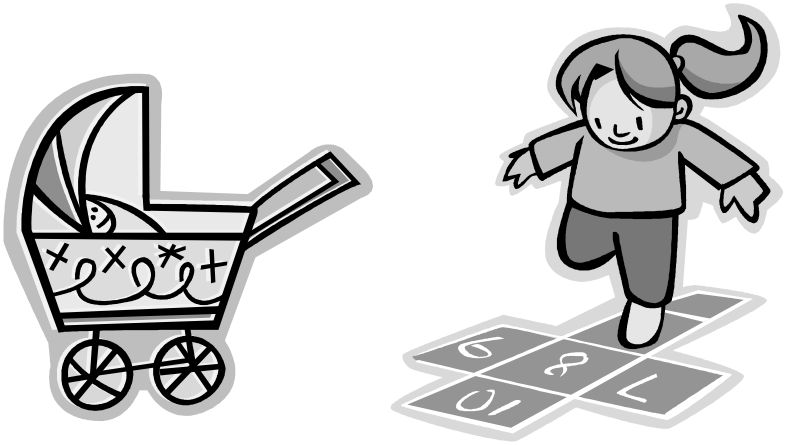
四日市市次世代育成支援対策行動計画策定のための
実態調査（ニーズ調査）

四日市市
子育てについてのアンケート
調査結果報告書



平成16年3月
四日市市

目　次

調査のあらまし 1

(1) 調査の名称
(2) 調査の目的
(3) 主な調査内容
(4) 対象者
(5) 調査方法・調査期間
(6) 対象者数・回収数
(7) 本報告書の集計・表記方法

■ 第１章　就学前児童・家庭のアンケート調査結果

１．回答者のプロフィール 3

① 回答者の続柄と年齢
② 子どもの年齢
③ 子どものきょうだい〔年齢別〕
④ 家族構成
⑤ 園などへ預けているか〔年齢別〕

２．親族関係のなかでの子育て 7

① 父方・母方の祖父母
② 祖父母からの手助け
③ 預けることのある親族・知人
④ 親族・知人に預けるときの実態
⑤ 保護者が面倒をみることができない日数
⑥ 保護者以外の誰が面倒をみるか

３．地域社会での子育て 11

(1)地域と子育て 11

① 住まいの種類〔年齢別〕
② 近所づきあい
③ 民生・児童委員
④ 地区の子育てしやすさ
⑤ 子育てしやすい理由・子育てしにくい理由
⑥ 住んでいる地区

(2)親同士の仲間づくり 15

① 親同士のグループ
② グループに参加したいか〔年齢別〕
③ 相談できる人・預かってもらえる人
④ 知人・親族のため自分が相談にのること・預かること

(3)外出時の困りごと 18

① 子どもと出かけるときの交通手段
② 出かけるとき困ること〔年齢別〕

4．父母の就労と子育て意識 20

(1)子育ての悩み 20

① ゆっくりした気分で子どもと向き合うこと
② 育児に自信がもてないこと
③ 子どもとの接し方
④ 虐待の意識
⑤ 子育ての悩み・問題

(2)母親の就労と子育て実態 23

① 母親が本市で住まい始めた時期
② 母親の仕事〔子の年齢別〕
③ 母親の職業
④ 母親が子どもの世話で仕事を休むこと
⑤ 母親が仕事をするため必要なこと
⑥ 母親が子どもと過ごす時間

(3)父親の就労と子育て実態 28

① 父親の仕事〔子の年齢別〕
② 父親の職業
③ 父親が子どもの世話で仕事を休むこと
④ 父親が仕事をするため必要なこと
⑤ 父親が子どもと過ごす時間
⑥ 父親は育児をよくするか
⑦ 父親は子どもとよく遊ぶか

(4)父母の就労時間帯 32

① 父母の就労時間帯

5．保育園・幼稚園等の利用と希望 34

(1)通園の現状 34

① 通園・託児先〔子の年齢別〕
② 預けている時間〔通園先別〕

(2)通園先の現状への評価 37

① 通園・託児先を選んだ理由〔通園先別〕
② 園舎や園庭、遊具への評価〔通園先別〕
③ 保育や幼児教育の内容への評価〔通園先別〕
④ 保護者への連絡への評価〔通園先別〕
⑤ 安全への配慮や危険管理への評価〔通園先別〕
⑥ 食事やおやつの内容への評価〔通園先別〕

(3)今後の希望 42

① 延長の希望〔通園先別〕
② 延長の希望時間帯〔通園先別〕
③ 土・日・祝日の希望〔通園先別〕
④ 入園年齢の希望〔通園先別〕
⑤ 保育園の延長希望時間帯〔実態・希望別〕
⑥ 幼稚園の延長希望時間帯〔実態・希望別〕

(4)園を休んだときの対応 50

① 子どもが園を休んだ日数
② 休んだとき面倒をみた人

6．支援施策の利用と希望 52

(1)施設・会の利用と希望 52

① 施設・会の利用
② 施設・会への評価
③ 施設・会の不満点

(2)子育て支援の利用と希望 55

① 子育て支援の知識
② 子育て支援の利用経験
③ 子育て支援の希望
④ 入学後、学童保育所（放課後児童クラブ）への希望〔通園先別〕

(3)子育て支援施策への意見・要望 59

① 本市の子育て支援への要望
② 子育て支援施策のあり方〔通園先別〕

■ 第２章　小学生児童・家庭のアンケート調査結果

１．回答者のプロフィール 61

① 回答者の続柄と年齢
② 子どもの学年
③ 子どものきょうだい〔学年別〕
④ 家族構成

２．放課後と土曜日の状況 64

① 平日放課後・土曜日昼間に過ごす場所〔学年別〕
② 平日放課後・土曜日昼間に一緒にいる人〔学年別〕
③ 学童保育所の利用状況・利用希望〔学年別〕

３．親族・地域社会での子育て 67

(1)親族関係のなかでの子育て 67

① 父方・母方の祖父母
② 祖父母からの手助け
③ 子どもが学校を休んだ日数
④ 休んだとき面倒をみた人
⑤ 保護者が面倒をみることができない日数
⑥ 保護者以外の誰が面倒をみるか

(2)地域社会での子育て 71

① 住んでいる地区
② 住まいの種類〔学年別〕
③ 近所づきあい
④ 民生・児童委員
⑤ 地区の子育てしやすさ
⑥ 子育てしやすい理由・しにくい理由

(3)親同士の仲間づくり 75

① 親同士のグループ
② グループに参加したいか〔学年別〕
③ 相談できる人・預かってもらえる人
④ 知人・親族のため自分が相談にのること・預かること

(4)外出時の困りごと 78

① 子どもと出かけるときの交通手段
② 出かけるとき困ること〔学年別〕

４．父母の就労と子育て意識 80

(1)子育ての悩み 80

① ゆっくりした気分で子どもと向き合うこと
② 育児に自信がもてないこと
③ 子どもとの接し方
④ 虐待の意識
⑤ 子育ての悩み・問題

(2)母親の就労と子育て実態 83

① 母親が本市で住まい始めた時期
② 母親の仕事〔学年別〕
③ 母親の職業
④ 母親が子どもの世話で仕事を休むこと
⑤ 母親が仕事をするため必要なこと
⑥ 母親が子どもと過ごす時間

(3)父親の就労と子育て実態 87

① 父親の仕事〔学年別〕
② 父親の職業
③ 父親が子どもの世話で仕事を休むこと
④ 父親が仕事をするため必要なこと
⑤ 父親が子どもと過ごす時間
⑥ 父親は子どもとよく遊ぶか〔学年別〕

(4)父母の就労時間帯 91

① 父母の就労時間帯

５．学童保育所への希望 93

(1)利用先の現状への評価 93

① 学童保育所への評価

(2)今後の希望 94

① 延長の希望
② 日・祝日の希望

６．支援施策の利用と希望 95

(1)施設・会の利用と希望 95

① 施設・会の利用
② 施設・会への評価
③ 施設・会の不満点

(2)子育て支援の利用と希望 98

① 子育て支援の知識
② 子育て支援の利用経験
③ 子育て支援の希望

(3)子育て支援施策への意見・要望 101

① 本市の子育て支援への要望
② 子育て支援施策のあり方

■ 資料編

① 調査票（アンケート用紙）
② 集計表

調査のあらまし

(1) 調査の名称

本調査の事業名は「四日市市次世代育成支援対策行動計画策定のための実態調査（ニーズ調査）」であり、通称として『子育てについてのアンケート』という呼び方を用いた。

(2) 調査の目的

本調査は、四日市市次世代育成支援対策行動計画を策定するための基礎資料とするため、市民の子育ての実情や意見・要望等を把握することを目的とする。

(3) 主な調査内容

本調査に用いた調査票（アンケート用紙）は、国が示した調査票の例をふまえ、本市の地域事情を勘案しながら、住民が回答しやすいよう設問・選択肢を工夫、整理して作成した。主な調査内容は、次のとおりであり、本調査に用いた調査票の写しは、本報告書の資料編に掲載した。

〇保育園や幼稚園、放課後児童クラブの利用状況、要望
〇上記事業を利用しない家庭の子育ての状況、希望
〇保護者の就労状況、家族・親族による子育ての状況
〇保護者の緊急の用事や病気の場合の対応
〇子育てグループへの参加状況、子育ての心配や相談
〇市の関連施策への要望

(4) 対象者

◎ 就学前児童の保護者向けのアンケート

平成 16 年 1 月 13 日において、四日市市内に居住する就学前児童（永住権をもつ外国人を含む）から、年齢児ごとに層化したうえで、無作為抽出した児童 2,000 人の保護者。

◎ 小学生児童の保護者向けのアンケート

平成 16 年 1 月 13 日において、四日市市内に居住する小学生児童（永住権をもつ外国人を含む）から、学年ごとに層化したうえで、無作為抽出した児童 2,000 人の保護者。

(5) 調査方法・調査期間

対象者宅へ直接郵送し、郵送により回収した。回答者、保護者等による自記式。平成 16 年 3 月 1 日に調査票を配付し、平成 16 年 3 月 12 日を提出期限とした。

(6) 対象者数・回収数

	調査対象者数（かっこ内は母集団）	回収数 （回収率）
就学前児童の保護者向けのアンケート	▽合計 2,000 人 ５歳児　333 人(3,114)… H 9.4.2 ～10.4. 1 生 ４歳児　333 人(3,046)… H10.4.2 ～11.4. 1 生 ３歳児　333 人(2,980)… H11.4.2 ～12.4. 1 生 ２歳児　333 人(3,008)… H12.4.2 ～13.4. 1 生 １歳児　334 人(3,034)… H13.4.2 ～14.4. 1 生 ０歳児　334 人(5,591)… H14.4.2 ～16.1.13 生 有効対象者数 1,995 人（未達者５人）	回収 986 人 有効回答者数 985 人（49.4%）
小学生児童の保護者向けのアンケート	▽合計 2,000 人 ６年生　333 人(2,982)… H 3.4.2 ～ 4.4.1 生 ５年生　333 人(2,897)… H 4.4.2 ～ 5.4.1 生 ４年生　333 人(3,048)… H 5.4.2 ～ 6.4.1 生 ３年生　333 人(2,975)… H 6.4.2 ～ 7.4.1 生 ２年生　334 人(2,939)… H 7.4.2 ～ 8.4.1 生 １年生　334 人(2,885)… H 8.4.2 ～ 9.4.1 生 有効対象者数 1,997 人（未達者３人）	回収 849 人 有効回答者数 849 人（42.5%）

(7) 本報告書の集計・表記方法

本報告書中の集計、表記は次のように記載している。

図（グラフ）の比率（%）は、特にことわりがないときは、単位「%」を省略して記載し、小数点第２位を四捨五入し小数点第１位まで示している。かっこ内の整数（小数点のない数字）は、回答者数を示す。

また、図（グラフ）では、比率（%）が小さいものは数値を記載していない場合があるので、資料編の集計表を参照する必要がある。

無回答を除いた回答者全体を 100%として集計している。複数回答の設問の場合や、小数点第２位の四捨五入などにより、比率（%）の合計が 100%とならないことがある。

第1章

就学前児童･家庭の
アンケート調査結果

１．回答者のプロフィール

〈まとめ〉

①回答者のほとんどは、母親・30 歳代。わずかだが父親による回答も。

②各年齢層から回答を得た。各年齢層が、それぞれ１割強～２割弱を占めている。

③１歳以下の５割前後は兄弟姉妹がいる。２歳以上の各年齢層の１～２割は兄弟姉妹がいない。

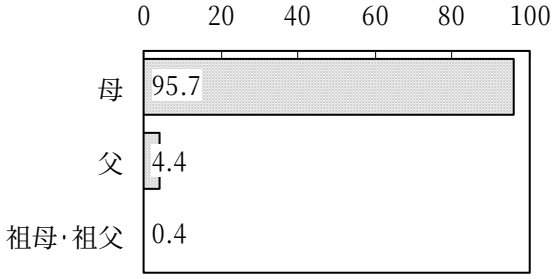
④就学前児童の約７割は核家族で暮らす。ひとり親家族は１割未満。

⑤保育園・幼稚園等を利用しているのは、１～２歳児の２割、４～５歳児の９割以上。

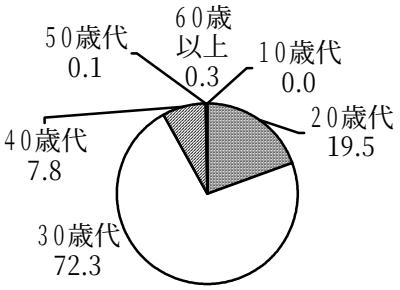
① 回答者の続柄と年齢

問１ 回答していただく方の、お子さんとの続柄は何ですか？

問２ 回答していただく方の年齢は、おいくつですか？



（問１＝回答者数 982 人）



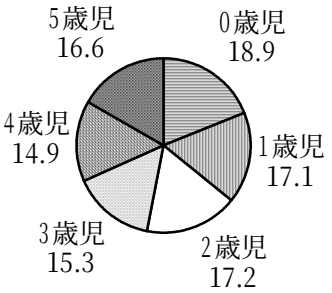
（問２＝回答者数 980 人）

回答者のほとんどは、母親・30 歳代。わずかだが父親による回答も。

回答者を子どもとの続柄でみると、９割以上が母親であり、父親が回答したのは１割未満である。ごく少数事例であるが、祖母・祖父による回答もみられる。また、回答者を年齢別にみると、約７割が 30 歳代であり、20 歳代が約２割である。少数事例であるが、40 歳代以上による回答もみられる。

② 子どもの年齢

問３ あて名のお子さんのお誕生月はいつですか？



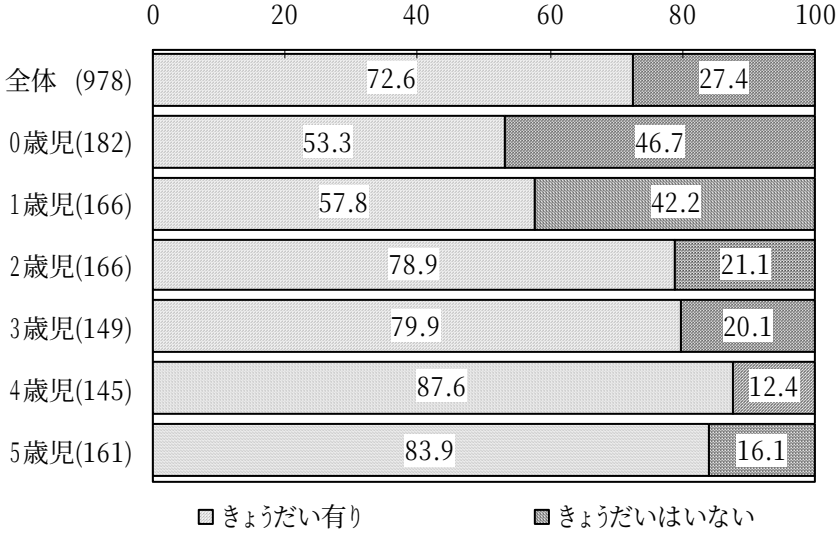
（回答者数 973 人）

各年齢層から回答を得た。各年齢層が、それぞれ１割強～２割弱を占めている。

児童の年齢層別にみると、０歳児（平成 14 年４月～平成 16 年１月生まれ）をはじめ、他の年齢層についても、それぞれ１割強から２割弱を占めている。

③ 子どものきょうだい　〔年齢別〕

問４ あて名のお子さんは、何人きょうだいですか？



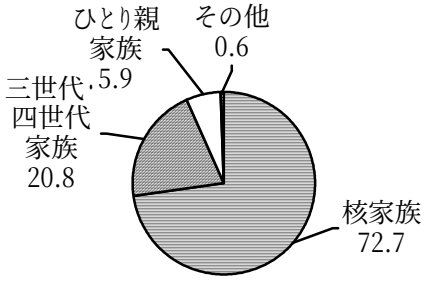
（かっこ内は回答者数）

１歳以下の５割前後は兄弟姉妹がいる。
２歳以上の各年齢層の１～２割は兄弟姉妹がいない。

就学前児童の約７割には、きょうだい（兄弟姉妹）がいる。０～１歳児の５割強～６割弱には、きょうだいがいる。また、２歳児以上では８割前後にきょうだいがいる。

④ 家族構成

問５ ご家族は、次のどれに当たりますか？



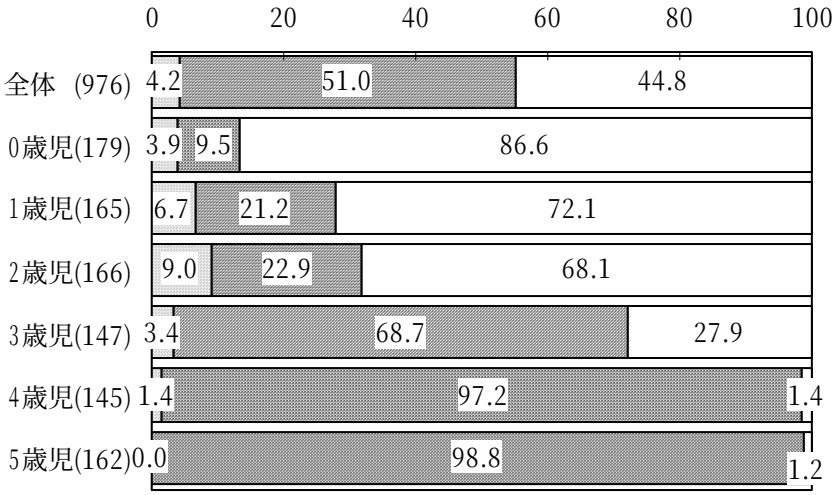
（回答者数 978 人）

就学前児童の約７割は核家族で暮らす。ひとり親家族は１割未満。

就学前児童の約７割は、核家族で暮らしている。また、三世代・四世代家族で暮らすのは、約２割である。少数事例ではあるが、ひとり親家族は１割未満である。

⑤ 園などへ預けているか　〔年齢別〕

問９ 現在、あて名のお子さんを、保育園や幼稚園や託児所、または親族などに預けていますか？



（かっこ内は回答者数）

保育園・幼稚園等を利用しているのは、
１～２歳児の２割、４～５歳児の９割以上。

就学前児童の約５割は、「保育園や幼稚園、託児所など」に預けられており、１割未満は「親族や友人」に預けられている。

児童の年齢層別に「保育園や幼稚園、託児所など」に預けている人をみると、０歳児で約１割だが、１～２歳児では約２割に達する。また、３歳児では約７割に及び、４～５歳児では９割以上を占める。「親族や友人」に預けているのは、わずかではあるが、児童の年齢層にかかわらず存在する。

「預けていない」家庭についてみると、０～２歳児では過半数を占めているが、３歳児では約３割となり、４～５歳児では、ごく少数である。

２．親族関係のなかでの子育て

〈まとめ〉

①父方の祖父母の約５割、母方の祖父母の約４割は市内にいるが、祖父母が県外という家庭も約２割。

②祖父母に預かってもらうのは７割。手助けが特にない人が約１割。

③親族・知人等に預ける場合、ほとんどが祖母に預けている。

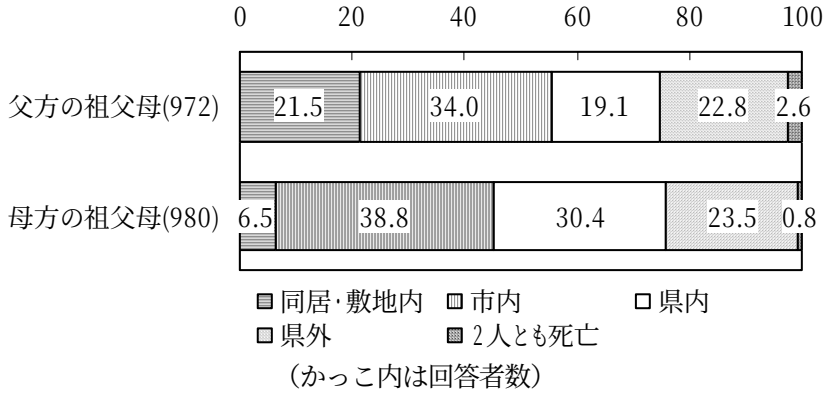
④親族・知人等に預ける時間帯のピークは、11～15 時頃。

⑤子どもの面倒をみられないことがあった保護者は５割弱。

⑥「保護者」の代わりに面倒をみたのは、父親４割強、祖父母８割。

① 父方・母方の祖父母

問６ お子さんの、父方のおじいさん・おばあさんは、どちらにお住まいですか？
問７ お子さんの、母方のおじいさん・おばあさんは、どちらにお住まいですか？



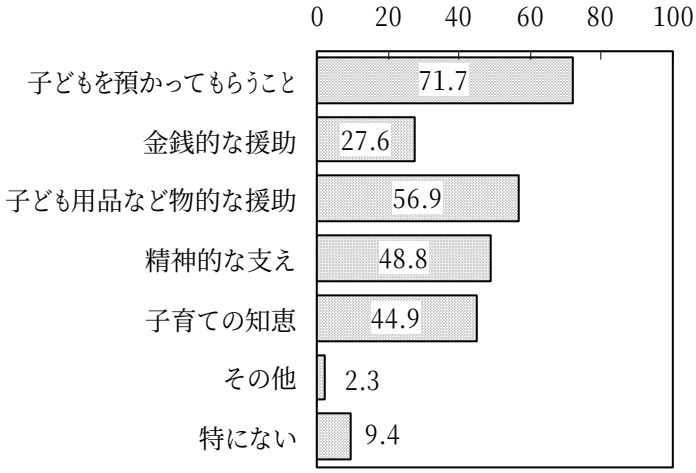
（かっこ内は回答者数）

父方の祖父母の約５割、母方の祖父母の約４割は市内にいるが、祖父母が県外という家庭も約２割。

就学前児童からみて、父方の祖父母が「同居・敷地内」で一緒に暮らしているのは約２割であり、「市内」は約３割である。同様に母方の祖父母は、「同居・敷地内」が１割未満であり、「市内」は約４割である。その一方で「県外」に祖父母がいるという家庭に着目してみると、父方・母方ともに約２割が「県外」で暮らしている。

② 祖父母からの手助け

問 8 子育てで、お子さんのおじいさん・おばあさんの手助けはありますか？



（回答者数 980 人、複数回答）

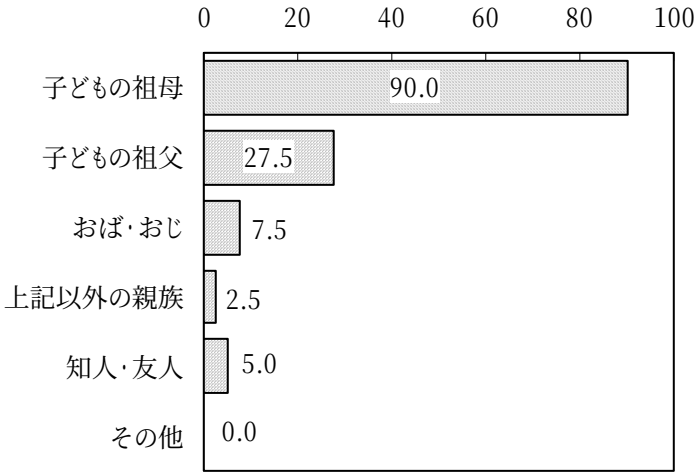
祖父母に預かってもらうのは７割。手助けが特にない人が約１割。

就学前児童のいる家庭・保護者で、祖父母に「子どもを預かってもらうこと」があるのは、約７割である。次いで、金品による援助を得ているのは、「金銭的な援助」の場合は約３割、「子ども用品など物的な援助」は約６割である。さらに、「精神的な支え」を得ているのは約５割である。

一方、祖父母による手助けが「特にない」という事例もあり、約１割である。

③ 預けることのある親族・知人

問 10 預けている人はどなたですか？



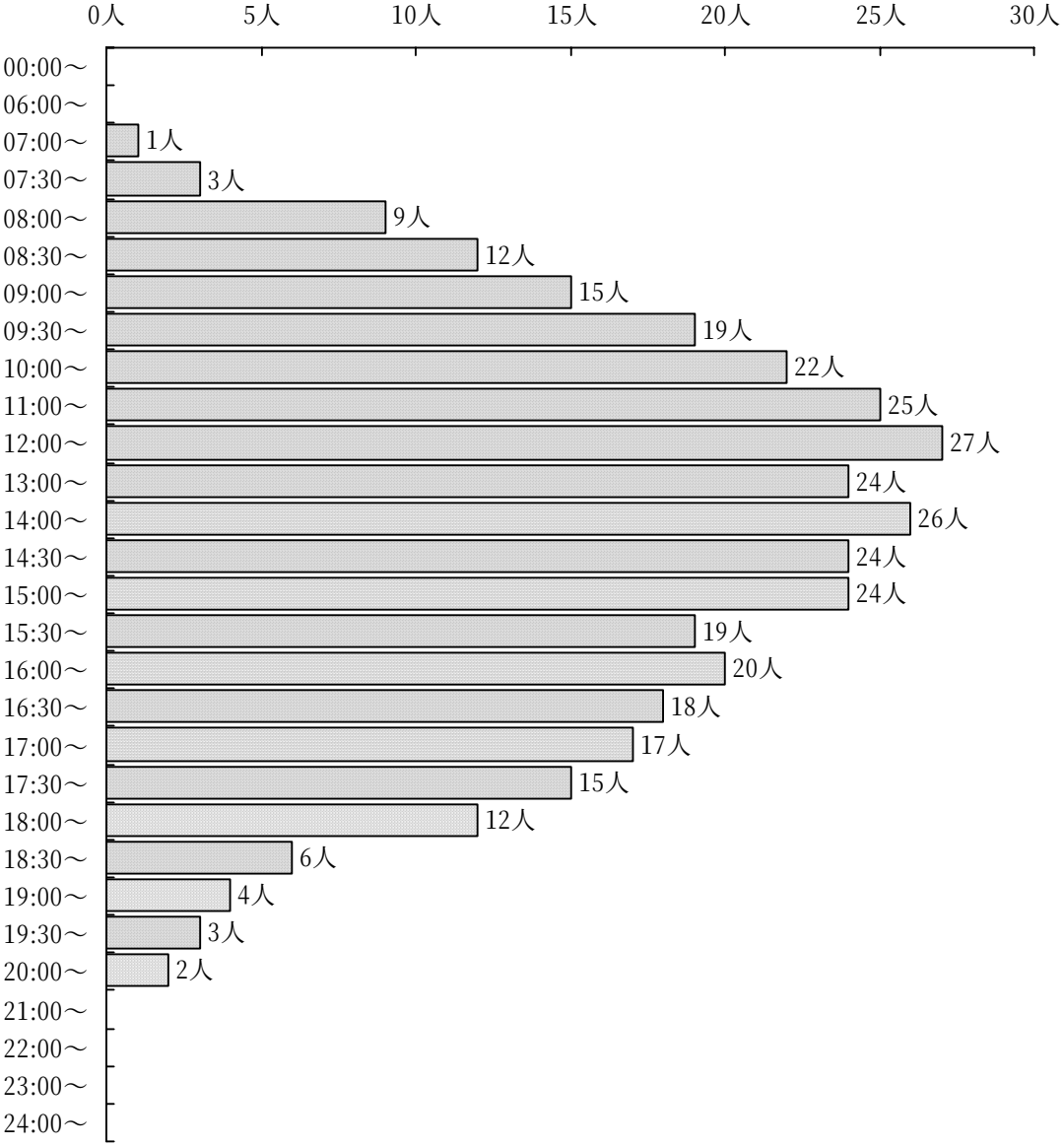
（回答者数 40 人、複数回答、親族等に預けている人）

親族・知人等に預ける場合、ほとんどが祖母に預けている。

問 9 で「親族や友人に預けている」とした家庭の預け先は、約９割が「子どもの祖父母」である。それ以外の親族関係にある人々に預けている例はわずかである。また、「知人・友人」に預ける例も、１割未満である。

④ 親族・知人に預けるときの実態

問 11 預けている日数と時間はどのくらいですか？



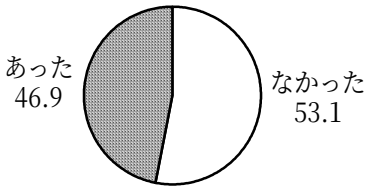
（回答者数 34 人、親族等に預けている人）

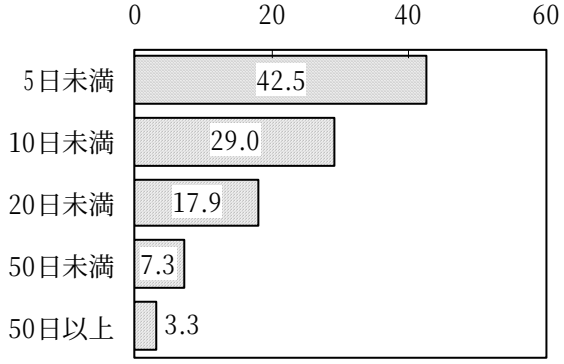
親族・知人等に預ける時間帯のピークは、11～15 時頃。

問 9 で「親族などに預けている」とした家庭（児童）34 人に限って、預けている実態を時間帯ごとに整理したものが上図である。親族等に預けている時間帯は、7 時台から 20 時台までに及ぶ。預けている人数のピークは、11～15 時頃にある。

⑤ 保護者が面倒をみることができない日数

問 21　この１年間に、緊急の用事や保護者の病気や出産で、あて名のお子さんの面倒をみられないことがありましたか？





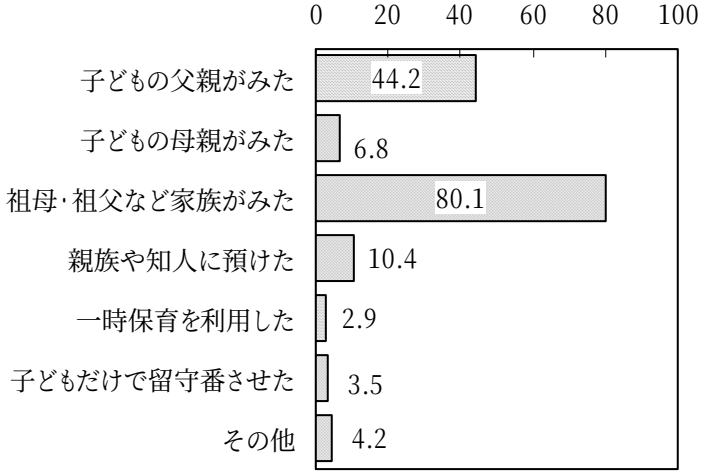
（回答者数 970 人、右図はみられないことのあった回答者 424 人の日数）

子どもの面倒をみられないことがあった保護者は５割弱。

「１年間に、緊急の用事や保護者の病気や出産で、…お子さんの面倒をみられないこと」があった家庭・保護者は、約５割である。そのうちの約半数は、みられなかった日数が年間５日未満である。一方、ごく少数事例ではあるが、年間 50 日以上「みられないこと」があった家庭・保護者も見受けられる。

⑥ 保護者以外の誰が面倒をみるか

問 22 その時は、どなたがお子さんの面倒をみましたか？



（回答者数 453 人、複数回答、保護者が面倒をみることができなかったことのある人）

「保護者」の代わりに面倒をみたのは、父親４割強、祖父母８割。

「みられないこと」があった家庭・保護者が、その時に面倒をみてもらったのは、約８割が「祖母・祖父など家族」である。「子どもの父親」は約４割である。

一方、「子どもだけで留守番させた」「一時保育を利用した」とする例も少数ではあるが見受けられる。

３．地域社会での子育て

(1)地域と子育て

〈まとめ〉

①０歳児・１歳児の２～３割は賃貸住宅、４歳以上の７割台は持ち家一戸建で、暮らす。

②あいさつ程度の付き合いが５割弱。ほとんど付き合いなしは１割未満。

③地区の民生・児童委員を知らない家庭が７割。よく相談するのは少数事例。

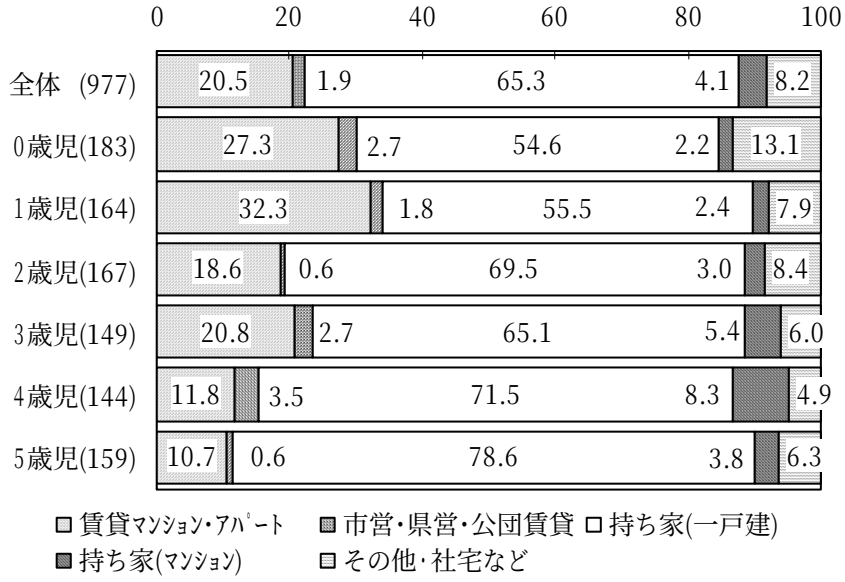
④子育てしやすい地区であると感じる家庭は６割以上。

⑤自然環境、公園・児童館など公共施設は、子育てしやすさ感を分ける指標のひとつ。

⑥市内全域から回答を得た。おおよそ就学前児童の人口比どおりの分布。

① 住まいの種類　〔年齢別〕

問 25 お住まいは、次のどれに当たりますか？



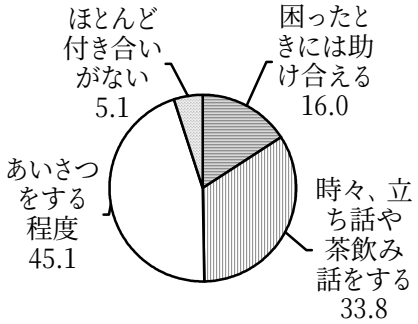
（かっこ内は回答者数）

０歳児・１歳児の２～３割は賃貸住宅、
４歳以上の７割台は持ち家一戸建で暮らす。

就学前児童の約７割は「持ち家（一戸建）」の住宅環境で暮らしている。児童の年齢層別にみると、０～１歳児では「賃貸マンション・アパート」が３割前後であるのに対し、４～５歳児では１割台である。また、「持ち家（一戸建）」は、０～１歳児では５割台であるが、４～５歳児では７割台に及ぶ。

② 近所づきあい

問 26 お宅では、普段近所とのおつきあいをどの程度していますか？



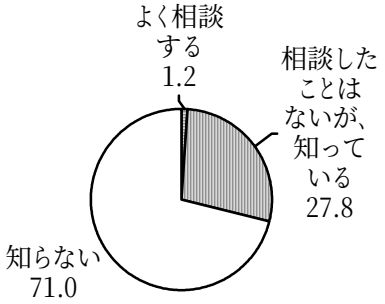
（回答者数 977 人）

あいさつ程度の付き合いが５割弱。ほとんど付き合いなしは１割未満。

就学前児童をもつ家庭・保護者の近所づきあいの程度は、「困ったときには助け合える」とするのは２割に満たない。「時々、立ち話や茶飲み話をする」のは約３割であり、「あいさつをする程度」は約５割である。ごく少数事例ではあるが「ほとんど付き合いがない」とする家庭・保護者も見受けられる。

③ 民生・児童委員

問 27 お住まいの地区の民生・児童委員、主任児童委員をご存知ですか？



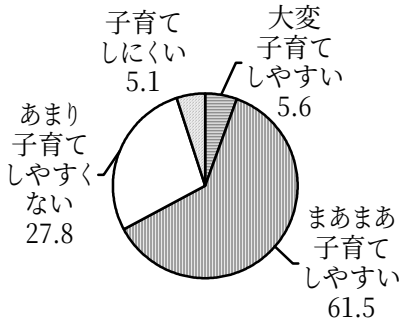
（回答者数 976 人）

地区の民生・児童委員を知らない家庭が７割。よく相談するのは少数事例。

地区の民生委員を「知らない」とする家庭・保護者は約７割である。「相談したことはないが、知っている」のは約３割であり、「よく相談する」のはごく少数事例である。

④ 地区の子育てしやすさ

問 28 お住まいの地区は子育てしやすい地域ですか？



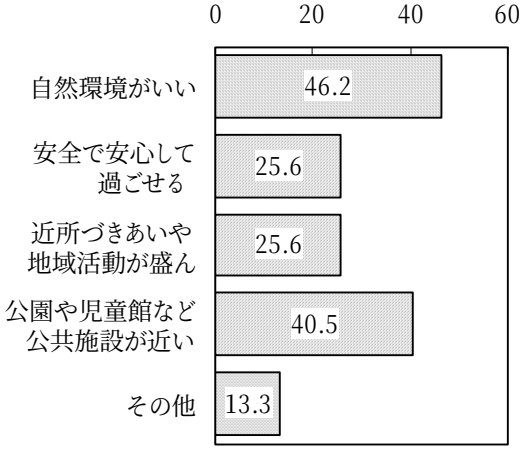
（回答者数 967 人）

子育てしやすい地区であると感じる家庭は６割以上。

住んでいる地区が「大変子育てしやすい」または「まあまあ子育てしやすい」と感じているのは、合わせて６割以上である。一方、「あまり子育てしやすくない」と指摘するのは約３割であり、「子育てしにくい」とする家庭・保護者は１割未満である。

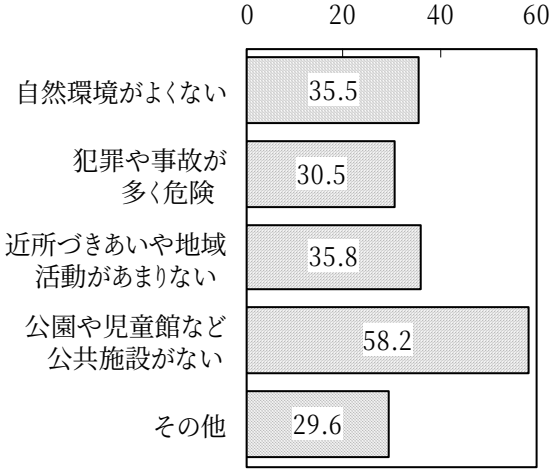
⑤ 子育てしやすい理由・子育てしにくい理由

問 29 子育てしやすい理由



（問 29＝回答者数 625 人、複数回答
子育てしやすいと感じる人）

問 30 子育てしにくい理由



（問 30＝回答者数 318 人、複数回答
子育てしにくいと感じる人）

自然環境、公園・児童館など公共施設は、
子育てしやすさ感を分ける指標のひとつ。

住んでいる地区が「子育てしやすい」と感じている人のうち約５割が、その理由として「自然環境がいい」ことを指摘し、約４割は「公園や児童館など公共施設が近い」ことを挙げている。子育てしやすい理由のうち「その他」の主な記入内容は、「近所に同じくらいの年頃の児童がいる」や「病院が近い」などが目立つ。

一方、住んでいる地区が「子育てしにくい」と感じている人のうち約６割が、その理由として「公園や児童館など公共施設がない」ことを問題として指摘している。子育てしにくい理由のうち「その他」の主な記入内容は、「近所に同じくらいの年頃の児童が（少）ない」や「公園・広場があっても遊びやすい状態でない」、「交通量が多い」などの意見が目立つ。

⑥ 住んでいる地区

問 24 お住まいの地区はどちらですか？

富洲原	2.5	三重	7.7
富田	4.0	県	1.7
羽津	5.9	八郷	3.8
常磐	10.5	下野	1.4
日永	6.6	大矢知	6.3
四郷	7.1	河原田	1.3
内部	7.1	水沢	1.2
塩浜	1.3	保々	3.2
小山田	1.5	海蔵	4.4
川島	5.2	橋北	2.0
神前	3.3	中部	5.8
桜	4.6	知らない	1.4

（回答者数 972 人）

市内全域から回答を得た。おおよそ就学前児童の人口比どおりの分布。

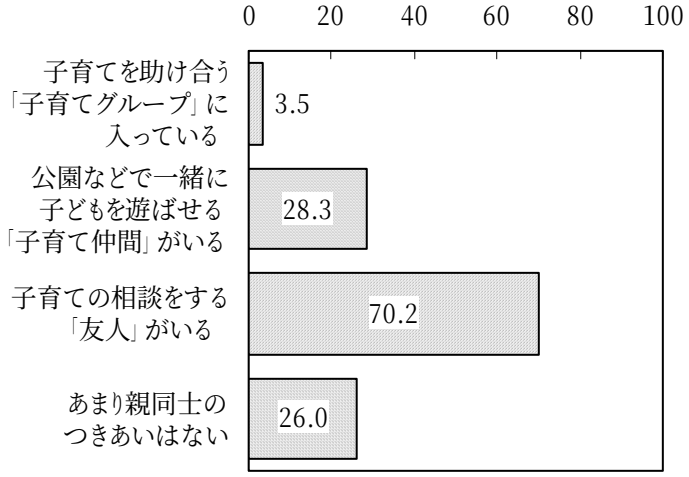
回答は、市内全域から得たものである。就学前児童の人口比どおりの分布になっている。

(2)親同士の仲間づくり

〈まとめ〉
①７割には相談できる「友人」がいるが、親同士のつきあいがない家庭は３割弱。
②「子育てグループ」に条件が合えば参加したい人は各年齢層の６～８割。
③相談できる人がいるのは９割以上、預かってもらえる人がいるのは８割。
④相談にのってあげる人は６割弱、子どもを預かることがあるのは３割。

① 親同士のグループ

問 31 あなたは、子どもの親同士のグループに参加したり、親同士のつきあいをしていますか？



（回答者数 976 人、複数回答）

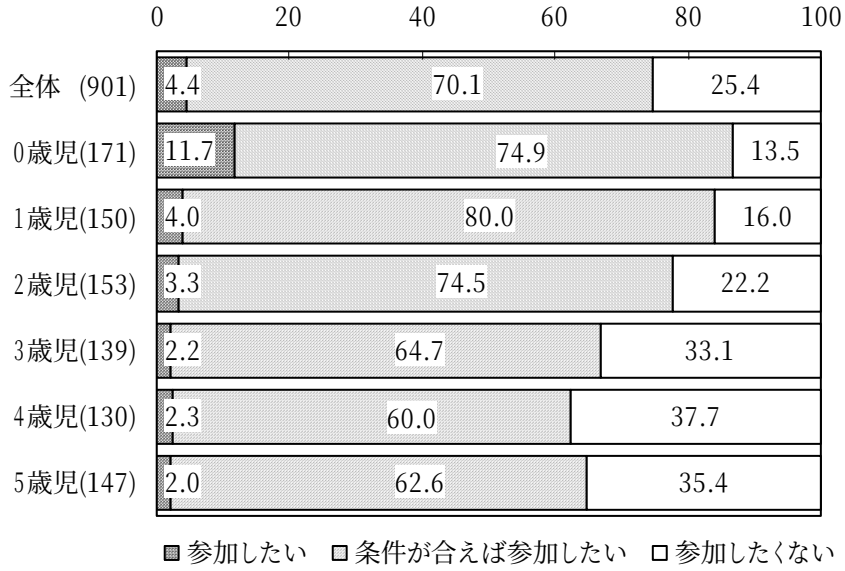
７割には相談できる「友人」がいるが、親同士のつきあいがない家庭は３割弱。

「子育ての相談をする『友人』がいる」とする家庭・保護者は約７割であり、「公園などで一緒に子どもを遊ばせる『子育て仲間』がいる」のは約３割である。「子育てを助け合う『子育てグループ』に入っている」とする保護者は、ごく少数事例であり１割に満たない。

一方、「あまり親同士のつきあいはない」とする家庭・保護者は、約３割に及んでいる。

② グループに参加したいか　〔年齢別〕

問 32 「子育てグループ」があれば参加したいですか？



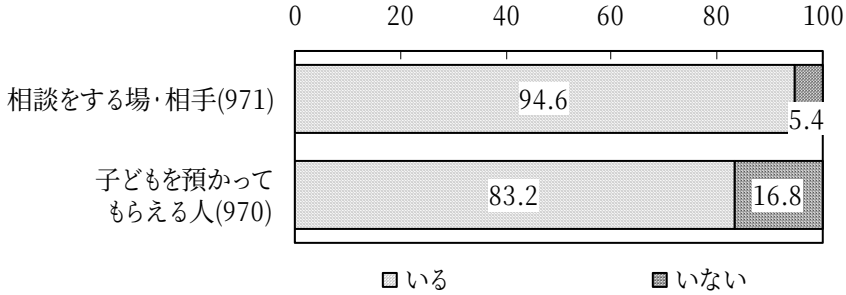
（かっこ内は回答者数、前問で「仲間」「友人」がいる・つきあいがない人）

「子育てグループ」に条件が合えば参加したい人は各年齢層の６～８割。

問 31 で、「仲間」「友人」がいる、または、つきあいがない人について、「子育てグループがあれば」参加したいかを尋ねたところ、児童の年齢層にかかわらず６～８割台の家庭・保護者は、「条件が合えば参加したい」としている。特に、０歳児では「参加したい」とする人が約１割に及んでいる。

③ 相談できる人・預かってもらえる人

問 33 あなたには、育児のことで相談にのってもらったり、子どもを預かってもらえる人はいますか？



（かっこ内は回答者数）

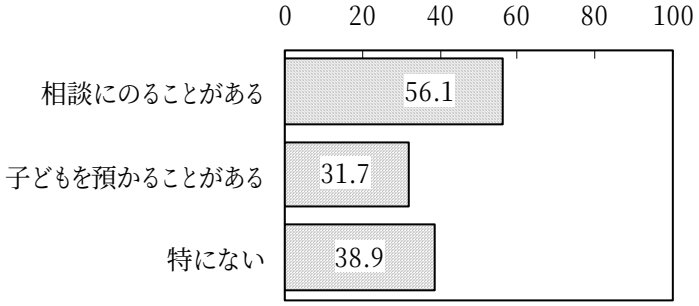
相談できる人がいるのは９割以上、預かってもらえる人がいるのは８割。

育児のことで「相談をする場・相手」が「いる」家庭は、回答者のほとんどである。しかし、ごく少数事例であるが、そのような人が「いない」とする家庭・保護者も見受けられる。

また、「子どもを預かってもらえる人」が「いる」のは約８割であるが、約２割の家庭・保護者では、そのような人が「いない」としている。

④ 知人・親族のため自分が相談にのること・預かること

問 34　あなた自身が、知人や親族の子育ての相談にのったり、子どもを預かることはありますか？



（回答者数 965 人、複数回答）

相談にのってあげる人は６割弱、子どもを預かることがあるのは３割。

回答者自身が、知人や親族の子育ての「相談にのることがある」のは、約６割である。また、知人や親族の「子どもを預かることがある」のは、約３割である。

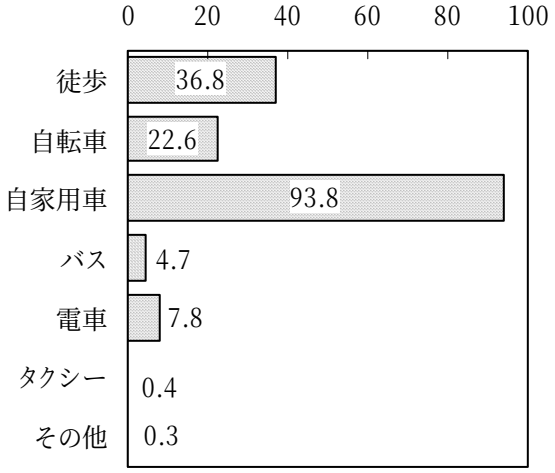
一方、そのような機会が「特にない」との回答は約４割である。

(3)外出時の困りごと

〈まとめ〉
①子どもと出かけるときに自家用車を利用は９割強、電車・バスを利用は、それぞれ１割未満。
②子どもの遊び場がない・外出先の危険を感じる人は３割台。

① 子どもと出かけるときの交通手段

問 40 普段、子どもと出かける時は、どの交通手段を使いますか？



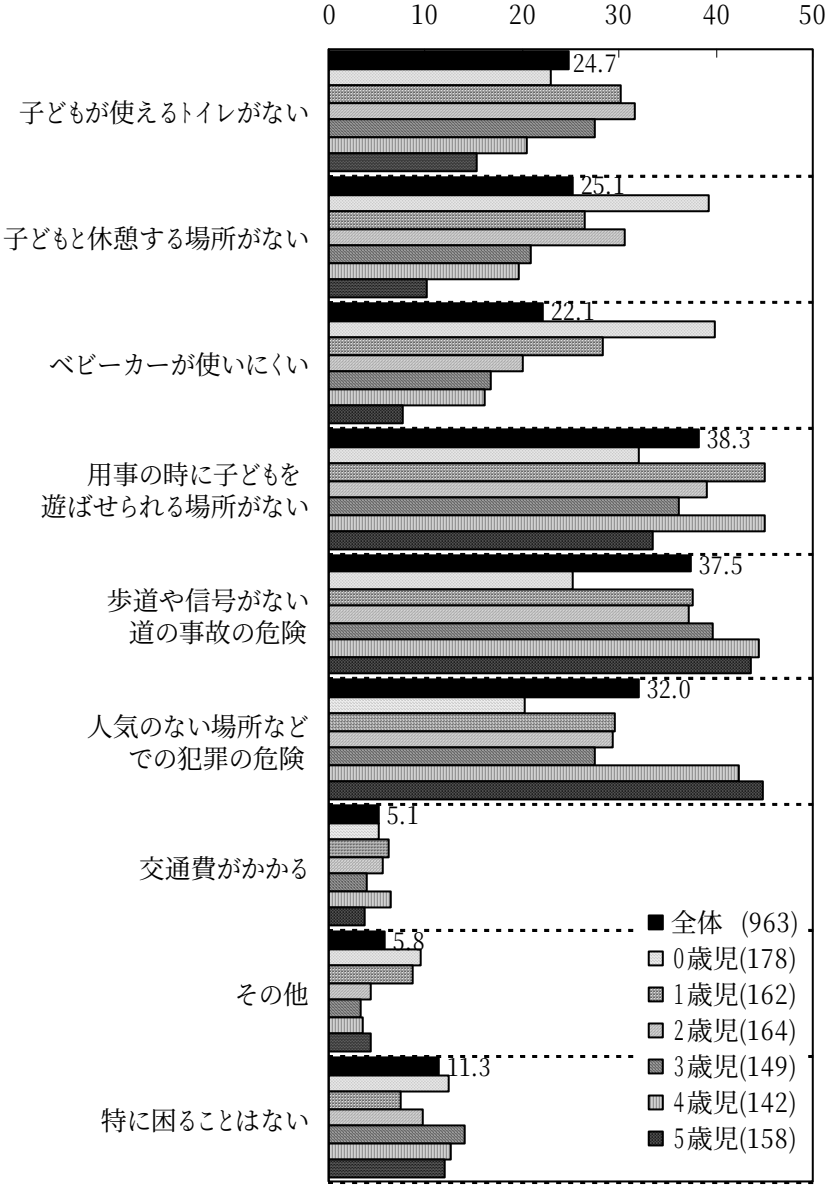
（回答者数 978 人、複数回答）

子どもと出かけるときに自家用車を利用は９割強、
電車・バスを利用は、それぞれ１割未満。

「子どもと出かける時」の外出手段は、９割以上が「自家用車」を用いている。また、「バス」や「電車」を使う家庭も、それぞれ１割未満ではあるが見受けられる。

② 出かけるとき困ること　〔年齢別〕

問 41 子どもと出かける時や、子どもが外で過ごす時、困ることは何ですか？



（かっこ内は回答者数、複数回答、全体のみ数値を記載、数値を省略した項目は資料編を参照）

子どもの遊び場がない・外出先の危険を感じる人は３割台。

子どもと出かける時や、子どもが外で過ごす時、困ることとして、就学前児童をもつ家庭・保護者が指摘している問題点は、回答者の約４割が「用事の時に子どもを遊ばせられる場所がない」や「歩道や信号がない道の事故の危険」などを挙げている。

児童の年齢が高くなるほど問題点として指摘する家庭・保護者が多くなるのは、「歩道や信号がない道の事故の危険」のほか「人気のない場所などでの犯罪の危険」などである。逆に、児童の年齢が低いほど指摘されるのは、「子どもと休憩する場所がない」「ベビーカーが使いにくい」などの問題点である。

４．父母の就労と子育て意識

(1)子育ての悩み

〈まとめ〉

①「ゆっくりとした気分」で子どもと向き合えない人も、わずかだがいる。「何とも言えない」とする人は約３割。

②育児に自信を持てないことがある人は約４割。「何とも言えない」とする人も４割弱。

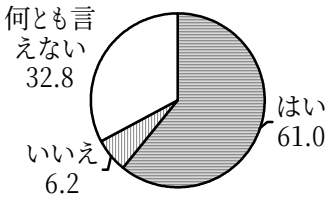
③感情的に怒ることがある人は７割。虐待が疑われる行為が「ない」と言う人は３割。

④虐待しているかもと意識している人は１割。「何とも言えない」とする人は２割強。

⑤子育ての悩みがない人は１割。悩みは食生活・安全・健康など育児全般に及ぶ。

①　ゆっくりした気分で子どもと向き合うこと

問 35　あなたは、ゆっくりとした気分でお子さんと向き合うことがありますか？



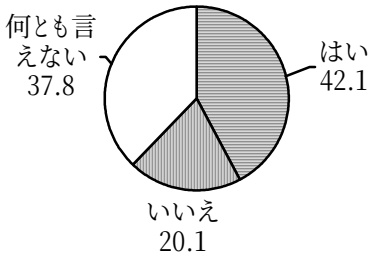
（回答者数 981 人）

「ゆっくりとした気分」で子どもと向き合えない人も、わずかだがいる。「何とも言えない」とする人は約３割。

「ゆっくりとした気分で」子どもと向き合うことがある（「はい」）とする家庭・保護者は、約６割である。一方で、そのような時間をもてない（「いいえ」）とする家庭・保護者が、１割未満ではあるが、一定数いることが分かる。また、「何とも言えない」と回答しづらかった家庭・保護者は、約３割である。

② 育児に自信がもてないこと

問 36 あなたは、育児に自信が持てないことがありますか？



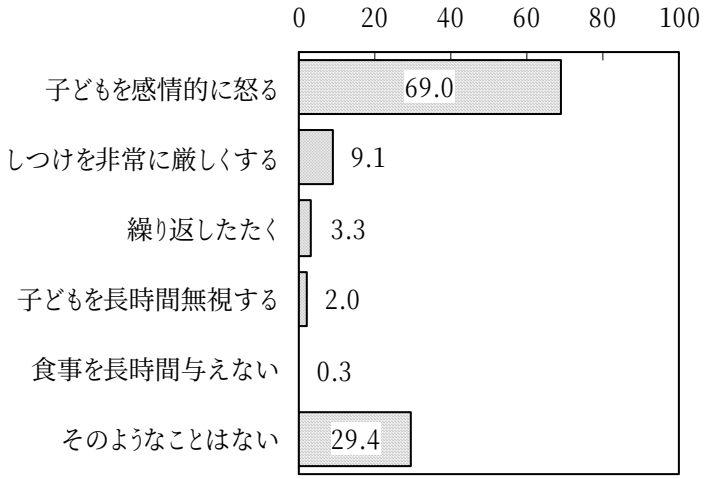
（回答者数 981 人）

育児に自信を持てないことがある人は約４割。
「何とも言えない」とする人も４割弱。

「育児に自信が持てないこと」がある（「はい」）家庭・保護者は、約４割に及んでいる。また、「何とも言えない」と回答しづらかった家庭・保護者も４割弱いる。

③ 子どもとの接し方

問 37 あなたは、子どもに次のような接し方をすることがありますか？



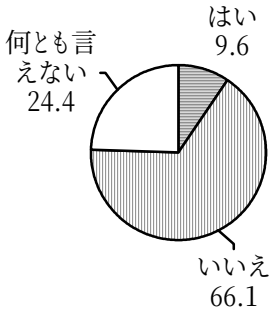
（回答者数 963 人、複数回答）

感情的に怒ることがある人は７割。
虐待が疑われる行為が「ない」と言う人は３割。

子どもとの接し方について「子どもを感情的に怒る」ことがあるとする家庭・保護者は約７割に及んでいる。少数事例ではあるものの、「しつけを非常に厳しくする」「繰り返したたく」「子どもを長時間無視する」「食事を長時間与えない」ことがある家庭・保護者も、見受けられる。

④ 虐待の意識

問 38 自分が、子どもを虐待しているのではないかと思うことがありますか？



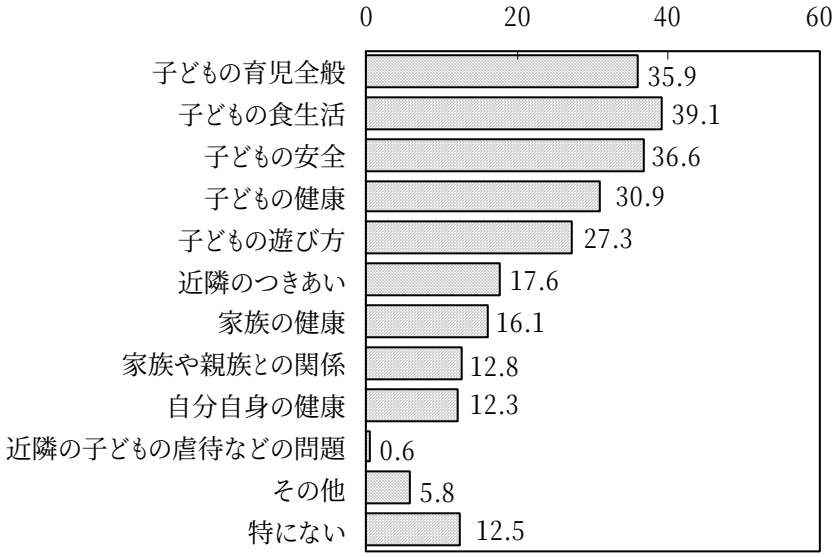
（回答者数 981 人）

虐待しているかもと意識している人は１割。
「何とも言えない」とする人は２割強。

「子どもを虐待しているのではないかと思うこと」がない（「いいえ」）とする家庭・保護者は約７割である。しかしながら、「何とも言えない」と回答しづらかった家庭・保護者が２割強、明確に「はい」と回答した家庭・保護者が約１割である。

⑤ 子育ての悩み・問題

問 39 あなたご自身が、子育てについて感じている悩みや問題はありますか？



（回答者数 977 人、複数回答）

子育ての悩みがない人は１割。悩みは食生活・安全・健康など育児全般に及ぶ。

「子育てについて感じている悩みや問題」として、多くの家庭・保護者が指摘するのは、子どもの「育児全般」「食生活」「安全」「健康」「遊び方」などであり、それぞれ約３～４割である。しかし、「近隣のつきあい」「家族や親族との関係」といった社会的なことがらを指摘する保護者もそれぞれ１～２割存在する。

(2)母親の就労と子育て実態

〈まとめ〉

①本市出身の母親は４割強。就職または結婚後に転入は、合わせて４割強。

②パートの仕事は、１～３歳児の母親は１割台だが、５歳児では３割に。

③仕事をしている母親の３割強は事務職、３割弱は専門職、２割強はサービス・販売職。

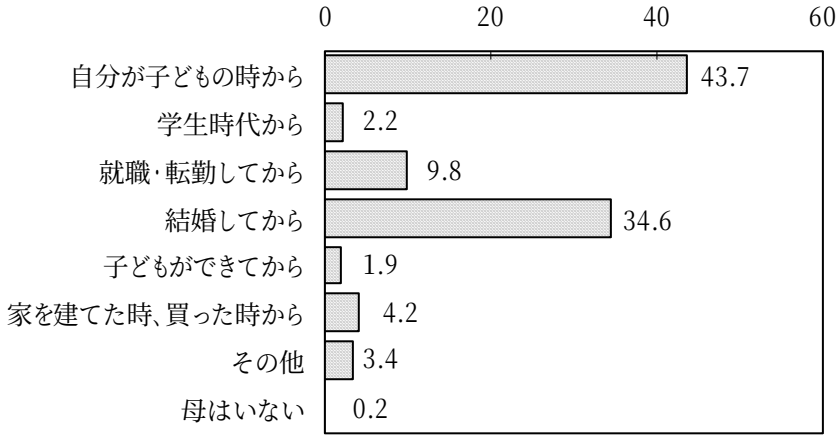
④仕事をしている母親の約３割は、子どもの世話のための休み・早退などが難しい。

⑤母親が子育てをしながら仕事をするためには、夫・勤め先・親族などの理解・協力が必要とする人は過半数。

⑥母親が子どもと一緒に過ごす時間は、１日６時間未満が４割、12 時間以上が２割。

① 母親が本市で住まい始めた時期

問 43 お母さんは、四日市市には、いつからお住まいですか？



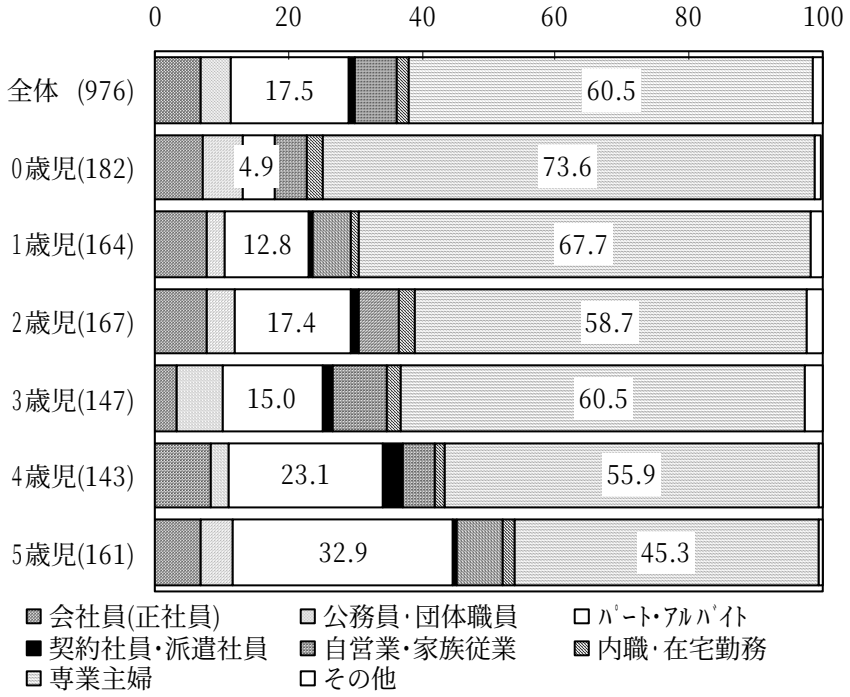
（回答者数 981 人）

本市出身の母親は４割強。
就職または結婚後に転入は、合わせて４割強。

就学前児童の母親が本市で住まい始めた時期は、約４割は「自分が子どもの時から」としている。一方、「就職・転勤してから」「結婚してから」「子どもができてから」など（市内で子ども時代を過ごさずに）大人になってから本市で住まい始めた人も少なくない。なお、ごく少数事例であるが「母はいない」家庭もある。

② 母親の仕事　〔子の年齢別〕

問 44 お母さんのお仕事は何ですか？



（かっこ内は回答者数、母親のいる人、数値を省略した項目は資料編を参照）

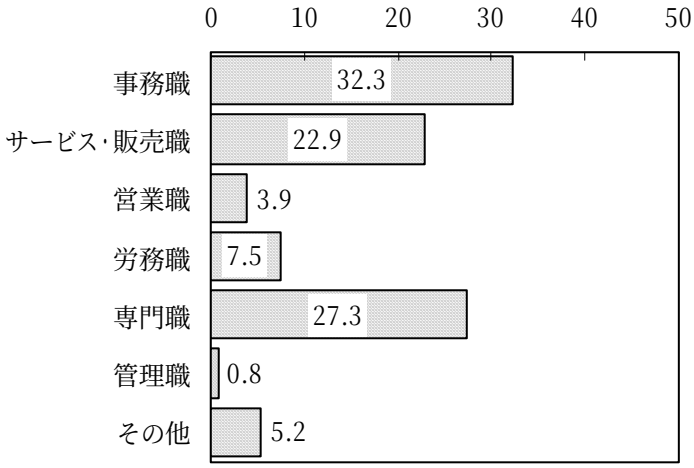
パートの仕事は、１～３歳児の母親は１割台だが、５歳児では３割に。

就学前児童の母親は、全体の約６割が「専業主婦」である。

児童の年齢層別にみると、０歳児では７割強が「専業主婦」であるが、１歳児では７割弱、３歳児では６割弱、５歳児では半数を下回っている。一方、児童の年齢が上がるにしたがって比率が大きくなるのは「パート・アルバイト」で、０歳児では１割未満、１～３歳児では１割台であるが、４歳児では約２割、５歳児では約３割である。

③ 母親の職業

問 45 職種は何ですか？



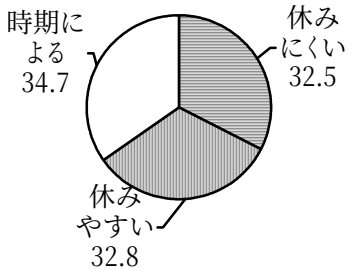
（回答者数 362 人、就労している母親）

仕事をしている母親の３割強は事務職、３割弱は専門職、
２割強はサービス・販売職。

仕事をしている母親の３割強は「事務職」、３割弱は「専門職」に就いており、約２割は「サービス・販売職」である。少数事例ではあるが、「営業職」や「労務職」に就き仕事をしている母親もいる。

④ 母親が子どもの世話で仕事を休むこと

問 47 子どもの世話のために、仕事を休んだり早退することは難しいですか？



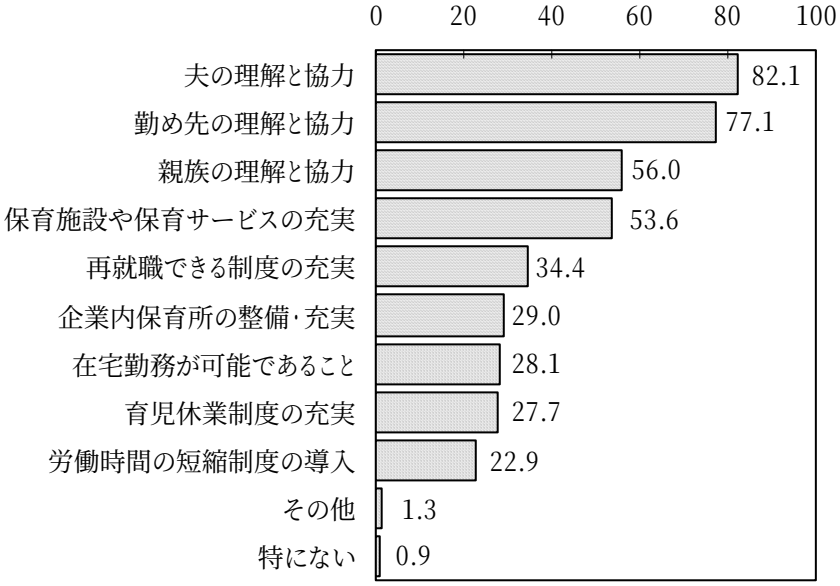
（回答者数 360 人、就労している母親）

仕事をしている母親の約３割は、子どもの世話のための
休み・早退などが難しい。

仕事をしている母親に「子どもの世話のために、仕事を休んだり早退すること」について尋ねたところ、「休みやすい」とする母親が約３割いるものの、「休みにくい」「時期による」とする人も、それぞれ約３割ずついる。

⑤ 母親が仕事をするため必要なこと

問 48 子育てをしながら仕事をする上で、必要なことは何ですか？



（回答者数 459 人、母親のいる人、複数回答）

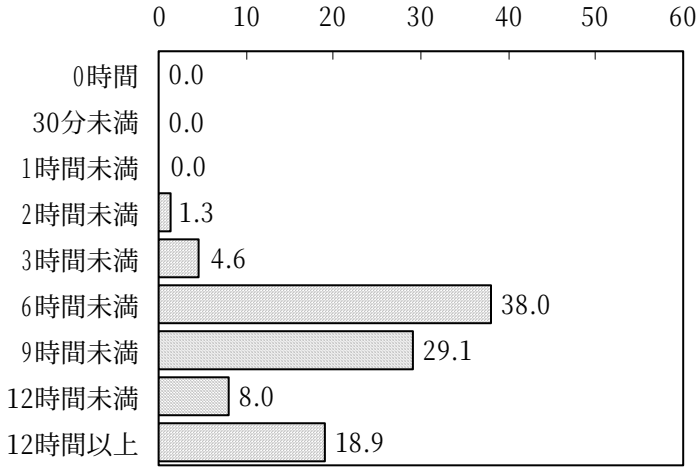
母親が子育てをしながら仕事をするためには、夫・勤め先・親族などの理解・協力が必要とする人は過半数。

母親が「子育てをしながら仕事をする」上で必要なこととして、多くの人が指摘するのは、夫・勤め先・親族などの「理解と協力」という点であり、それぞれ過半数に及んでいる。

「保育施設や保育サービスの充実」を挙げるのは過半数であるが、「再就職できる制度の充実」「企業内保育所の整備・充実」「在宅勤務が可能であること」「育児休業制度の充実」「労働時間の短縮制度の導入」など、社会全体での対応も求められている。

⑥ 母親が子どもと過ごす時間

問 49 普段の平日で、お母さんが子どもと過ごす時間は何時間ですか？



（回答者数 460 人、母親のいる人）

母親が子どもと一緒に過ごす時間は、
１日６時間未満が４割、12 時間以上が２割。

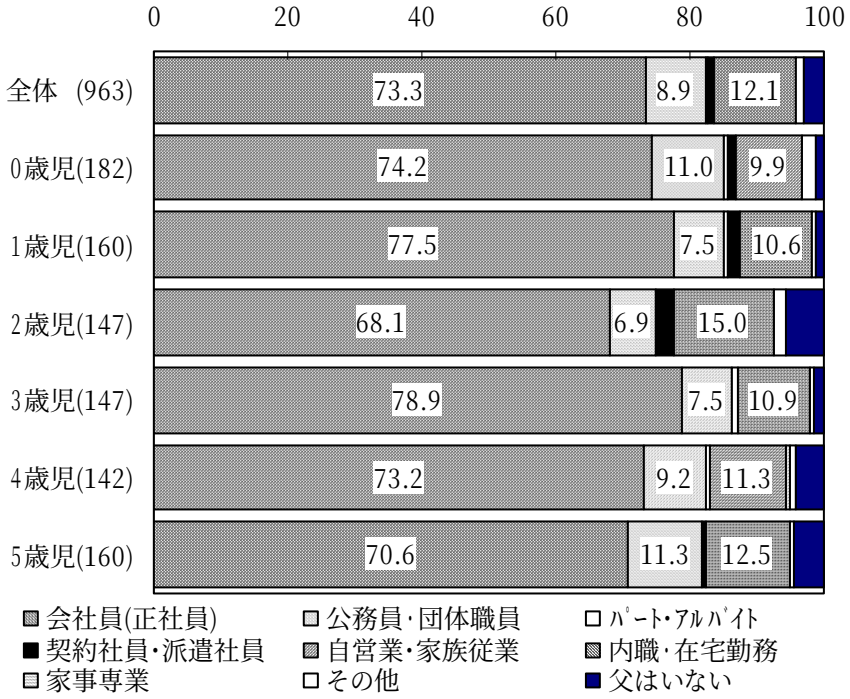
母親が子どもと一緒にいる時間は、３時間以上６時間未満が約４割、６時間以上９時間未満が約３割である。また、12 時間以上とする母親は約２割である。

(3)父親の就労と子育て実態

〈まとめ〉
①父親の７割前後は会社員として働いている。
②仕事をしている父親の４割弱は、労務職として働く。
③仕事をしている父親の過半数は、子どもの世話のために仕事を休みにくい。
④父親が子育てをしながら仕事をするためには、家族・勤め先の理解・協力が必要とする人は過半数。
⑤父親が子どもと過ごす時間は、６時間未満がほとんど。
⑥育児を「ほとんどしていない」と見られている父親は２割弱。
⑦子どもとほとんど遊んでいない父親は約１割。

① 父親の仕事　〔子の年齢別〕

問 50 お父さんのお仕事は何ですか？



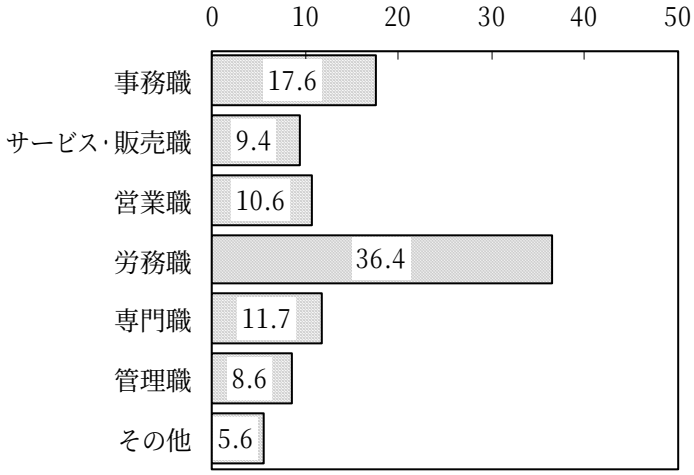
（かっこ内は回答者数、数値を省略した項目は資料編を参照）

父親の７割前後は会社員として働いている。

父親は、母親の就労状態とは異なり、「会社員」として働く人の割合が高く、児童の年齢層にかかわらず概ね一定である。母親で多かった家事専業（「専業主婦」）や「パート・アルバイト」は、父親ではごくわずかである。

② 父親の職業

問 51 働いている方の職種は何ですか？



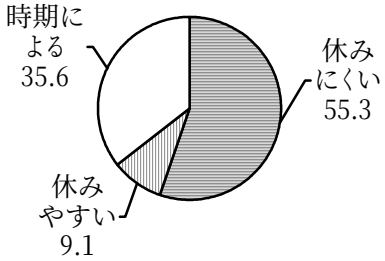
（回答者数 922 人、就労している父親）

仕事をしている父親の４割弱は労務職として働く。

仕事をしている父親の、約４割は「労務職」に就いている。仕事をしている母親で約３割であった「事務職」･「専門職」に就いている父親は、１割台にとどまっている。

③ 父親が子どもの世話で仕事を休むこと

問 53 子どもの世話のために、仕事を休んだり早退することは難しいですか？



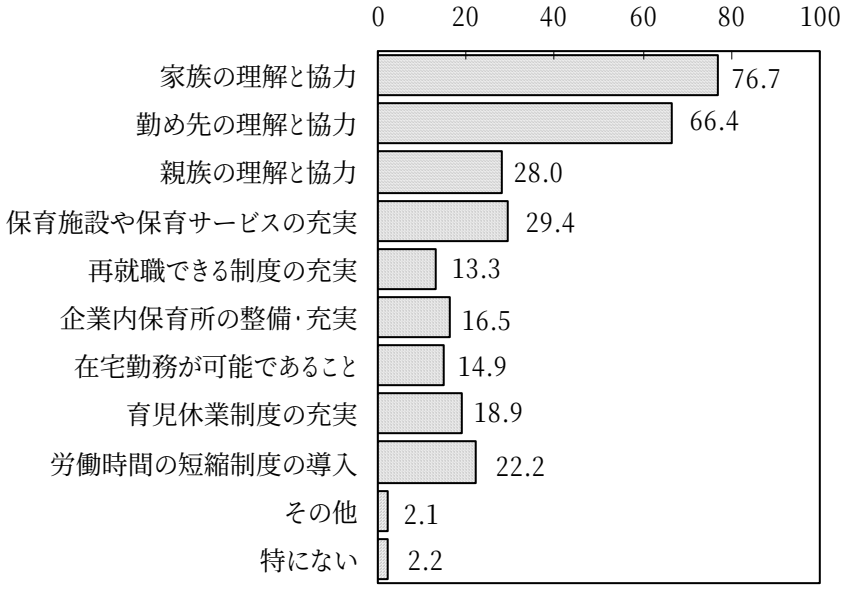
（回答者数 924、就労している父親）

仕事をしている父親の過半数は、子どもの世話のために仕事を休みにくい。

仕事をしている父親に「子どもの世話のために、仕事を休んだり早退すること」について尋ねたところ、「休みやすい」とする父親は約１割にとどまっている。「休みにくい」とする人は、母親よりも多く、過半数を超えている。

④ 父親が仕事をするため必要なこと

問 54 子育てをしながら仕事をする上で、必要なことは何ですか？



（回答者数 863 人、複数回答、父親のいる人）

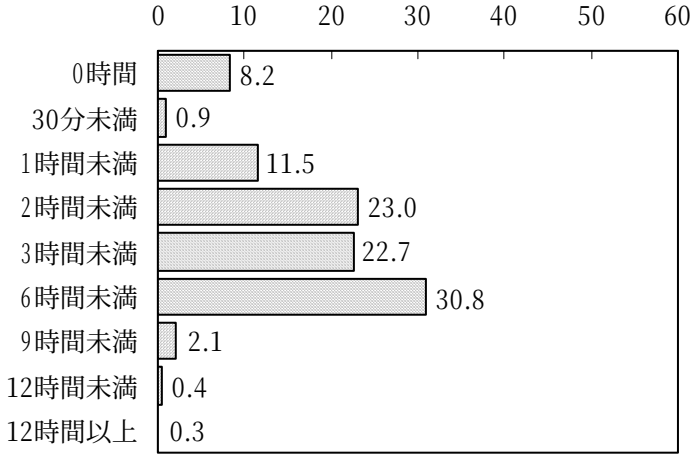
父親が子育てをしながら仕事をするためには、
家族・勤め先の理解・協力が必要とする人は過半数。

父親が「子育てをしながら仕事をする」上で必要なことは、母親と同様、家族や勤め先の「理解と協力」を多くの人が指摘しており、また、「保育施設や保育サービスの充実」を挙げるのは約３割である。また、「再就職できる制度の充実」「企業内保育所の整備・充実」「在宅勤務が可能であること」「育児休業制度の充実」「労働時間の短縮制度の導入」など社会全体での対応も求められている。

なお、母親と比べ「親族の理解と協力」を指摘する人が少ないことは特徴的である。

⑤ 父親が子どもと過ごす時間

問 55 普段の平日で、お父さんが子どもと過ごす時間は何時間ですか？



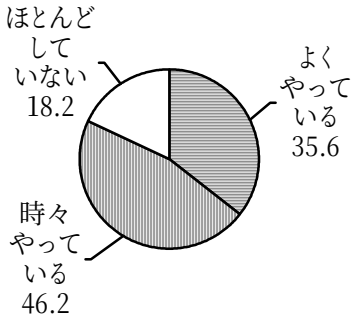
（回答者数 912 人、父親のいる人）

父親が子どもと過ごす時間は、６時間未満がほとんど。

父親が子どもと一緒にいる時間は、３時間以上６時間未満が３割であり、１時間以上２時間未満が約２割、30 分以上１時間未満が約１割などである。１日あたり６時間未満という父親がほとんどであり、母親の時間と大きく異なっている。

⑥ 父親は育児をよくするか

問 56 お父親さんは育児をよくしていますか？



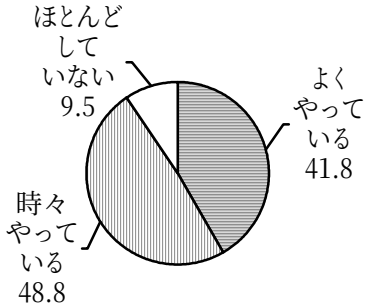
（回答者数 930 人、父親のいる人）

育児を「ほとんどしていない」と見られている父親は２割弱。

回答者のほとんどは母親であったが、その回答者に父親が「育児をよくしているか」尋ねたところ、「よくやっている」と感じているのは約４割、「時々やっている」とするのは４割を超えている。一方、「ほとんどしていない」とする人も少なくない。

⑦ 父親は子どもとよく遊ぶか

問 57 お父さんは、お子さんとよく遊んでいますか？



（回答者数 931 人、父親のいる人）

子どもとほとんど遊んでいない父親は約１割。

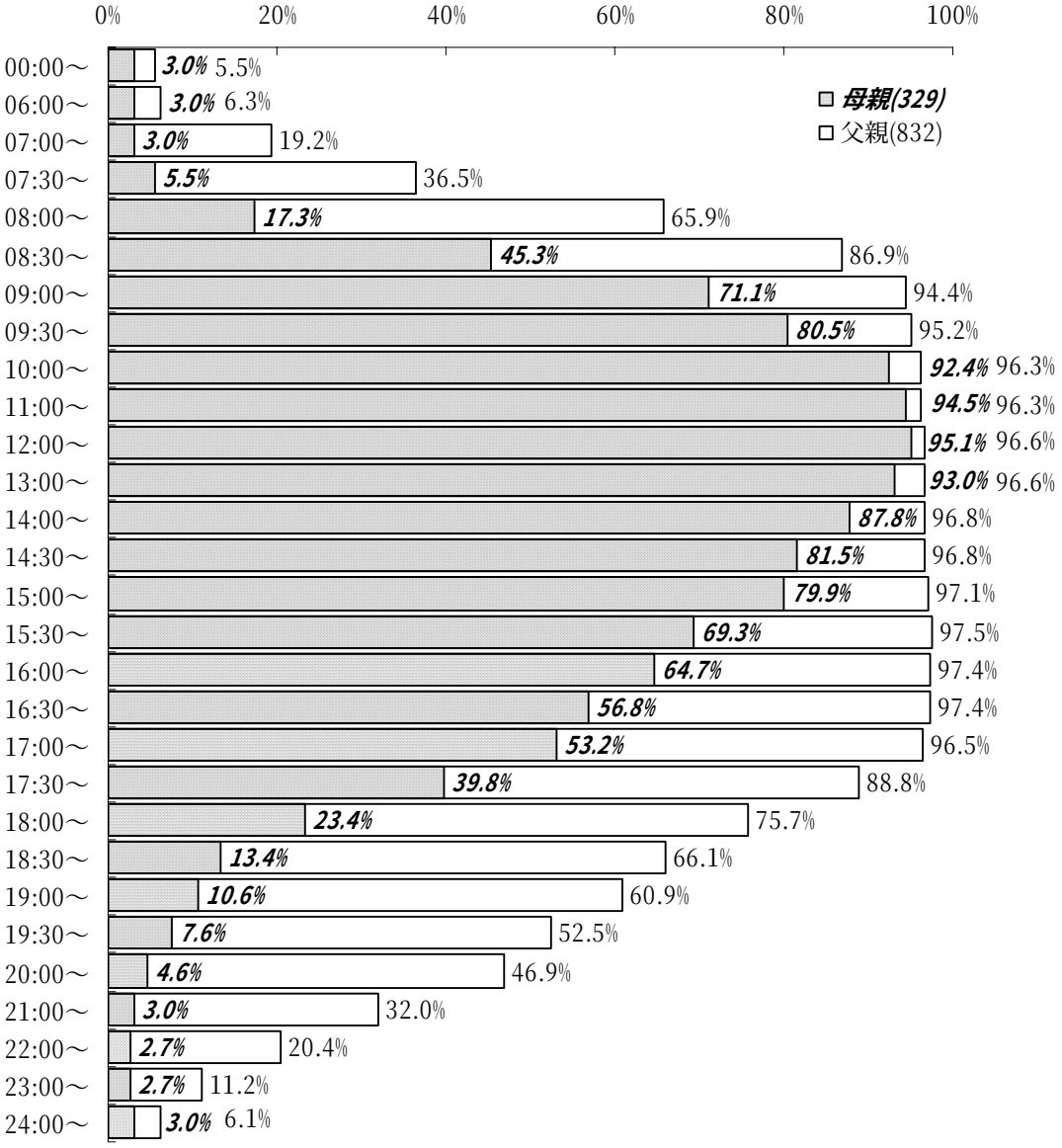
父親が「よく遊んでいるか」を尋ねたところ、「やっている」とする人の割合は、「育児」に比べ、わずかではあるが大きくなっている。

(4)父母の就労時間帯

〈まとめ〉
①母親が仕事をしている時間帯のピークは、10 時から 14 時。

① 父母の就労時間帯

問 46 就労日数と時間はどのくらいですか？　（働いている母親）
問 52 働いている方の就労日数と時間はどのくらいですか？　（働いている父親）



（かっこ内は回答者数、就労している母親・就労している父親）

母親が仕事をしている時間帯のピークは、10 時から 14 時。

仕事をしている母親と父親のうち、就労している時間帯別に就労者の割合を整理したものが左図である。（100%は、仕事に従事している母親・父親）。

仕事をしている父親の９割以上は、９時から 17 時までの時間帯に就労している。それに対し、仕事をしている母親の９割以上が就労しているのは、10 時から 13 時台である。

また、７～８時台と 16～21 時台は、就労している人の割合について父母の間の開きが大きい。この時間帯は、後掲の保育園・幼稚園の延長希望が強い時間帯に重なっている。

なお、24 時以降や６時以前にも就労している母親・父親があることが分かる。

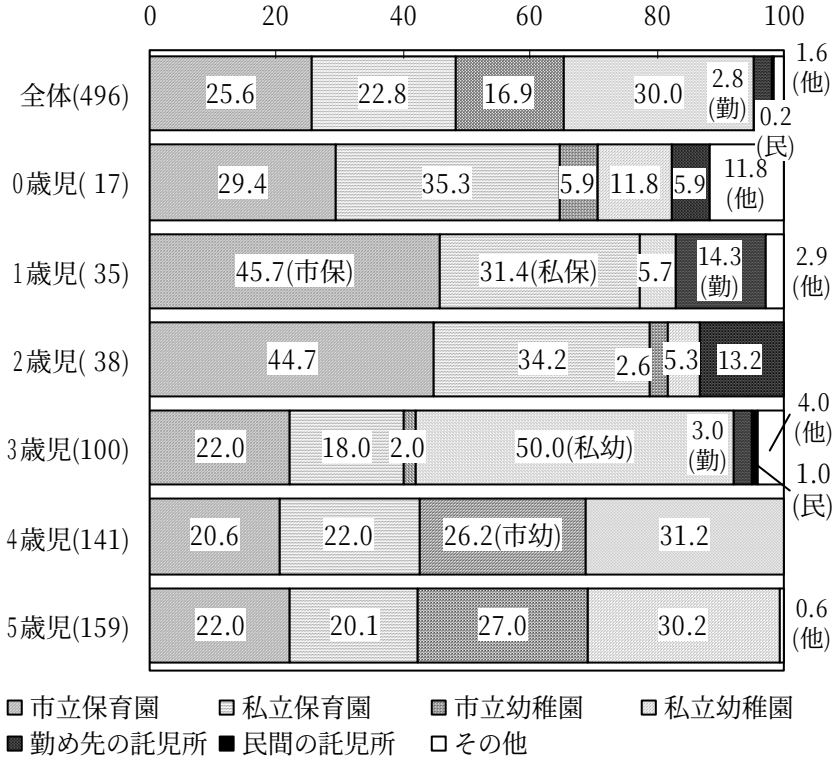
５．保育園・幼稚園等の利用と希望

(1)通園の現状

〈まとめ〉
①預けられている１・２歳児の８割弱は保育園、３歳児の５割は私立幼稚園。
②預けている時間は、市立幼稚園は 14 時前半まで、市立保育園は 16 時前半までが多い。

① 通園・託児先　〔子の年齢別〕

問 12 現在、どちらの園や託児所などに預けていらっしゃいますか？



（かっこ内は回答者数、園や託児所などに預けている人、数値を省略した項目は資料編を参照）

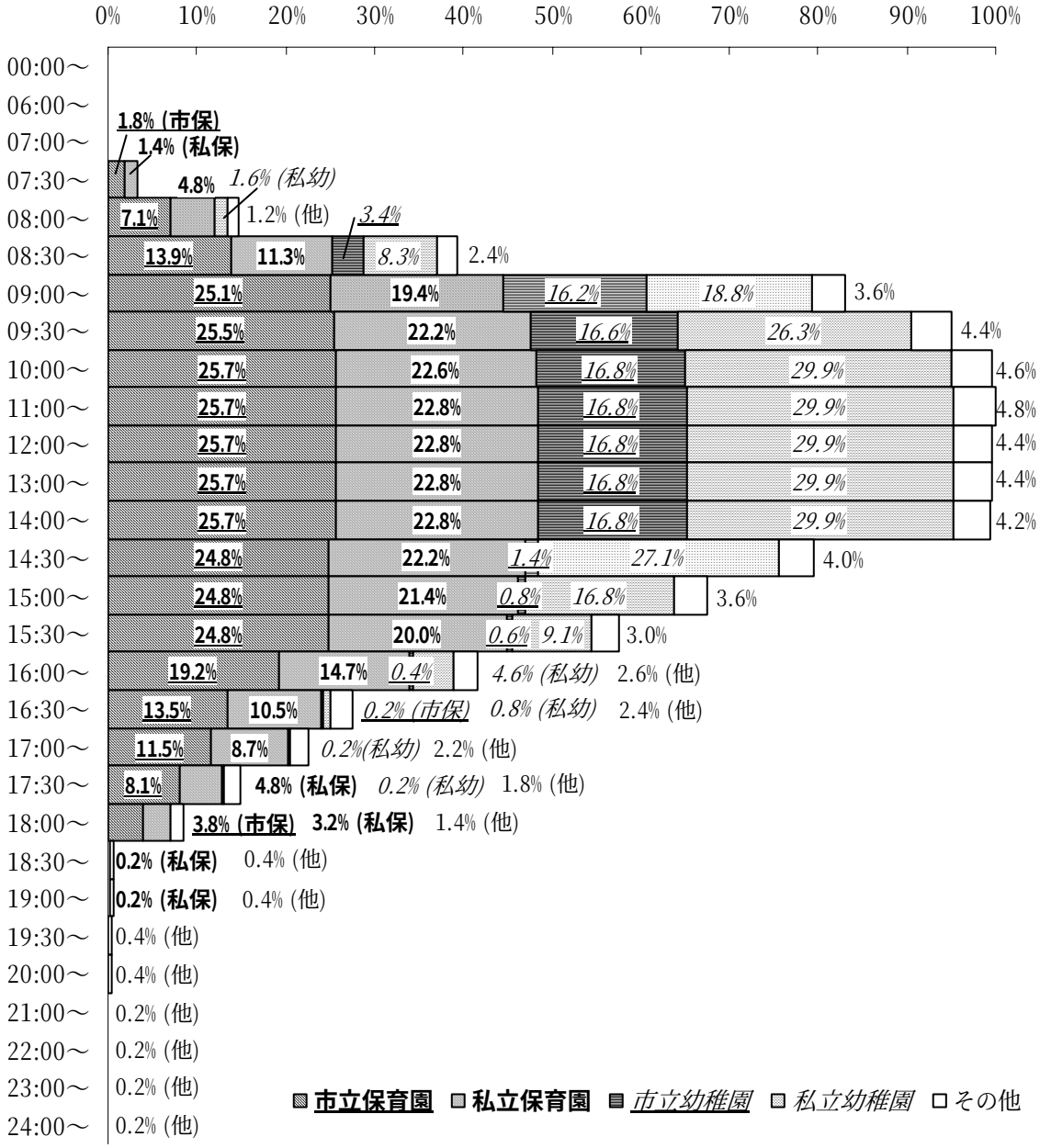
預けられている１・２歳児の８割弱は保育園、３歳児の５割は私立幼稚園。

問 9 で「保育園や幼稚園や託児所」に預けているとされた児童のうち、その預け先の内訳は、「市立保育園」「私立保育園」がそれぞれ２割台、「市立幼稚園」は１割台、「私立幼稚園」は約３割であるが、少数ではあるものの「勤め先の託児所」、「民間の託児所」などに預けている事例も見受けられる。

預けられている児童の年齢層別にみると、０～２歳児では市立・私立の保育園で過半数を占めており、３歳児では私立幼稚園が約半数に及び、４～５歳児では市立・私立の保育園・幼稚園がそれぞれ２～３割ずつを占めるに至る。

② 預けている時間　〔通園先別〕

問 13 預けている日数と時間はどのくらいですか？



（回答者数 495 人、園や託児所などに預けている人）

預けている時間は、市立幼稚園は 14 時前半まで、
市立保育園は 16 時前半までが多い。

保育園・幼稚園等に預けているケースのうち、その時間帯別に整理してみると、ほとんど全てが 10 時から 14 時頃までの間に預けており、９時以前や 14 時以降は、預け先の構成比が異なる。

８時以前では、市立・私立の保育園で預かっており、８時から９時までの時間帯で、預ける人の割合が各施設で増えている。

午後の利用者に着目すると、14 時後半で市立幼稚園の利用者が減少するが、私立幼稚園は 17 時台までかけて徐々に減少している。保育園の利用者は、16 時以降で徐々に減少している。18 時以降では、市立・私立の保育園と他の民間施設で預かっている。19 時 30 分以降は、今回調査の回答者の範囲では、民間施設だけが預かっている。

いずれの時間帯においても、市立保育園・市立幼稚園に預けられている児童と同じ程度またはそれ以上の児童が、私立の保育園・幼稚園や他の民間施設に預けられていることが分かる。

(2)通園先の現状への評価

〈まとめ〉

①通園・託児先は「家から近いから」選んだ人が６割のほか、選択理由は多様。

②「園舎や園庭、遊具」に不満は、市立保育園利用者の３割強。

③「保育や幼児教育の内容」に８割以上は満足。不満は、市立保育園利用者の２割、その他は１割前後。

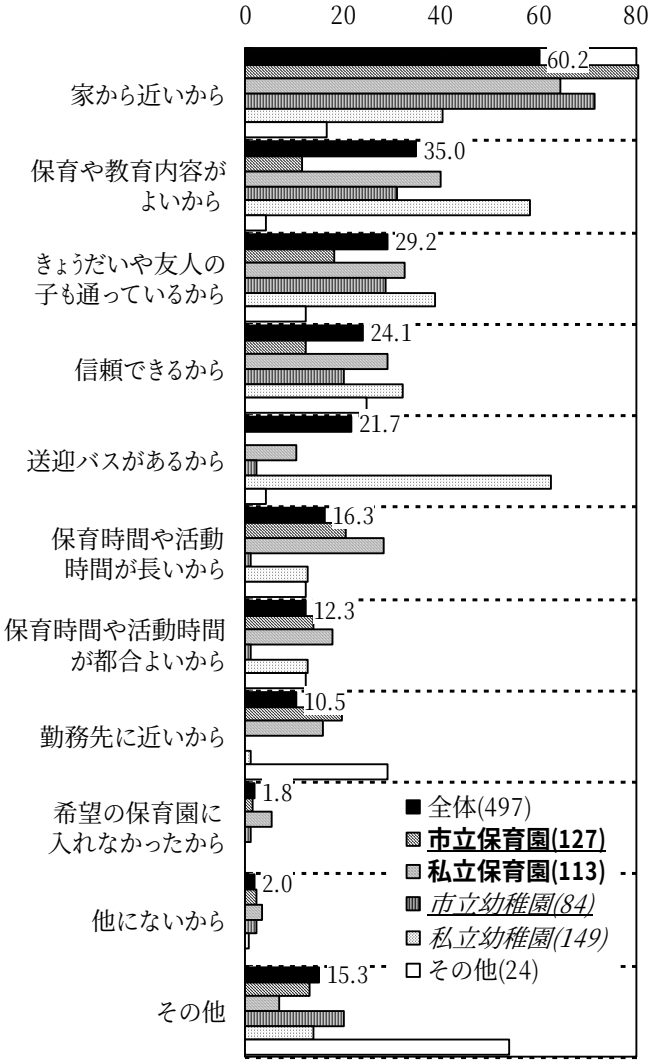
④「保護者への連絡」に不満は、いずれの施設の利用者でも１割台。

⑤「安全への配慮や危険管理」に不満は市立保育園利用者の２割、大変満足は私立保育園・私立幼稚園利用者のそれぞれ２割。

⑥「食事やおやつの内容」に大変満足は保育園利用者の３割強、不満は幼稚園の３割前後。

① 通園・託児先を選んだ理由　〔通園先別〕

問 14 その保育園や幼稚園などを選んだ理由は何ですか？



（回答者数 497 人、複数回答、園や託児所などに預けている人全体のみ数値を記載、数値を省略した項目は資料編を参照）

通園・託児先は「家から近いから」選んだ人が６割のほか、選択理由は多様。

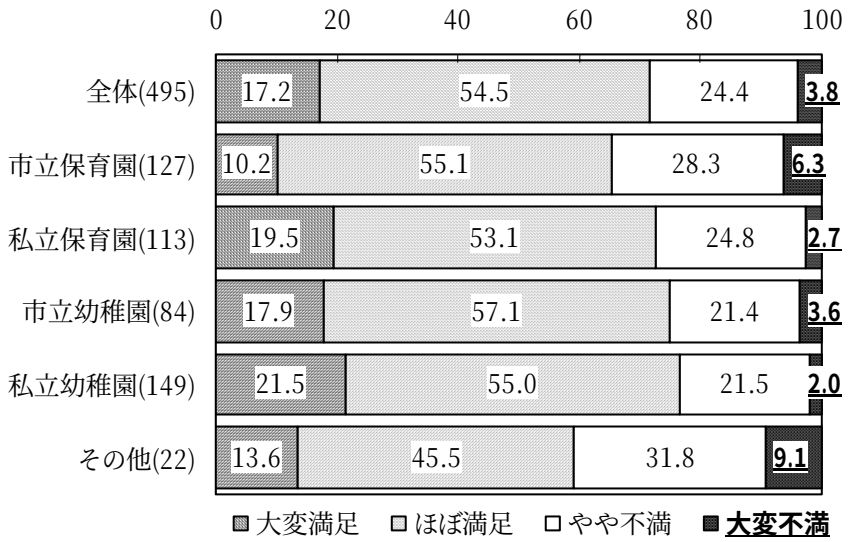
通園先の「保育園や幼稚園などを選んだ理由」は、過半数の家庭・保護者が「家から近いから」としている。また、「送迎バスがある」ことのほか、「保育時間や活動時間」が「長い」または「都合よい」などサービスの諸条件への着目も少なくない。

ごく少数事例であるが「希望の保育園に入れなかったから」「他にないから」など、選択肢が限られていることを示唆する回答も見受けられる。

② 園舎や園庭、遊具への評価　〔通園先別〕

問 15 現在通っている保育園や幼稚園などについて、どのように感じていますか？

(1)園舎や園庭、遊具



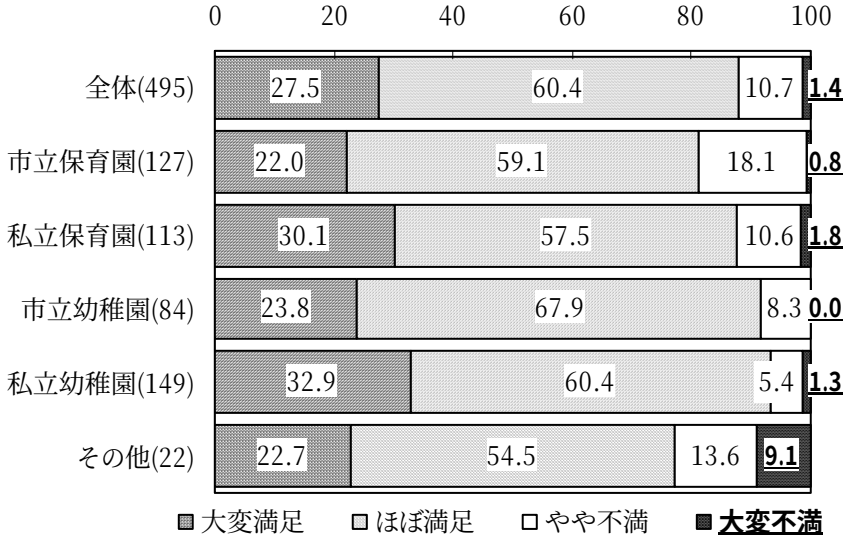
（かっこ内は回答者数、園や託児所などに預けている人）

「園舎や園庭、遊具」に不満は、市立保育園利用者の３割強。

通園先の「園舎や園庭、遊具」について、５割前後は「ほぼ満足」し、「大変満足」と合わせると過半数が満足している。しかし、市立保育園では「不満」とする人が、約３割を占めている。

③ 保育や幼児教育の内容への評価　〔通園先別〕

問 15 現在通っている保育園や幼稚園などについて、どのように感じていますか？
(2)保育や幼児教育の内容



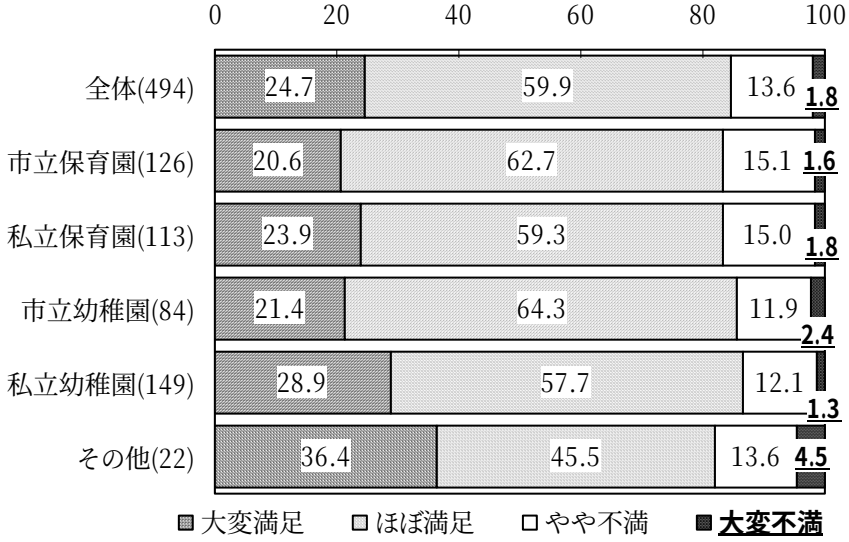
（かっこ内は回答者数、園や託児所などに預けている人）

「保育や幼児教育の内容」に８割以上は満足。
不満は、市立保育園利用者の２割、その他は１割前後。

通園先の「保育や幼児教育の内容」について、各通園先の５～６割は「ほぼ満足」し、「大変満足」と合わせると８～９割が満足している。しかし、市立保育園では「不満」とする人が約２割いる。一方、幼稚園では「不満」な人は１割に満たない。

④ 保護者への連絡への評価　〔通園先別〕

問 15 現在通っている保育園や幼稚園などについて、どのように感じていますか？
(3)保護者への連絡



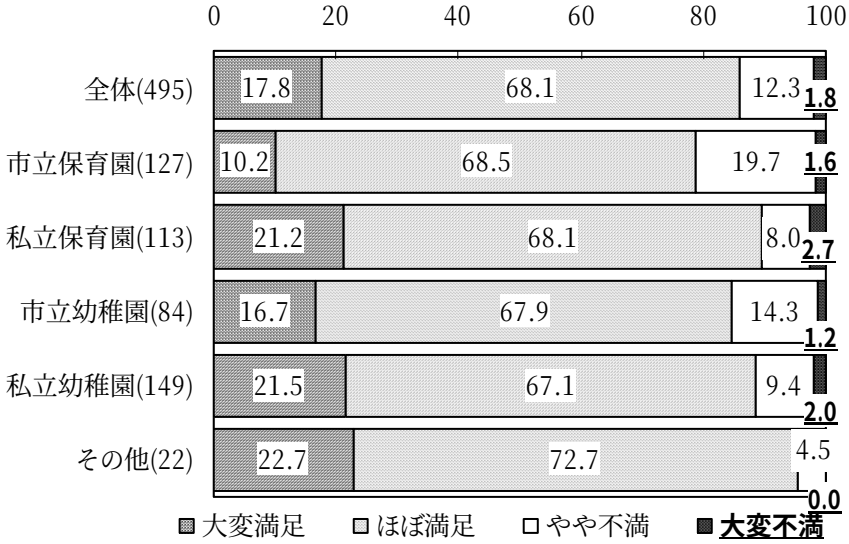
（かっこ内は回答者数、園や託児所などに預けている人）

「保護者への連絡」に不満は、いずれの施設の利用者でも１割台。

通園先の「保護者への連絡」については、他の観点と比べて施設間の差を見いだしにくいが、「保護者の連絡」に「大変満足」している人は、私立幼稚園では約３割を占めている。

⑤ 安全への配慮や危険管理への評価　〔通園先別〕

問 15 現在通っている保育園や幼稚園などについて、どのように感じていますか？
(4)安全への配慮や危険管理



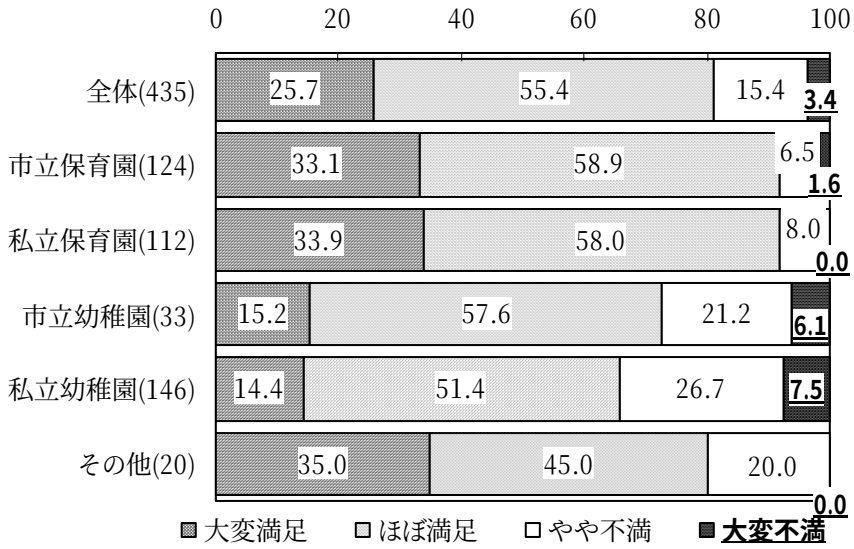
（かっこ内は回答者数、園や託児所などに預けている人）

「安全への配慮や危険管理」に不満は市立保育園利用者の２割、
大変満足は私立保育園・幼稚園利用者のそれぞれ２割。

通園先の「安全への配慮や危険管理」に「大変満足」している人は、市立施設より私立施設の方が多く見受けられる。保育園では、市立・私立間で１割の開きがある。

⑥ 食事やおやつの内容への評価 〔通園先別〕

問 15 現在通っている保育園や幼稚園などについて、どのように感じていますか？
(5)食事やおやつの内容



（かっこ内は回答者数、園や託児所などに預けている人）

「食事やおやつの内容」に大変満足は保育園利用者の３割強、
不満は幼稚園の３割前後。

通園先の「食事やおやつの内容」については、保育園では「大変満足」とする人が約３割を占め、「ほぼ満足」と合わせると９割以上が満足している。

(3)今後の希望

〈まとめ〉

①延長の希望者は、市立幼稚園利用者の８割弱。私立保育園利用者の８割は現状肯定。

②市立保育園の希望時間帯は７時から 20 時台まで、市立幼稚園でも７時から 19 時台までの希望が存在。

③市立保育園利用者の２割台は、日曜・祝日の利用を希望。

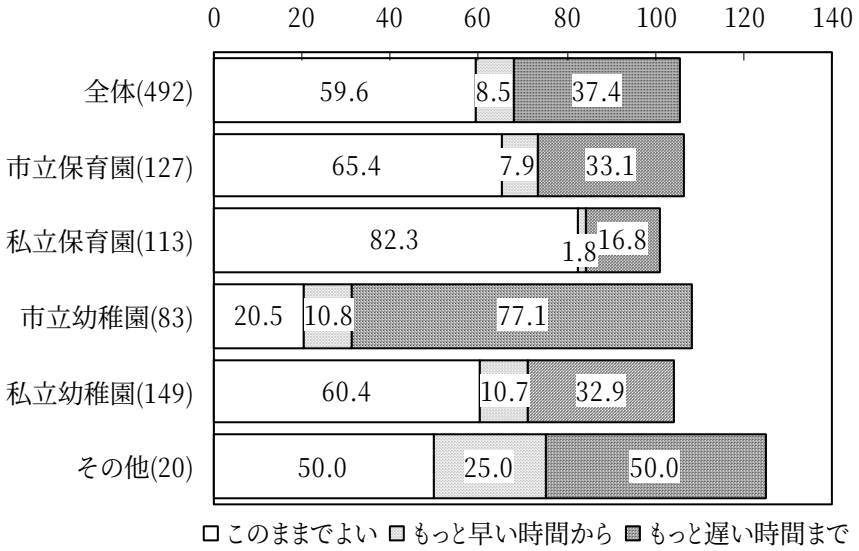
④市立幼稚園利用者の約６割は、もっと早い年齢からの利用を希望。

⑤市立保育園利用者は 16 時以降で、通園実態と延長希望の開きが拡大。

⑥市立幼稚園利用者は、その半数以上が 15 時台前半までを希望。

① 延長の希望　〔通園先別〕

問 16 保育や利用時間の延長などの希望はありますか？



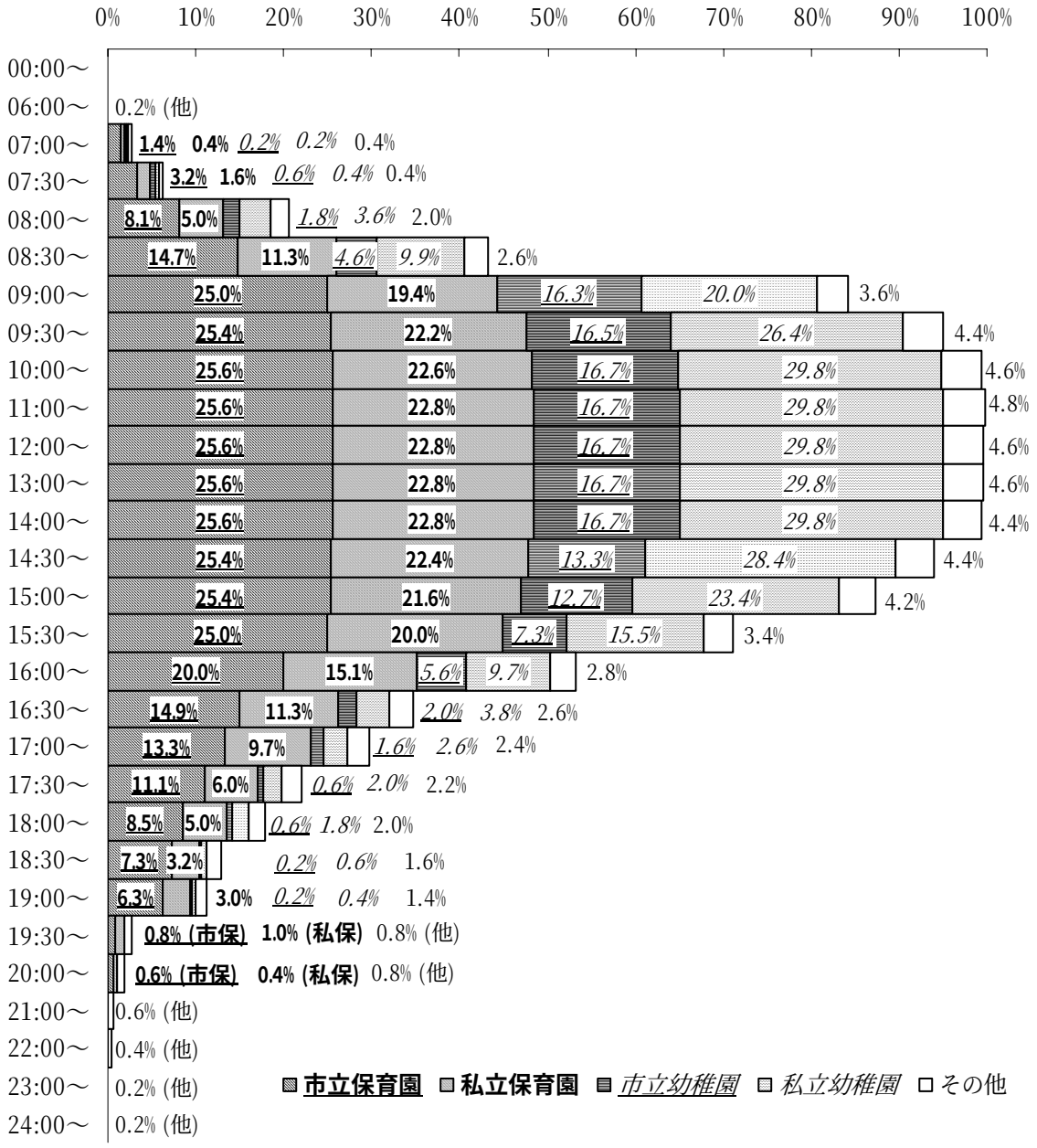
（かっこ内は回答者数、複数回答、園や託児所などに預けている人）

延長の希望者は、市立幼稚園利用者の８割弱。
私立保育園利用者の８割は現状肯定。

保育や利用時間を「もっと遅い時間まで」延長することは、市立幼稚園に子どもを預けている保護者の約８割が希望している。市立幼稚園では、利用時間帯が「このままでよい」とする人の割合は約２割にとどまる。

「もっと早い時間から」預けたいとする保護者も、いずれの施設においても、１割前後であるが見受けられる。

② 延長の希望時間帯　〔通園先別〕



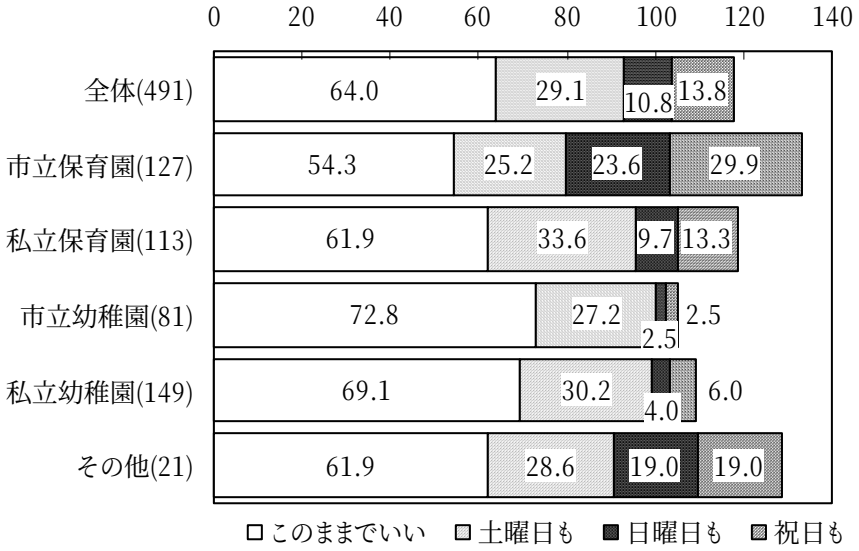
（回答者数 496 人、園や託児所などに預けている人・延長希望のある人）

市立保育園の希望時間帯は７時から 20 時台まで、
市立幼稚園でも７時から 19 時台までの希望が存在。

延長を希望する時間帯を施設ごとに整理すると、いずれの施設においても、現実に預けている時間帯よりも希望する時間帯は広く分散していることが分かる。市立保育園に限ってみれば、最も早い希望は７時台からで、延長は 19 時台・20 時台まで見受けられる。市立幼稚園でも、15 時台・16 時台の希望も少なくない。

③ 土・日・祝日の希望　〔通園先別〕

問 17 土曜日や日曜祝日の希望はありますか？



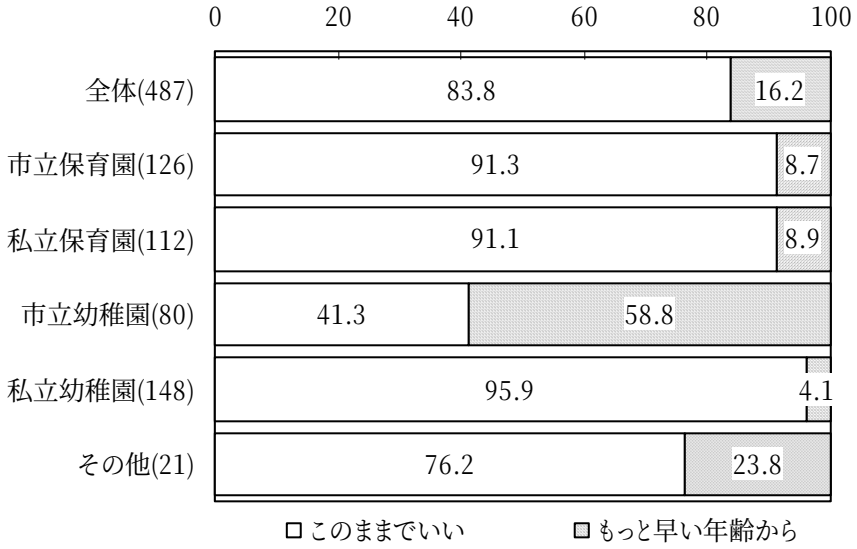
（かっこ内は回答者数、複数回答、園や託児所などに預けている人）

市立保育園利用者の２割台は、日曜・祝日の利用を希望。

「土曜日や日曜祝日」の利用は、市立保育園に預けている保護者の２割台がそれぞれ希望している。「このままでよい」とするのは、市立保育園に預けている保護者の約５割である。一方、市立幼稚園では「このままでよい」とするのが約７割であるものの、「土曜日も」希望するのは保護者の約３割である。

④ 入園年齢の希望　〔通園先別〕

問 18 保育年齢や入園年齢への希望はありますか？



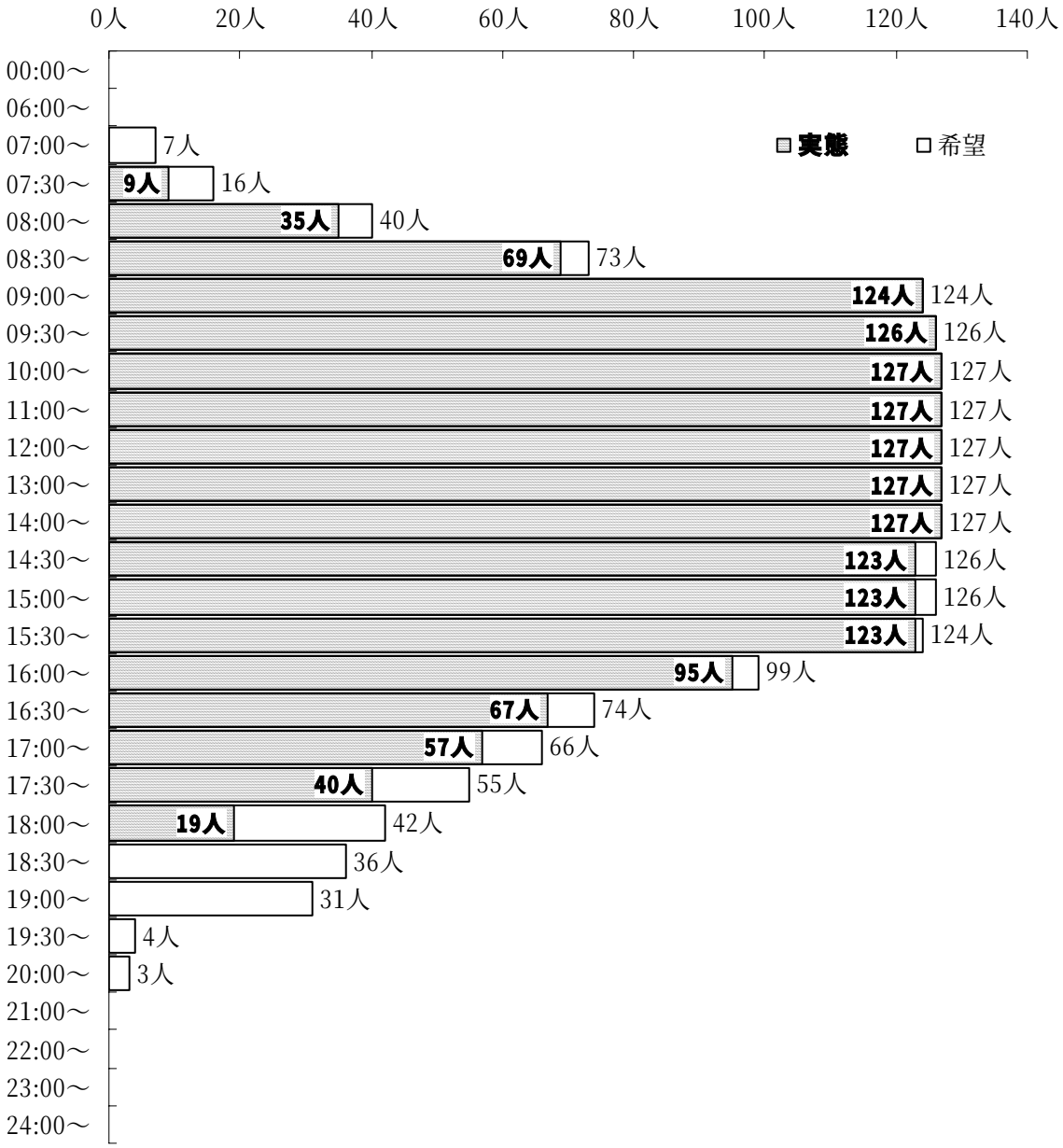
（かっこ内は回答者数、園や託児所などに預けている人）

市立幼稚園利用者の約６割は、もっと早い年齢からの利用を希望。

もっと早い年齢からの利用について尋ねてみたところ、市立幼稚園を利用している保護者の約６割が希望している。

⑤ 保育園の延長希望時間帯　〔実態・希望別〕

【市立保育園利用者】



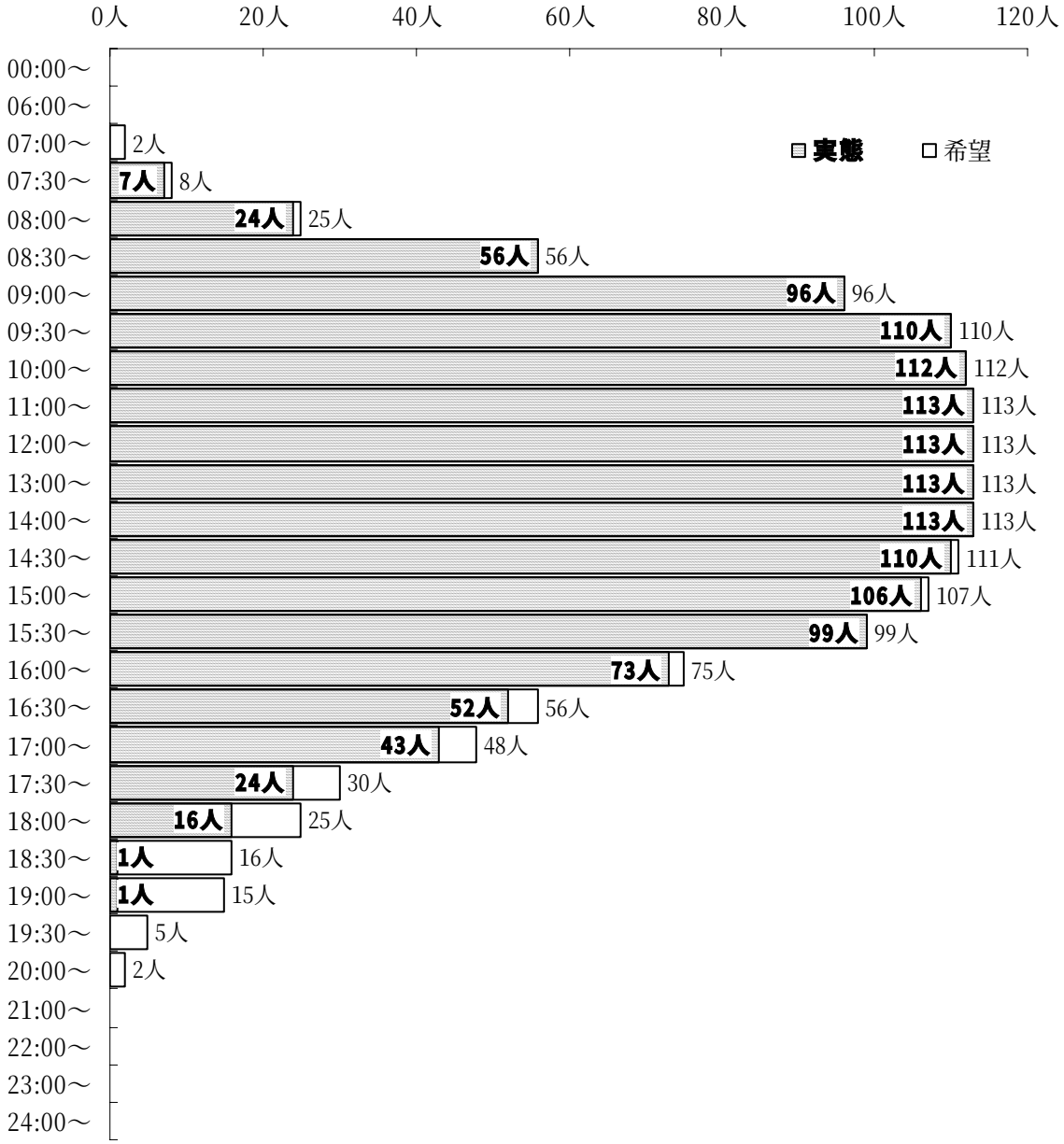
（回答者数 127 人、市立保育園に預けている人）

市立保育園利用者は 16 時以降で、通園実態と延長希望の開きが拡大。

市立保育園の利用者 127 人に限って、その利用実態と延長希望について時間帯ごとに整理したものが左図である。利用したい希望は７時以降 20 時台までにあり、16 時以降において延長を希望する人数は減っている。

実態と希望の開き（白地部分）がある人数に着目すると、16 時から 18 時台後半にかけて増えている。19 時前後では、昼間に市立保育園に預けている回答者 127 人のうち 30 人台（およそ４分の１）までが希望している。市立保育園利用者における実態と希望の開きは、私立保育園（下図）に比べやや大きい。

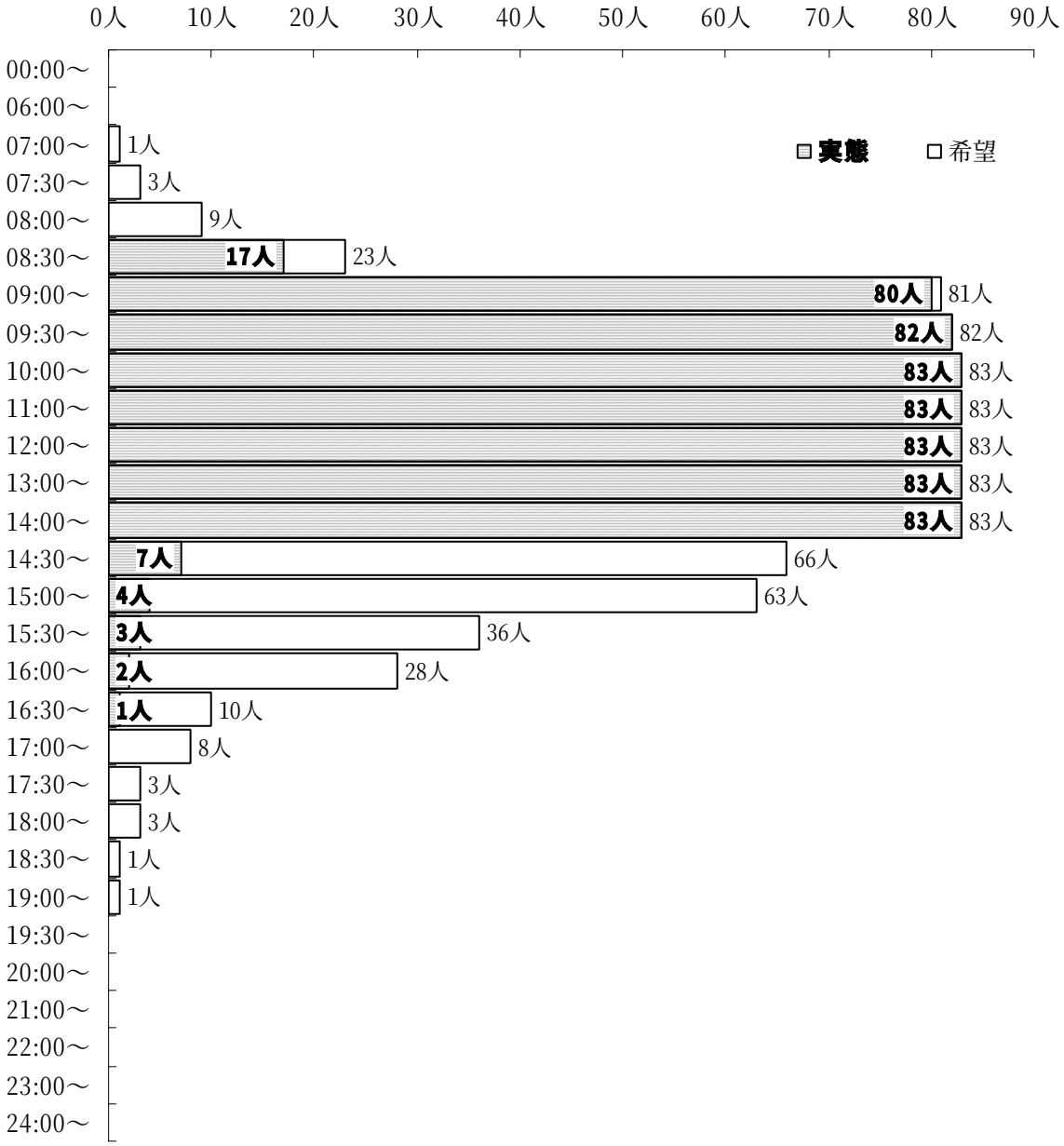
【私立保育園利用者】



（回答者数 113 人、私立保育園に預けている人）

⑥ 幼稚園の延長希望時間帯　〔実態・希望別〕

【市立幼稚園利用者】



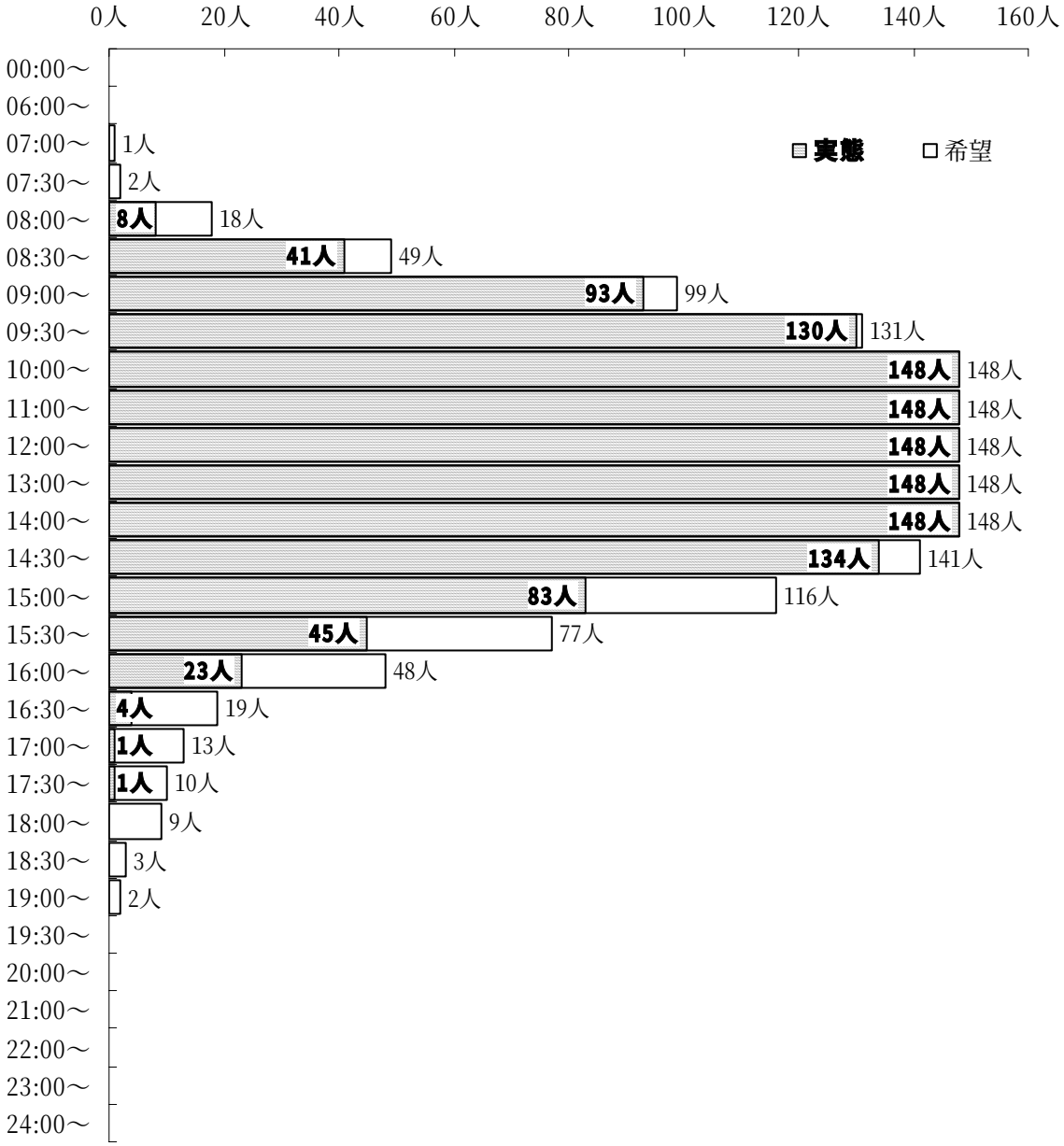
（回答者数 83 人、市立幼稚園に預けている人）

市立幼稚園利用者は、その半数以上が 15 時台前半までを希望。

市立幼稚園の利用者 83 人に限って、その利用実態と延長希望について時間帯ごとに整理したものが左図である。希望は７時以降 19 時台前半までにある。

実態と希望の開きがある人数に着目すると、14 時台後半から 15 時台前半までの時間帯では、昼間に市立幼稚園に預けている回答者 83 人のうち 60 人台（およそ４分の３）までが、利用を希望している。16 時前後では半数を下回っているものの、実態と希望の開きが小さくない。

【私立幼稚園利用者】



（回答者数 148 人、私立幼稚園に預けている人）

(4)園を休んだときの対応

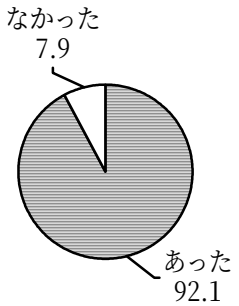
〈まとめ〉

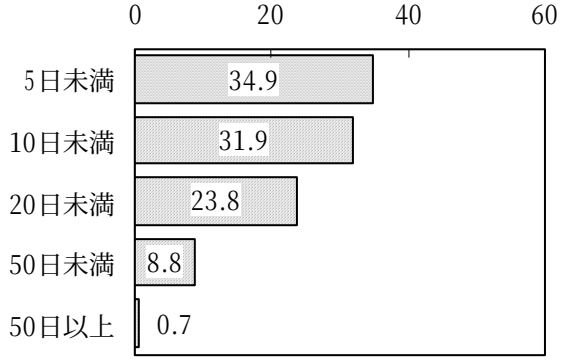
①園を休んだことのある児童は９割。年間 20 日未満が多い一方、日数の多い児童も。

②園を休んだとき児童の面倒をみたのは、母親が９割弱。祖父母は３割。

① 子どもが園を休んだ日数

問 19　この１年間で、あて名のお子さんが病気で保育園や幼稚園を休んだことはありましたか？





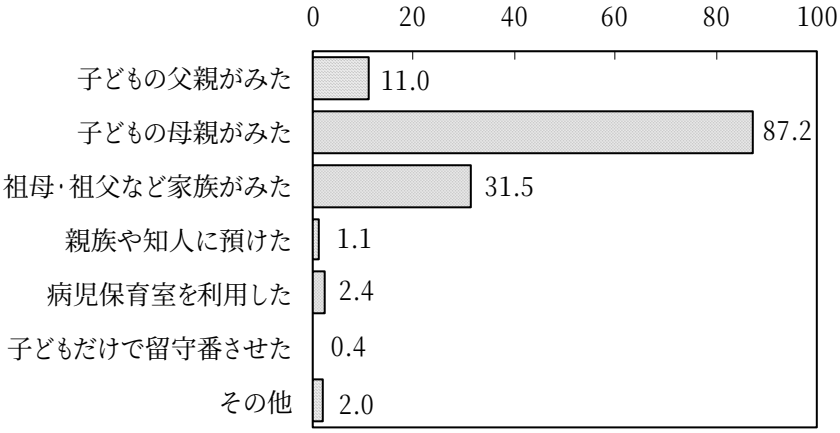
（回答者数 493 人、右図は休んだことのあった回答者 433 人の休んだ日数園や託児所などに預けている人）

園を休んだことのある児童は９割。
年間 20 日未満が多い一方、日数の多い児童も。

「１年間で、…病気で保育園や幼稚園を休んだこと」が「あった」児童は約９割である。そのうちの約３割は、年間５日未満である。少数ではあるが、年間 50 日以上休んだことのある児童も見受けられる。

② 休んだとき面倒をみた人

問 20 お子さんが休んだときは、どなたがお子さんの面倒をみましたか？



（回答者数 454 人、複数回答、保育園や幼稚園を休んだことのある人）

園を休んだとき児童の面倒をみたのは、母親が９割弱。祖父母は３割。

「病気で保育園や幼稚園を休んだこと」があった児童・家庭で、そのときに面倒をみた人のうち約９割までが「子どもの母親がみた」としている。次いで多いのは「祖母・祖父など家族がみた」というものである。一方、ごく少数であるが「子どもだけで留守番させた」という事例も見受けられる。なお、「病児保育室を利用した」事例は、保育園や幼稚園を休んだことのあった児童・家庭の１割に満たない。

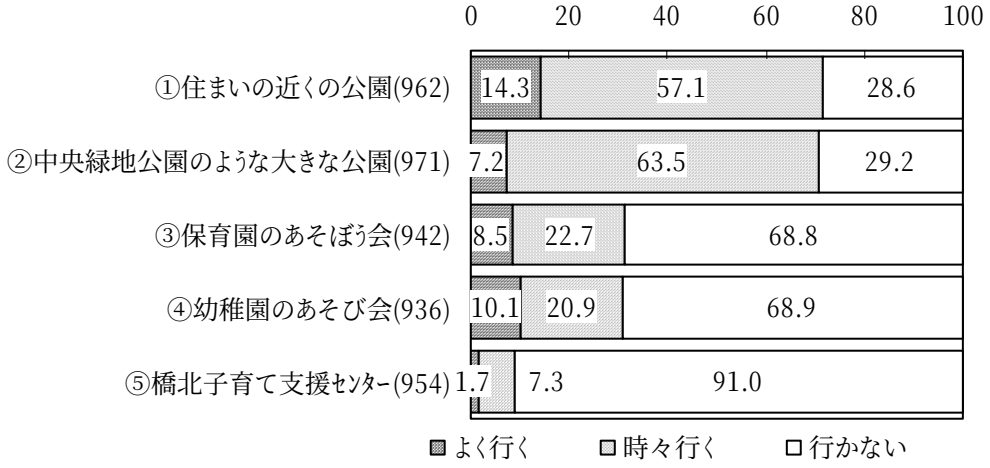
６．支援施策の利用と希望

(1)施設・会の利用と希望

〈まとめ〉
①利用の多い施設・会は「公園」。次いで「あそぼう会」・「あそび会」の３割。
②不満な人が４割を占める「近くの公園」。
③不満な点で多いのは「大きな公園」や「子育て支援センター」が遠いこと。

① 施設・会の利用

問 42　四日市市には、子どものための次のような施設や会がありますが、
利用していらっしゃいますか？
(1)利用の有無



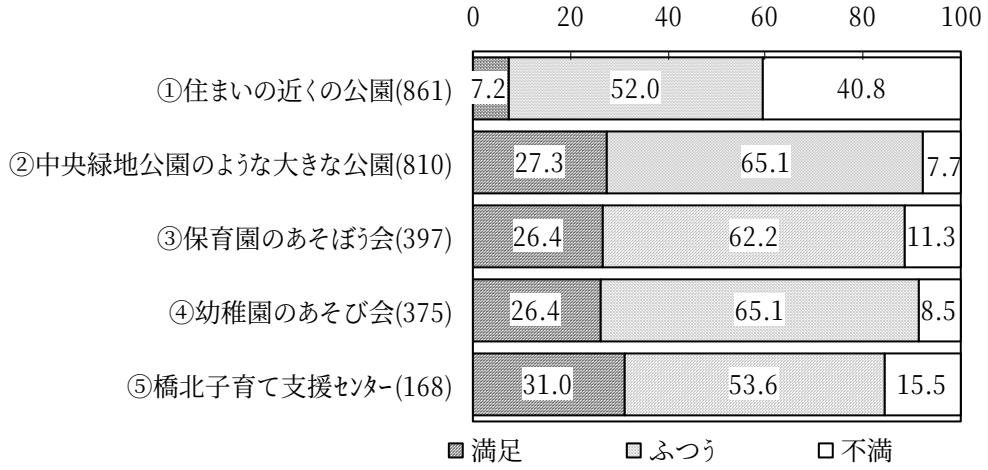
（かっこ内は回答者数）

利用の多い施設・会は「公園」。次いで「あそぼう会」・「あそび会」の３割。

市の「施設や会」について、利用経験を尋ねた。「住まいの近くの公園」や「中央緑地公園のような大きな公園」は、「よく行く」とする家庭が１割前後、「時々行く」は６割前後である。また、「保育園のあそぼう会」、「幼稚園のあそび会」については、「よく行く」は約１割、「時々行く」は約２割である。「橋北子育て支援センター」は、他の施設・会と比べ利用経験のある人が少なく、１割未満である。

② 施設・会への評価

問 42　四日市市には、子どものための次のような施設や会がありますが、
利用していらっしゃいますか？
(2)施設はどうお感じですか？



（かっこ内は回答者数）

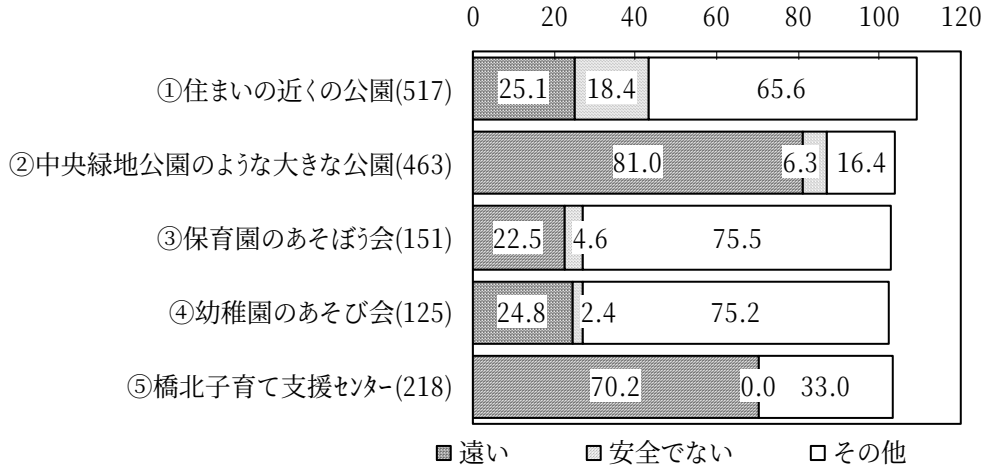
不満な人が４割を占める「近くの公園」。

市の「施設や会」について、どのように感じているかを尋ねた。「住まいの近くの公園」は「不満」とする保護者が約４割を占める。

「保育園のあそぼう会」、「幼稚園のあそび会」は「満足」とする保護者が約３割を占めている。

③ 施設・会の不満点

問 42　四日市市には、子どものための次のような施設や会がありますが、
利用していらっしゃいますか？
(3)不満な点があればご記入ください



（かっこ内は回答者数、複数回答）

不満な点で多いのは「大きな公園」や「子育て支援センター」が遠いこと。

市の「施設や会」の不満な点を尋ねた。「中央緑地公園のような大きな公園」と「橋北子育て支援センター」については、回答が得られた範囲では、「遠い」ことが不満であると指摘する人が過半数に及んでいる。

なお、不満な点について「その他」の主な記入内容は、次のとおりである。

「住まいの近くの公園」
・清潔でない、遊具が少ない、トイレが（少）ない　など
「中央緑地公園のような大きな公園」
・トイレが少ない、移動に車が必要、駐車場が少ない（遠い）　など
「保育園のあそぼう会」
・日時が合わない、知らない　など
「幼稚園のあそび会」
・園庭のみの利用であること、知らない　など
「橋北子育て支援センター」
・知らない　など

(2)子育て支援の利用と希望

〈まとめ〉

①知っている人が９割を超える「あそぼう会・あそび会」。「保健センター」も約８割。

②利用経験がある人が２割を超える「子育て支援センター」、「あそぼう会・あそび会」、「保健センター」。

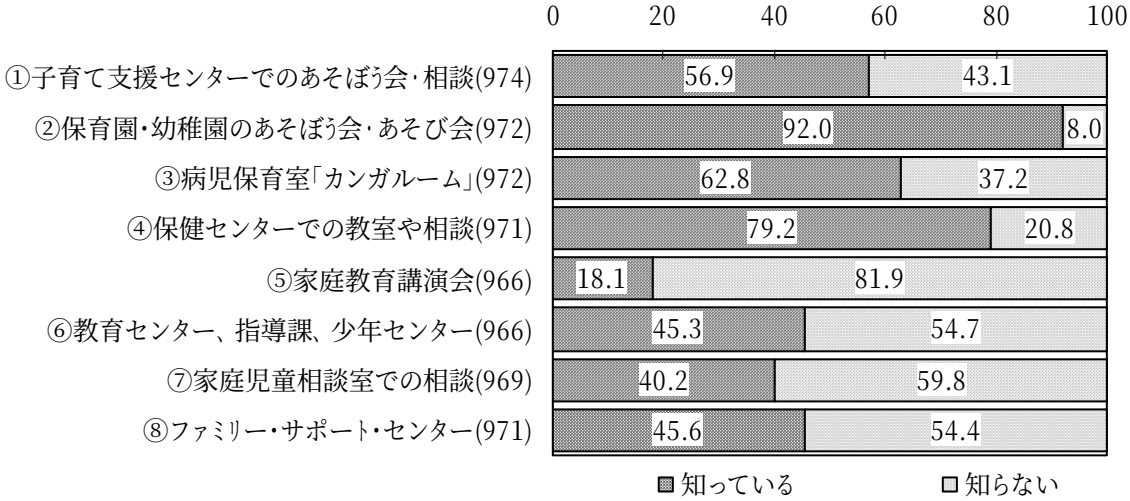
③今後利用したい人が６割を超える「あそぼう会・あそび会」。「子育て支援センター」、「病児保育室」、「保健センター」も４割を超える。

④約１割は、小学校入学後に学童保育所の利用を希望。

① 子育て支援の知識

問 58　四日市市では、次のような子育て支援を行っています。これらの支援をご存じですか？
また利用されたことはありますか？

(1) この支援をご存じですか？



（かっこ内は回答者数）

知っている人が９割を超える「あそぼう会・あそび会」。
「保健センター」も約８割。

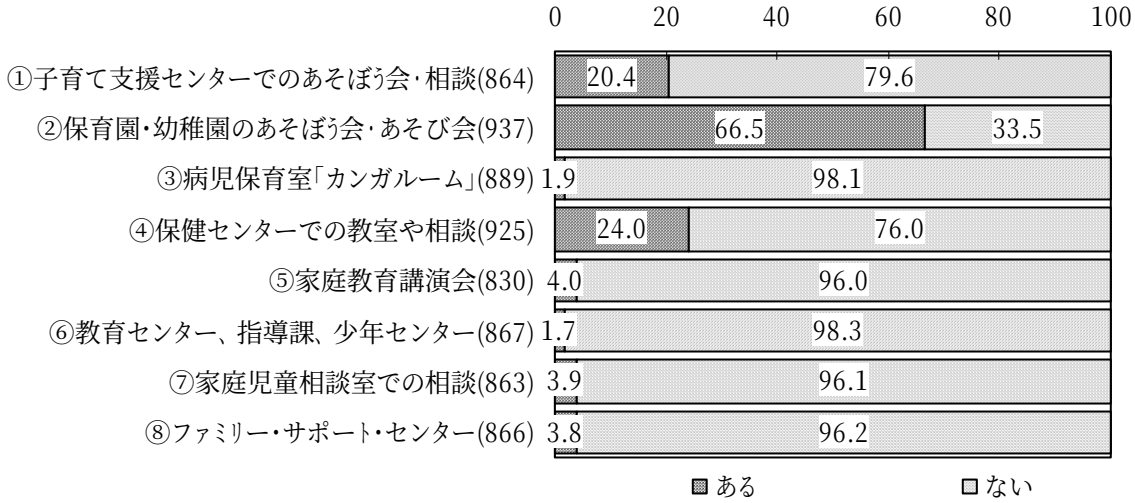
市の「子育て支援」についての周知度を尋ねたところ、知っている人が多い事業として、「保育園・幼稚園のあそぼう会・あそび会」と「保健センターでの教室や相談」などを挙げることができ、それぞれ約９割、約８割の保護者が知っている。

また、「子育て支援センターでのあそぼう会・相談」や「病児保育室“カンガルーム”」を知っている人が約６割に及んでいる。

② 子育て支援の利用経験

問 58　四日市市では、次のような子育て支援を行っています。これらの支援をご存じですか？
また利用されたことはありますか？

(2)利用したことはありますか？



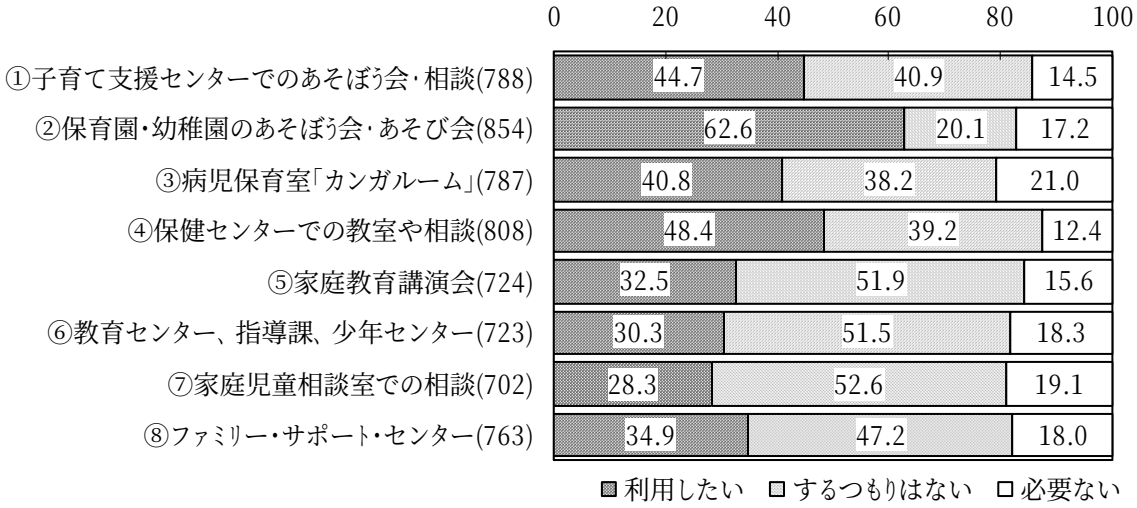
（かっこ内は回答者数）

利用経験がある人が２割を超える「子育て支援センター」、
「あそぼう会・あそび会」、「保健センター」。

市の「子育て支援」についての利用経験を尋ねたところ、利用したことがある人が多い事業は、「保育園・幼稚園のあそぼう会・あそび会」であり、約７割の児童・家庭が活用している。次いで、利用経験のある人が多い事業は、「子育て支援センターでのあそぼう会・相談」と「保健センターでの教室や相談」などであり、それぞれ約２割の児童・家庭が活用している。

③ 子育て支援の希望

問 58　四日市市では、次のような子育て支援を行っています。これらの支援をご存じですか？
また利用されたことはありますか？
(3)今後、利用したいですか？



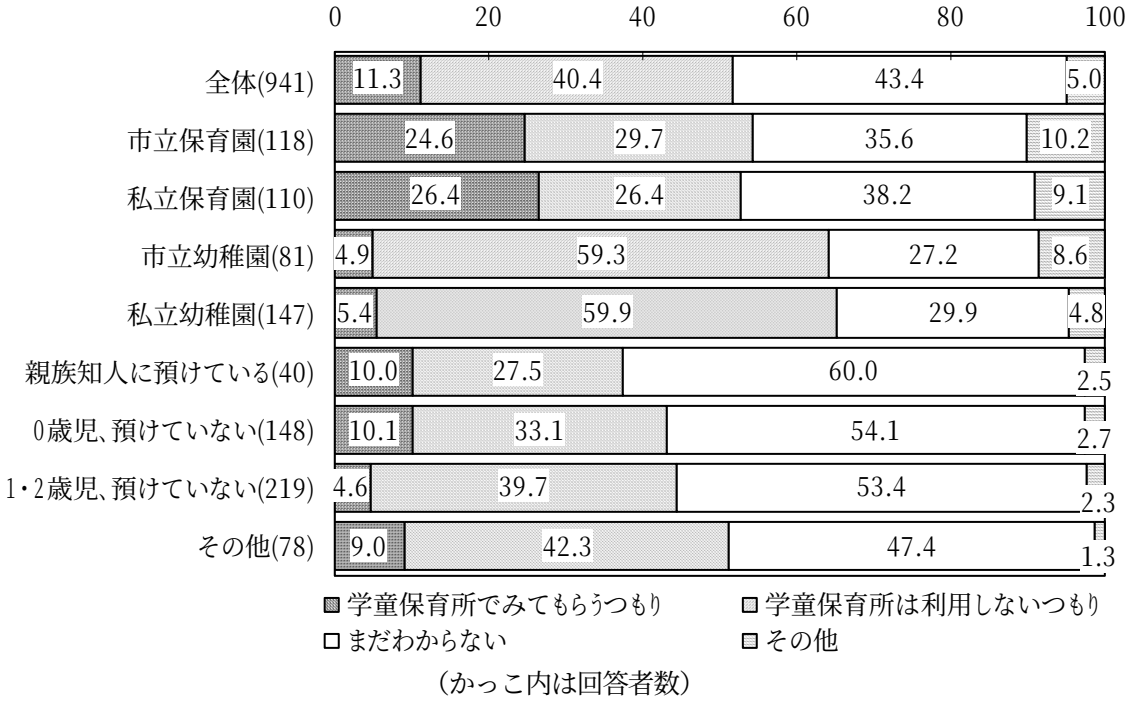
（かっこ内は回答者数）

今後利用したい人が６割を超える「あそぼう会・あそび会」。
「子育て支援センター」、「病児保育室」、「保健センター」も４割を超える。

市の「子育て支援」について今後の利用希望を尋ねたところ、いずれの事業についても、概ね３割以上の児童・家庭が利用したいとしている。「子育て支援センターでのあそうぼう会・相談」「保育園・幼稚園のあそぼう会・あそび会」「病児保育室カンガルーム」「保健センターでの教室や相談」については、４割以上が希望している。

④ 入学後、学童保育所(放課後児童クラブ)への希望〔通園先別〕

問 23　あて名のお子さんが小学校に入学したら、学童保育所（放課後児童クラブ）でみてもらいたいとお考えですか？



（かっこ内は回答者数）

約１割は、小学校入学後に学童保育所の利用を希望。

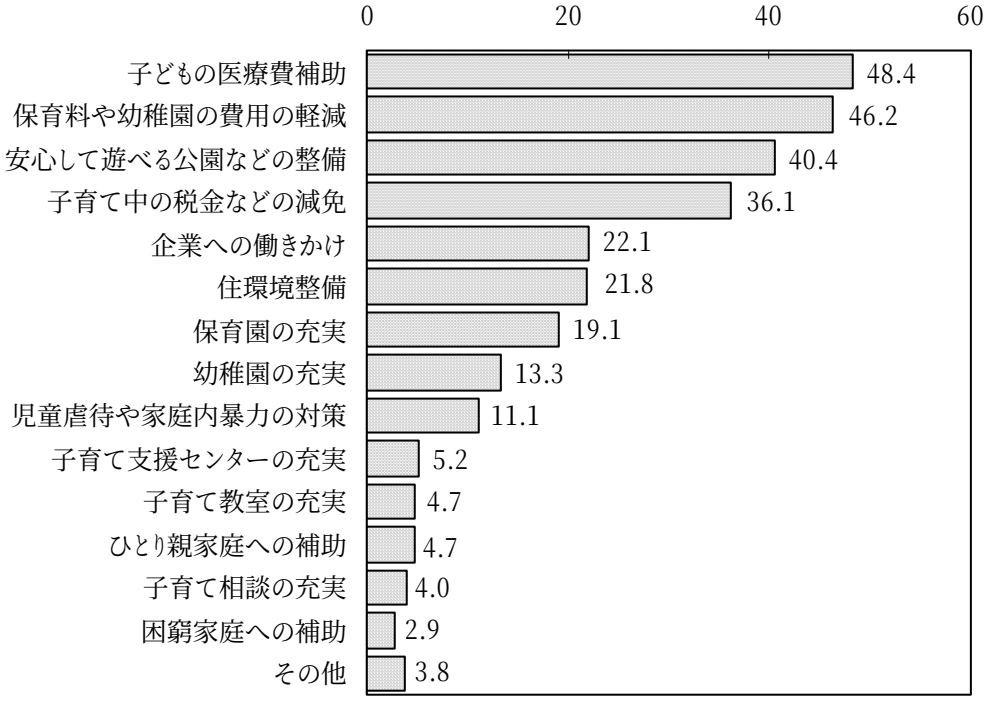
就学前児童が小学校に入学後の「学童保育所（放課後児童クラブ）」の利用意向は、全体の約１割が「学童保育所でみてもらうつもり」としている。中でも、市立・私立の保育園の利用者では希望する家庭の割合が高く、その約２割が「学童保育所でみてもらうつもり」である。「その他」の主な記入内容は、「利用したいが施設が近くにない」という意見が目立つ。

(3)子育て支援施策への意見・要望

〈まとめ〉
①３割以上の家庭が求める医療費・保育料・税金等の軽減や、公園などの整備。各種の子育て支援施策の充実を求める意見も少なくない。
②就学前児童・家庭の約４割は、負担増を伴ってでも施策の充実を希望。

① 本市の子育て支援への要望

問 59 今後、本市はどのような子育て支援に力を入れるべきでしょうか？



（回答者数 972 人、複数回答）

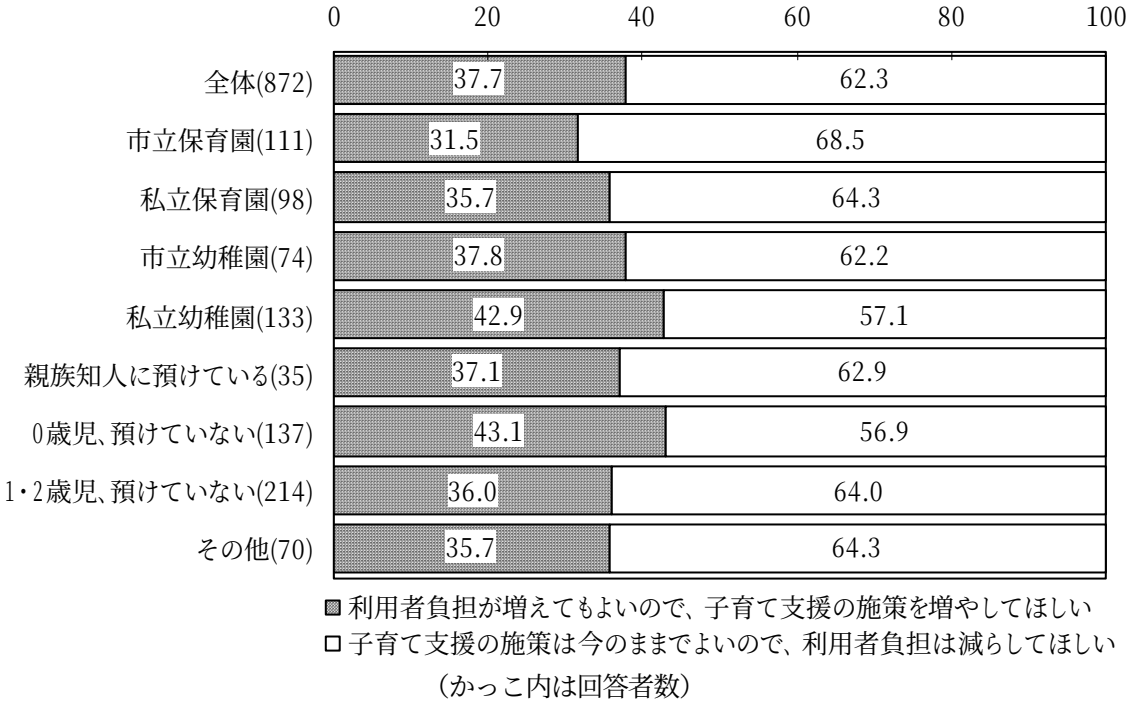
３割以上の家庭が求める医療費・保育料・税金等の軽減や、公園などの整備。各種の子育て支援施策の充実を求める意見も少なくない。

本市が力を入れるべき子育て支援施策として、多くの保護者が考えている施策は、「子どもの医療費補助」や「保育料や幼稚園の費用の軽減」「子育て中の税金などの減免」などの経済的な支援策や、「安心して遊べる公園などの整備」といったものである。これらの施策は、保護者の３割以上が要望している。

その他の施策分野については、要望内容が細分化しており、保護者の要望も分散した結果となった。

② 子育て支援施策のあり方　〔通園先別〕

問 60　今後、子育て支援をすすめるにあたって、あなたのお考えに近いものに○をしてください。



（かっこ内は回答者数）

就学前児童・家庭の約４割は、負担増を伴ってでも施策の充実を希望。

子育て支援施策の推進にあたっての負担の問題について尋ねた。保護者の３～４割は、「利用者負担が増えてもよいので、子育て支援の施策を増やしてほしい」という意見をもっている。しかし、「子育て支援の施策は今のままでよいので、利用者負担は減らしてほしい」とする意見をもつ保護者は過半数に及んでいる。

現在の預け先別にみると、私立幼稚園では「利用者負担が増えてもよいので、子育て支援の施策を増やしてほしい」という意見をもつ保護者が約４割を占めているのに対し、市立保育園では「子育て支援の施策は今のままでよいので、利用者負担は減らしてほしい」という意見をもつ保護者は約７割である。

第2章

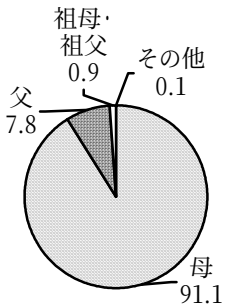
小学生児童・家庭の
アンケート調査結果

１．回答者のプロフィール

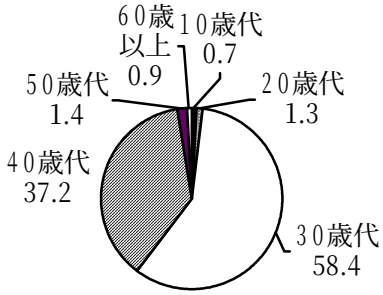
〈まとめ〉
①回答者の９割は母親。30 歳代の回答者が６割弱に及ぶ。
②各学年から回答を得た。ごくわずかだが低い学年ほど回答者が多い。
③小学生児童の９割には、兄弟姉妹がいる。
④核家族は６割強、三世代・四世代家族で暮らすのは３割。

① 回答者の続柄と年齢

問１ 回答していただく方の、お子さんとの続柄は何ですか？
問２ 回答していただく方の年齢は、おいくつですか？



（問１＝回答者数 846 人）



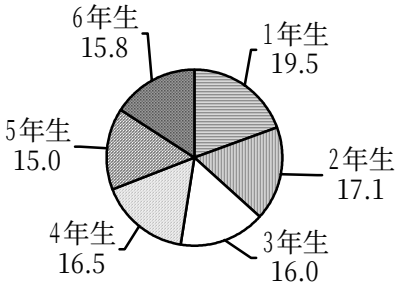
（問２＝回答者数 846 人）

回答者の９割は母親。30 歳代の回答者が６割弱に及ぶ。

回答者を子どもとの続柄でみると、９割以上が母親であり、父親が回答したのは１割未満である。ごく少数事例であるが、祖母・祖父による回答もみられる。また、回答者を年齢別にみると、約６割が３０歳代であり、４０歳代が約４割である。

② 子どもの学年

問３ あて名のお子さんは何年生ですか？



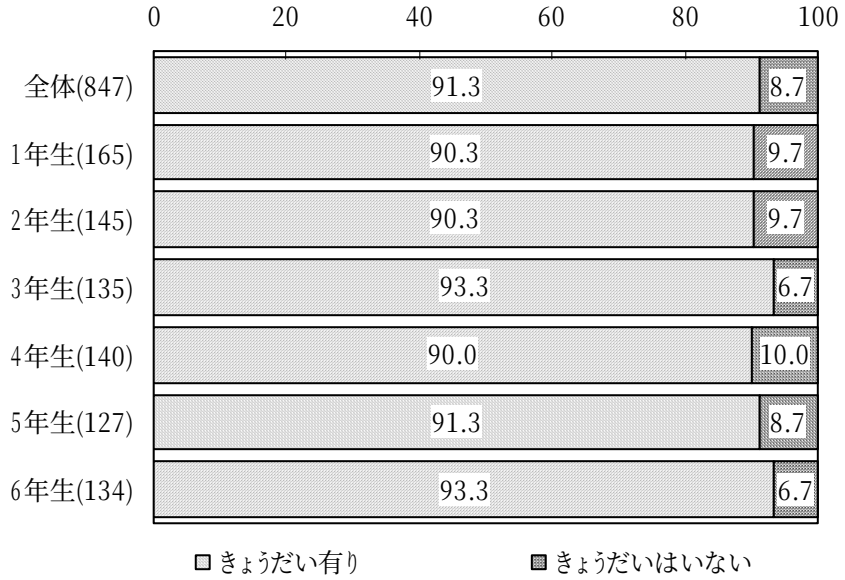
（回答者数 846 人）

各学年から回答を得た。ごくわずかだが低い学年ほど回答者が多い。

児童の学年別にみると、各学年から１割台ずつが回答している。対象者の抽出にあたっては各学年から同人数（同比率）ずつ無作為抽出していたことを考え合わせると、ごくわずかであるが、低い学年をもつ保護者ほど回答が多かった。

③ 子どものきょうだい 〔学年別〕

問４ あて名のお子さんは、何人きょうだいですか？



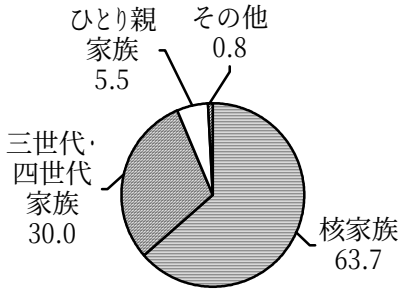
（かっこ内は回答者数）

小学生児童の９割には、兄弟姉妹がいる。

小学生児童の９割以上には、きょうだい（兄弟姉妹）がいる。いずれの学年においても同様である。

④ 家族構成

問５ ご家族は、次のどれに当たりますか？



（回答者数 840 人）

核家族は６割強、三世代・四世代家族で暮らすのは３割。

小学生児童の約６割は、核家族で暮らしている。また、三世代・四世代家族で暮らすのは、約３割である。少数事例ではあるが、ひとり親家族は１割未満である。

就学前児童の家庭に比べ、核家族世帯の割合が１割低くなっているのに対し、三世代・四世代家族は１割高くなっている。

２．放課後と土曜日の状況

〈まとめ〉

①平日夕方・土曜日昼間は、約９割の児童が自宅・友人の家で過ごす。平日は４割が塾・習いごとへ。

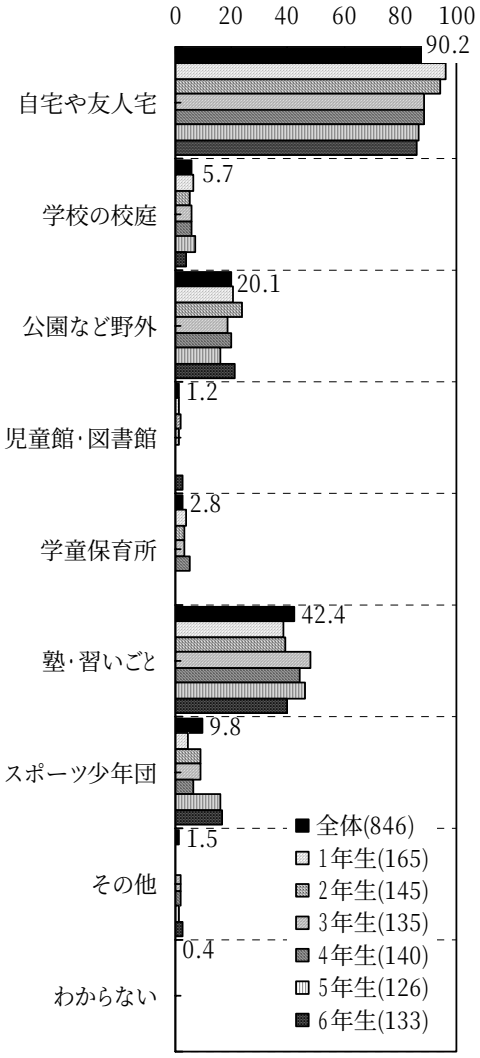
②平日夕方・土曜日昼間は、８割台が「家族がみている」、３割台は「きょうだいといっしょ」。１割台は「子どもだけで」過ごしている。

③学童保育所の利用希望者は、現在利用者の数倍に及ぶ。

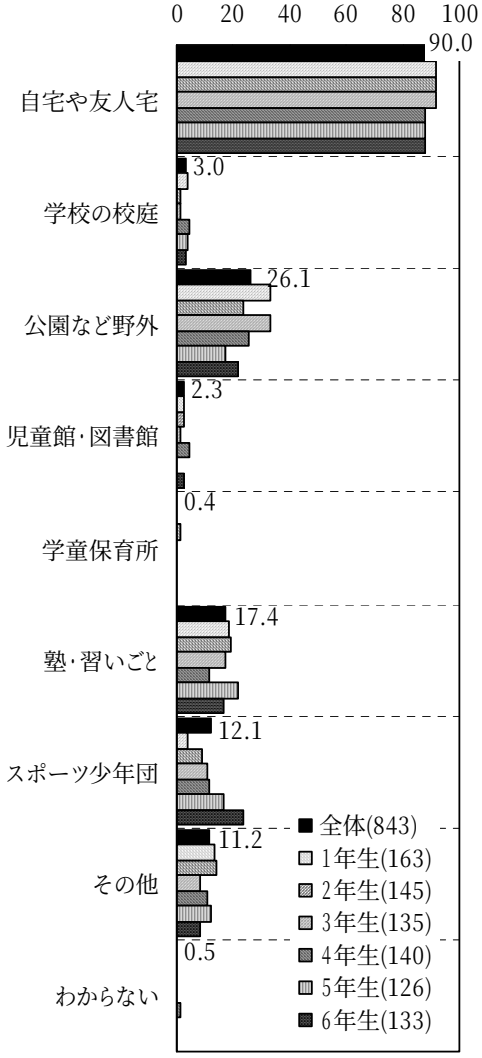
① 平日放課後・土曜日昼間に過ごす場所　〔学年別〕

問９ 平日の放課後や土曜日は、お子さんはどこで過ごすことが多いですか？

(1)平日の放課後、夜７時頃まで



(2)土曜日の昼間



（かっこ内は回答者数、複数回答、全体のみ数値を記載、数値を省略した項目は資料編を参照）

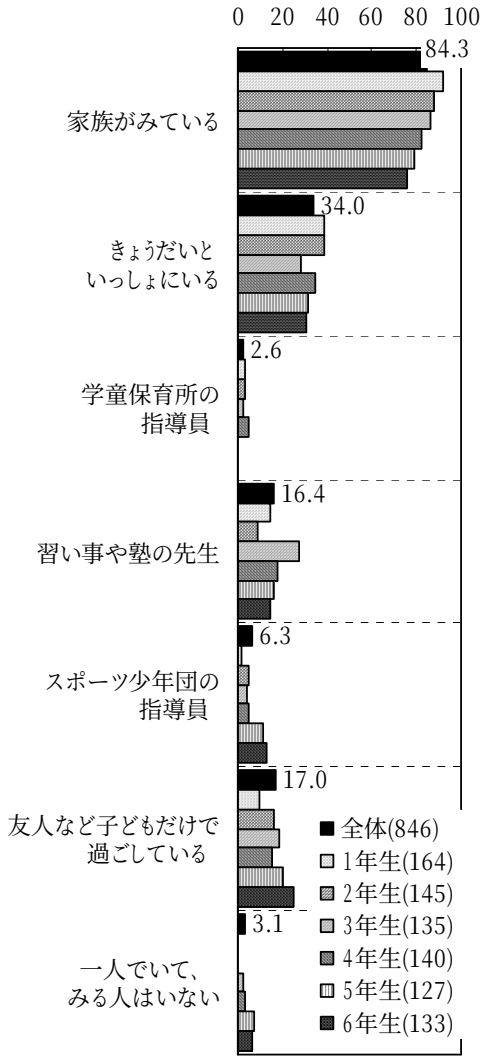
平日夕方・土曜日昼間は、約９割の児童が自宅・友人の家で過ごす。
平日は４割が塾・習いごとへ。

平日夕方・土曜日昼間に過ごす場所は、小学生児童の約９割は「自宅や友人宅」であるとしている。次いで多いのは「塾・習いごと」「公園など野外」である。また、地域の「スポーツ少年団」に参加しているのは約１割を占めているのに対し、「学校の校庭」や「児童館・図書館」「学童保育所」などを活用しているのは、小学生児童の１割に満たない。

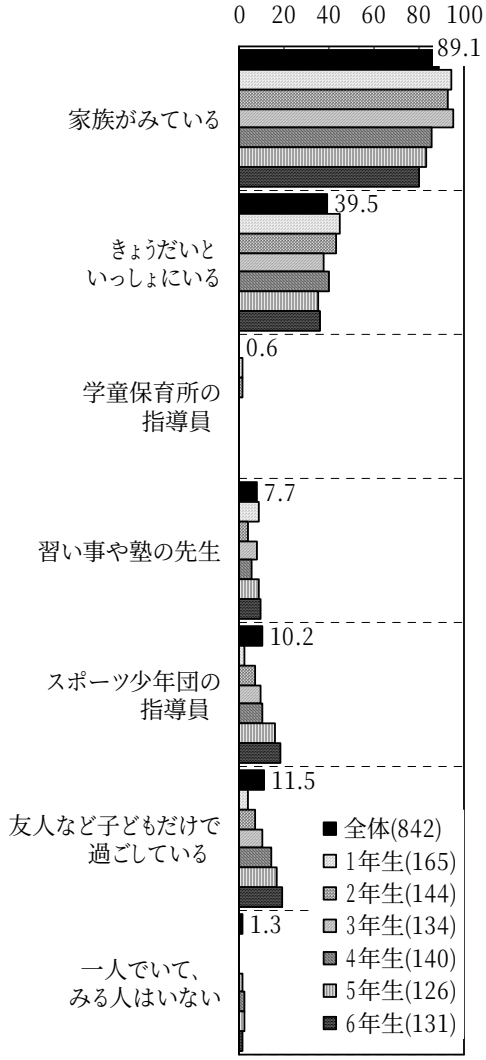
② 平日放課後・土曜日昼間に一緒にいる人　〔学年別〕

問 10 平日の放課後や土曜日は、主にどなたがお子さんをみていますか？

(1)平日の放課後、夜７時頃まで



(2)土曜日の昼間



（かっこ内は回答者数、複数回答、全体のみ数値を記載、数値を省略した項目は資料編を参照）

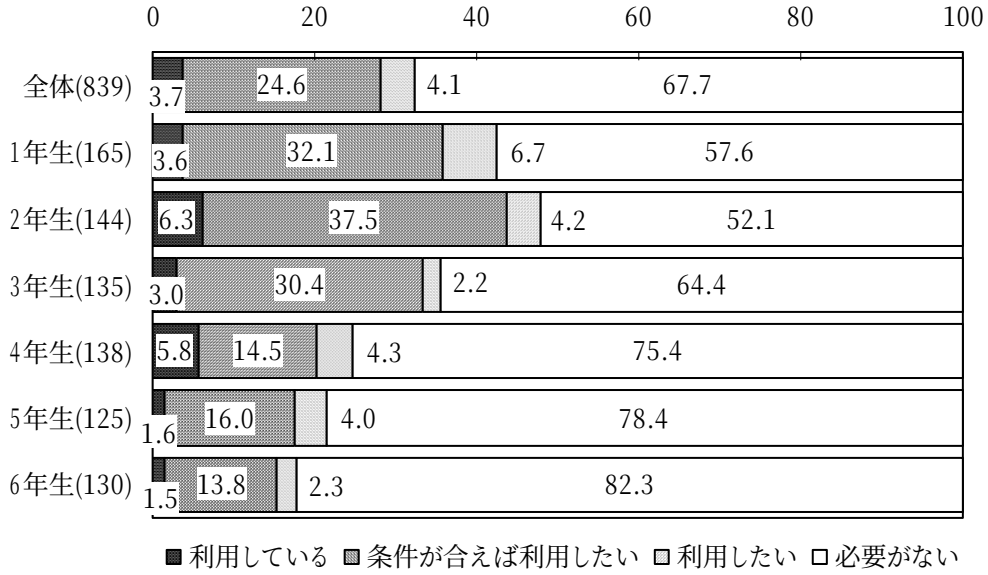
平日夕方・土曜日昼間は、８割台が「家族がみている」、
３割台は「きょうだいといっしょ」。１割台は「子どもだけで」過ごしている。

平日夕方・土曜日昼間に小学生児童をみている人の約８割は「家族」である。次いで多いのは「きょうだいといっしょにいる」であり、３割台に及ぶ。

一方、「友人など子どもだけで過ごしている」のは小学生児童の１割を超えており、わずかではあるが「一人でいて、みる人はいない」児童も見受けられる。

③ 学童保育所の利用状況・利用希望　〔学年別〕

問 11 あて名のお子さんは、学童保育所（放課後児童クラブ）を利用していますか？
問 12 今後、学童保育所（放課後児童クラブ）を利用したいですか？



（かっこ内は回答者数、「必要がない」は未利用かつ利用意向の無回答者を含む）

学童保育所の利用希望者は、現在利用者の数倍に及ぶ。

学童保育所（放課後児童クラブ）を「利用している」小学生児童・家庭は、１割未満である。それに対し、現在は利用していないが「条件が合えば利用したい」とする児童・家庭は、低学年では３割台である。

３．親族・地域社会での子育て

(1)親族関係のなかでの子育て

〈まとめ〉

①父方の祖父母と同居（敷地内含む）は約３割。母方は１割に満たない。

②祖父母に「子どもを預かってもらう」のは６割弱、手助けは「特にない」のは２割弱。

③学校を休んだ児童は８割。ほとんどは 20 日未満。

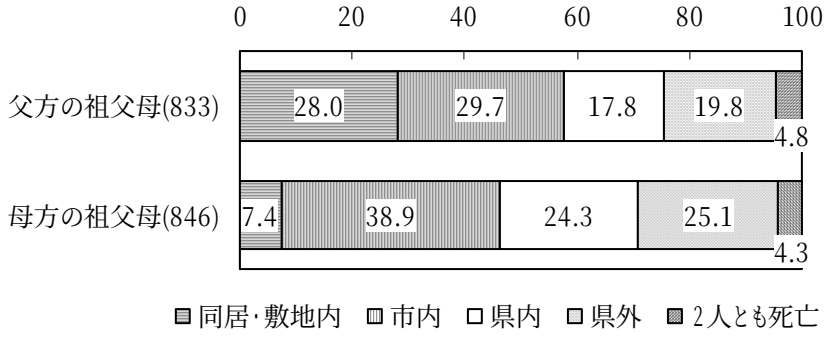
④児童が学校を休んだとき面倒をみたのは、母親が８割。しかし、子どもだけで留守番が１割強。

⑤保護者の急な事情で子どもの面倒をみられなかった家庭が約３割。

⑥「保護者」が面倒をみられなかったとき、６割は祖父母が、４割は父親が対応。しかし、「子どもだけで留守番」も３割。

① 父方・母方の祖父母

問６ お子さんの、父方のおじいさん・おばあさんは、どちらにお住まいですか？
問７ お子さんの、母方のおじいさん・おばあさんは、どちらにお住まいですか？



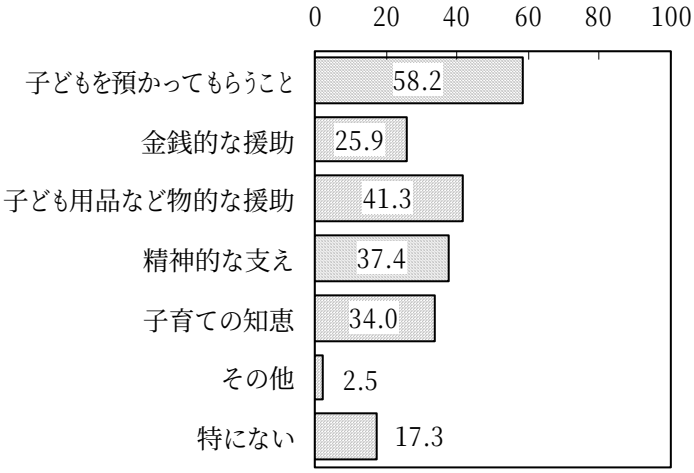
（かっこ内は回答者数）

父方の祖父母と同居（敷地内含む）は約３割。母方は１割に満たない。

小学生児童からみて、父方の祖父母が「同居・敷地内」で一緒に暮らしているのは約３割であり、「市内」も約３割である。同様に母方の祖父母は、「同居・敷地内」が１割未満であり、「市内」は約４割である。その一方で「県外」に祖父母がいるという家庭に着目してみると、父方・母方ともに約２割が「県外」で暮らしている。

② 祖父母からの手助け

問 8 子育てで、お子さんのおじいさん・おばあさんの手助けはありますか？



（回答者数 842 人、複数回答）

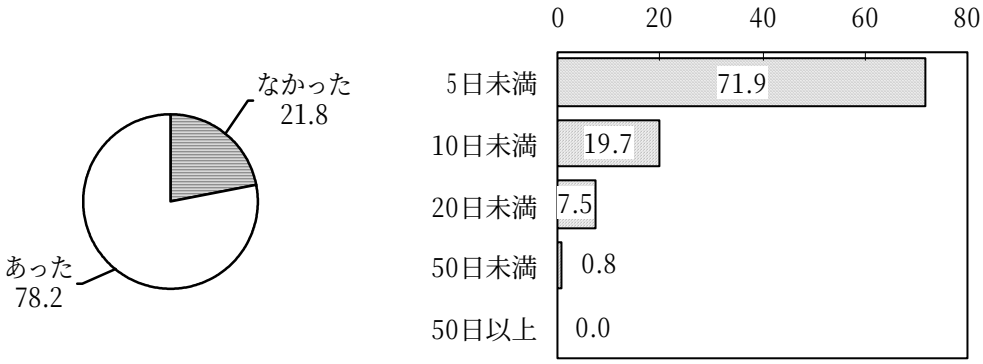
祖父母に「子どもを預かってもらう」のは６割弱、
手助けは「特にない」のは２割弱。

小学生児童のいる家庭・保護者で、祖父母に「子どもを預かってもらうこと」があるのは、約６割である。次いで、金品による援助を得ているのは、「金銭的な援助」の場合は約３割、「子ども用品など物的な援助」は約４割である。さらに、「精神的な支え」を得ているのは３割台である。

一方、祖父母による手助けが「特にない」という児童・家庭も少なくなく、約２割に及んでいる。

③ 子どもが学校を休んだ日数

問 18 この１年間で、あて名のお子さんが病気で学校を休んだことはありましたか？



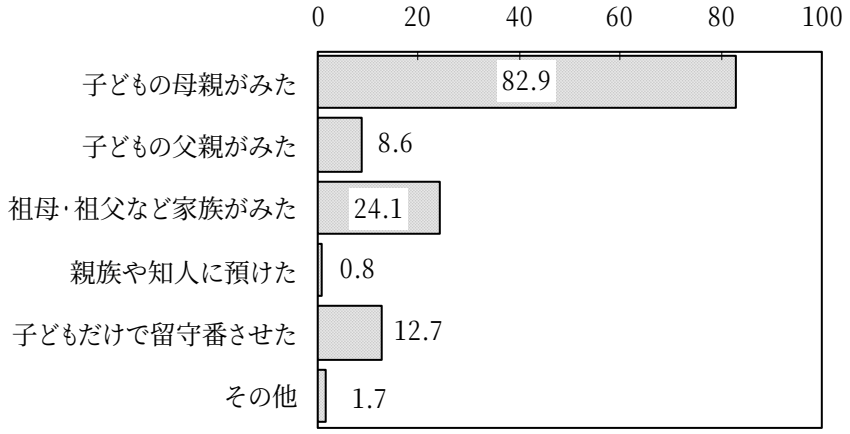
（回答者数 843 人、右図は休んだことのあった回答者 638 人の休んだ日数）

学校を休んだ児童は８割。ほとんどは 20 日未満。

「１年間で、…病気で学校を休んだこと」が「あった」児童は約８割である。そのうちの約７割は、年間５日未満である。少数ではあるが、年間 20 日以上、休んだことのある児童も見受けられる。

④ 休んだとき面倒をみた人

問 19 お子さんが休んだときは、どなたがお子さんの面倒をみましたか？



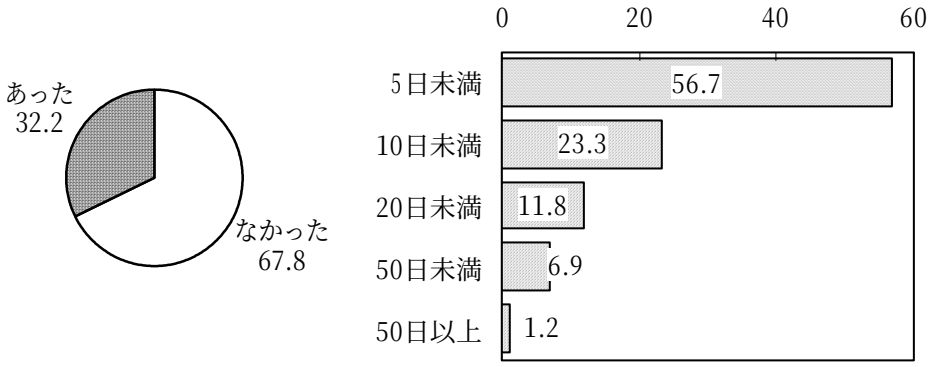
（回答者数 659 人、複数回答、学校を休んだことのある人）

児童が学校を休んだとき面倒をみたのは、母親が８割。しかし、子どもだけで留守番が１割強。

「病気で学校を休んだこと」があった児童・家庭で、そのときに面倒をみた人のうち、約８割までが「子どもの母親がみた」としている。次いで多いのは「祖母・祖父など家族がみた」というものである。一方、「子どもだけで留守番させた」という事例は１割強である。

⑤ 保護者が面倒をみることができない日数

問 20 この１年間に、緊急の用事や保護者の病気や出産で、あて名のお子さんの面倒をみられないことがありましたか？



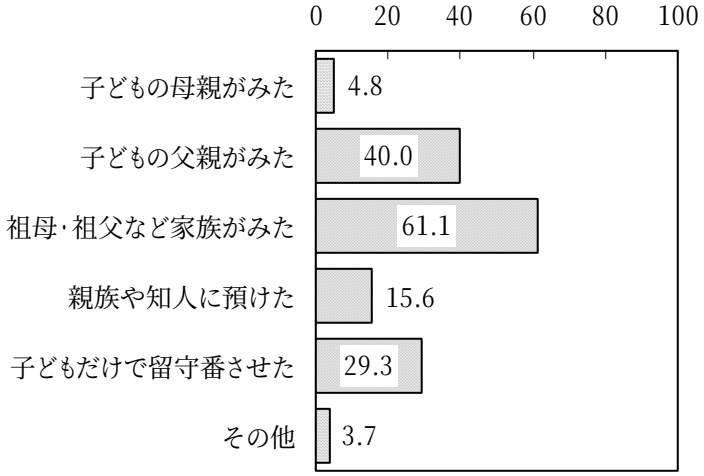
（回答者数 842 人、右図はみられないことのあった回答者 245 人の日数）

保護者の急な事情で子どもの面倒をみられなかった家庭が約３割。

「１年間に、緊急の用事や保護者の病気や出産で、…お子さんの面倒をみられないこと」が「あった」家庭・保護者は、約７割である。そのうちの約６割は年間５日未満である。一方、ごく少数事例ではあるが、年間 50 日以上「みられないこと」があった家庭・保護者も見受けられる。

⑥ 保護者以外の誰が面倒をみるか

問 21 その時は、どなたがお子さんの面倒をみましたか？



（回答者数 270 人、複数回答、保護者が面倒をみることができなかったことのある人）

「保護者」が面倒をみられなかったとき、６割は祖父母が、４割は父親が対応。しかし、「子どもだけで留守番」も３割。

「みられないこと」があった家庭・保護者が、その時に面倒をみてもらったのは、約６割が「祖母・祖父など家族」である。「子どもの父親」は約４割である。

一方、「子どもだけで留守番させた」ことがある事例は、少なくなく約３割に及んでいる。

(2)地域社会での子育て

〈まとめ〉

①市内全域から回答を得た。おおよそ小学生児童の人口比どおりの分布。

②小学生のいる家庭の約８割は持ち家（一戸建）で暮らす。

③あいさつ程度の近所づきあいの家庭が４割。地区で助け合えるのは約２割。

④地区の民生・児童委員等を知らない家庭が６割。

⑤地区が子育てしやすいと感じる家庭は７割以上。しにくいと感じるのは約２割。

⑥子育てしやすさ・しにくさの理由として指摘する人が多い「自然環境がいいから」、「公園や児童館など公共施設がないから」。

① 住んでいる地区

問 22 お住まいの地区はどちらですか？

富洲原	3.2	三重	6.9
富田	3.7	県	2.8
羽津	4.0	八郷	5.1
常磐	10.3	下野	2.4
日永	5.7	大矢知	6.3
四郷	6.8	河原田	1.2
内部	9.0	水沢	0.7
塩浜	2.7	保々	2.7
小山田	2.3	海蔵	4.9
川島	4.6	橋北	1.3
神前	2.1	中部	5.1
桜	5.6	知らない	0.6

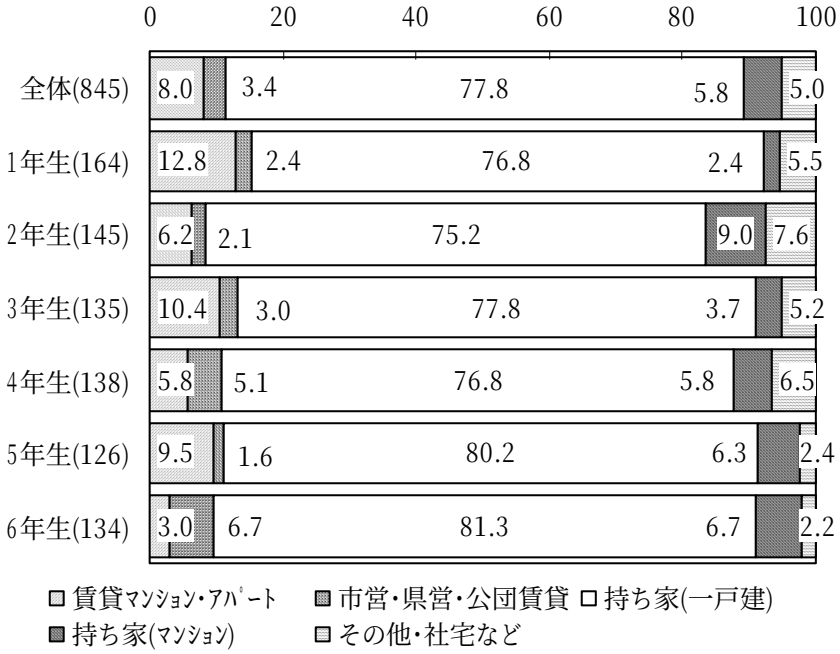
（回答者数 843 人）

市内全域から回答を得た。おおよそ小学生児童の人口比どおりの分布。

回答は、市内全域から得たものである。おおよそ小学生児童の人口比どおりの分布になっている。

② 住まいの種類　〔学年別〕

問 23 お住まいは、次のどれに当たりますか？



（かっこ内は回答者数）

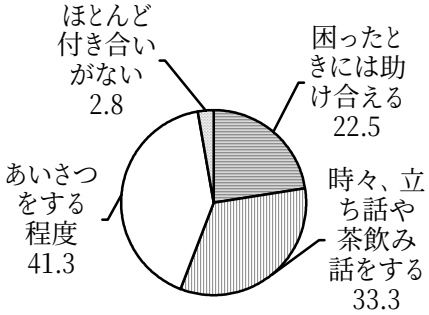
小学生のいる家庭の約８割は持ち家（一戸建）で暮らす。

小学生児童の約８割は「持ち家（一戸建）」の住宅環境で暮らしている。就学前児童の調査結果と合わせると、「持ち家（一戸建）」で暮らす意向のある家庭では、児童が小学校に上がるまでに住み替えをしていることを示唆するものである。

一方、いずれの学年においても、「賃貸マンション・アパート」や「市営・県営・公団賃貸」などの賃貸住宅で暮らす児童・家庭が一定数いる。

③ 近所づきあい

問 24 お宅では、普段近所とのおつきあいをどの程度していますか？



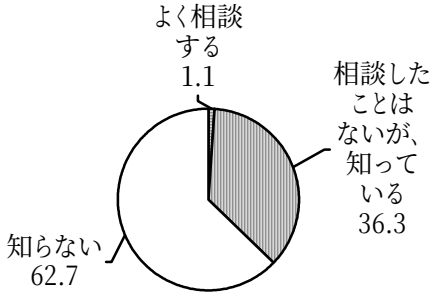
（回答者数 843 人）

あいさつ程度の近所づきあいの家庭が４割。地区で助け合えるのは約２割。

小学生児童をもつ家庭・保護者の近所づきあいの程度は、「困ったときには助け合える」とするのは約２割である。「時々、立ち話や茶飲み話をする」のは約３割であり、「あいさつをする程度」は約４割である。ごく少数事例ではあるが「ほとんど付き合いがない」とする家庭・保護者も見受けられる。

④ 民生・児童委員

問 25 あなたのお住まいの地区の民生・児童委員、主任児童委員をご存知ですか？



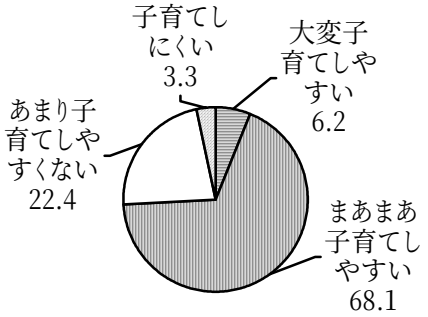
（回答者数 841 人）

地区の民生・児童委員等を知らない家庭が６割。

地区の民生委員を「知らない」とする家庭・保護者は約６割である。「相談したことはないが、知っている」のは約４割であり、「よく相談する」のはごく少数事例である。

⑤ 地区の子育てしやすさ

問 26 お住まいの地区は子育てしやすい地域ですか？



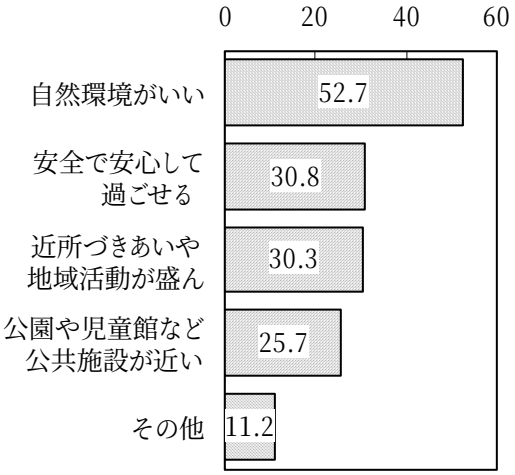
（回答者数 843 人）

地区が子育てしやすいと感じる家庭は７割以上。しにくいと感じるのは約２割。

住んでいる地区が「大変子育てしやすい」または「まあまあ子育てしやすい」と感じているのは、合わせて７割以上である。一方、「あまり子育てしやすくない」と指摘するのは約２割であり、「子育てしにくい」とする家庭・保護者は１割未満である。

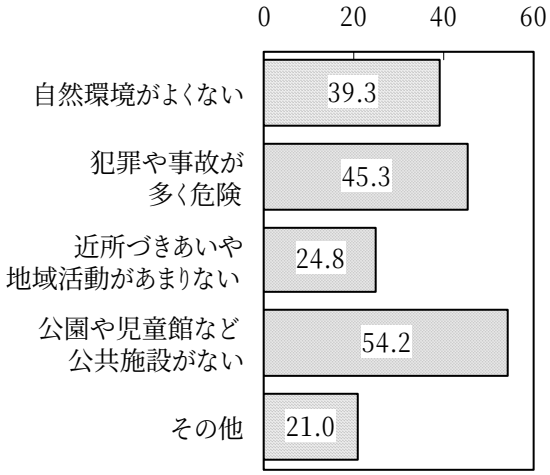
⑥ 子育てしやすい理由・しにくい理由

問 27 子育てしやすい理由



（問 27＝回答者数 600 人、複数回答
子育てしやすいと感じている人）

問 28 子育てしにくい理由



（問 28＝回答者数 214 人、複数回答
子育てしにくいと感じている人）

子育てしやすさ・しにくさの理由として指摘する人が多い
「自然環境がいいから」、「公園や児童館など公共施設がないから」。

住んでいる地区が「子育てしやすい」と感じている人のうち約５割が、その理由として「自然環境がいい」ことを指摘している。子育てしやすい理由について「その他」の主な記入内容は、「近所に同じくらいの年頃の児童がいる」、「実家・親族が近い」、「生活するのに便利」などが目立つ。

一方、住んでいる地区が「子育てしにくい」と感じている人のうち約５割が、その理由として「公園や児童館など公共施設がない」ことを問題として指摘しており、「犯罪や事故が多く危険」という問題を指摘する家庭・保護者は４割を超えている。子育てしにくい理由のうち「その他」の主な記入内容は、「地域活動がよくない」、「交通量が多い」、「地域の社会環境がよくない」ことを指摘するものが目立つ。

(3)親同士の仲間づくり

〈まとめ〉

①子育ての相談ができる「友人」をもつ人は７割弱。３割弱は、親同士のつきあいがない。

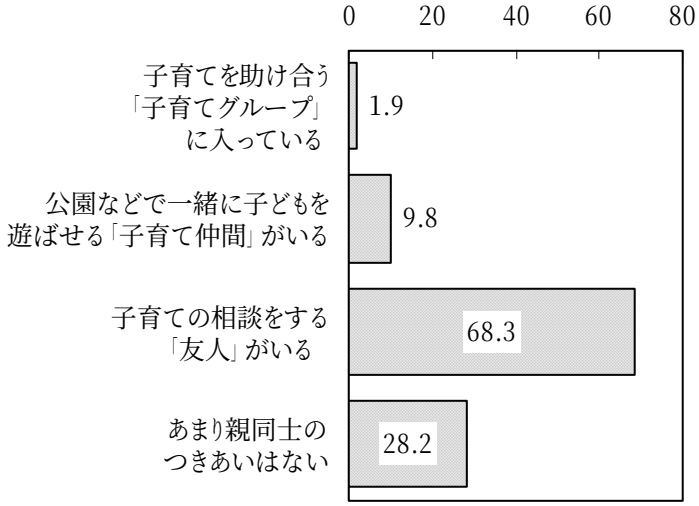
②「子育てグループ」は、児童の学年にかかわらず５～６割前後が「条件が合えば」参加したいと考えている。

③相談できる相手のいない人は１割弱。

④知人等の相談にのることがある約６割。相談も預かることもないのは３割強。

① 親同士のグループ

問 29 あなたは、子どもの親同士のグループに参加したり、親同士のつきあいをしていますか？



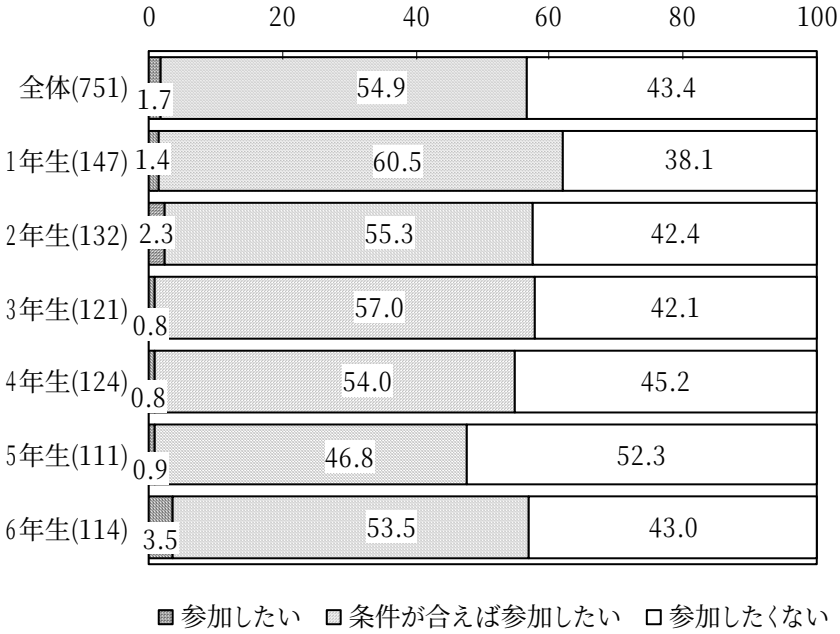
（回答者数 834 人、複数回答）

子育ての相談ができる「友人」をもつ人は７割弱。
３割弱は、親同士のつきあいがない。

「子育ての相談をする『友人』がいる」とする家庭・保護者は約７割であり、「公園などで一緒に子どもを遊ばせる『子育て仲間』がいる」のは約１割である。「子育てを助け合う『子育てグループ』に入っている」とする保護者は、ごく少数事例であり１割に満たない。一方、「あまり親同士のつきあいはない」とする家庭・保護者は少なくなく、約３割に及んでいる。

② グループに参加したいか　〔学年別〕

問 30 「子育てグループ」があれば参加したいですか？



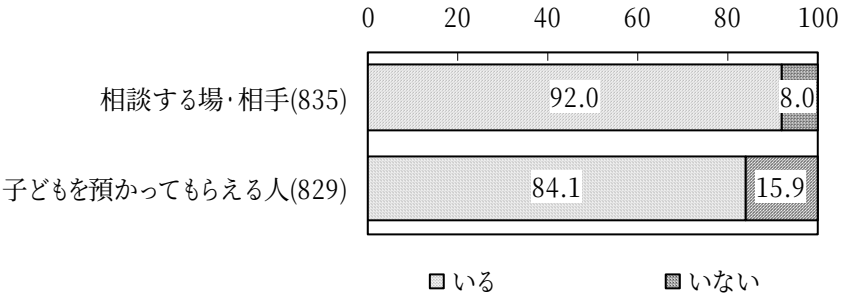
（かっこ内は回答者数、前問で「仲間」「友人」がいる・つきあいがない人）

「子育てグループ」は、児童の学年にかかわらず
５～６割前後が「条件が合えば」参加したいと考えている。

問２９で、「仲間」「友人」がいる、または、つきあいがない人について、「子育てグループがあれば」参加したいかを尋ねたところ、児童の学年にかかわらず４～６割台の家庭・保護者は、「条件が合えば参加したい」としている。

③ 相談できる人・預かってもらえる人

問 31 あなたには、育児のことで相談にのってもらったり、子どもを預かってもらえる人はいますか？



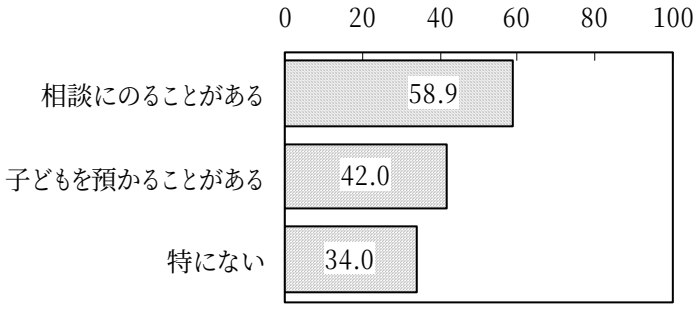
（かっこ内は回答者数）

相談できる相手のいない人は１割弱。

育児の「相談をする場・相手」が「いる」家庭は、回答者のほとんどである。一方、１割に満たないが、そのような人が「いない」とする家庭・保護者も見受けられる。また、「子どもを預かってもらえる人」が「いる」のは約８割であるが、約２割の家庭・保護者では、そのような人が「いない」としている。

④ 知人・親族のため自分が相談にのること・預かること

問 32　あなた自身が、知人や親族の子育ての相談にのったり、子どもを預かることはありますか？



（回答者数 824 人、複数回答）

知人等の相談にのることがある約６割。相談も預かることもないのは３割強。

回答者自身が、知人や親族の子育ての「相談にのることがある」のは、約６割である。また、知人や親族の「子どもを預かることがある」のは、約４割である。

一方、そのような機会が「特にない」との回答は約３割である。

(4)外出時の困りごと

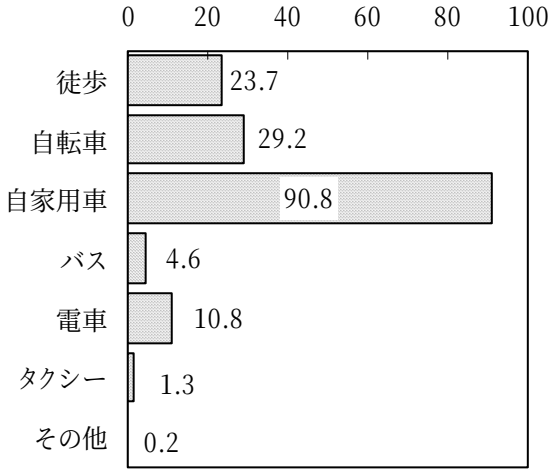
〈まとめ〉

①子どもとの外出で、自家用車を利用するのは９割。１割前後はバス・電車を利用。

②小学生児童の保護者の４割台は、子どもが事故や犯罪にあう危険を心配している。

① 子どもと出かけるときの交通手段

問 38 普段、子どもと出かける時は、どの交通手段を使いますか？



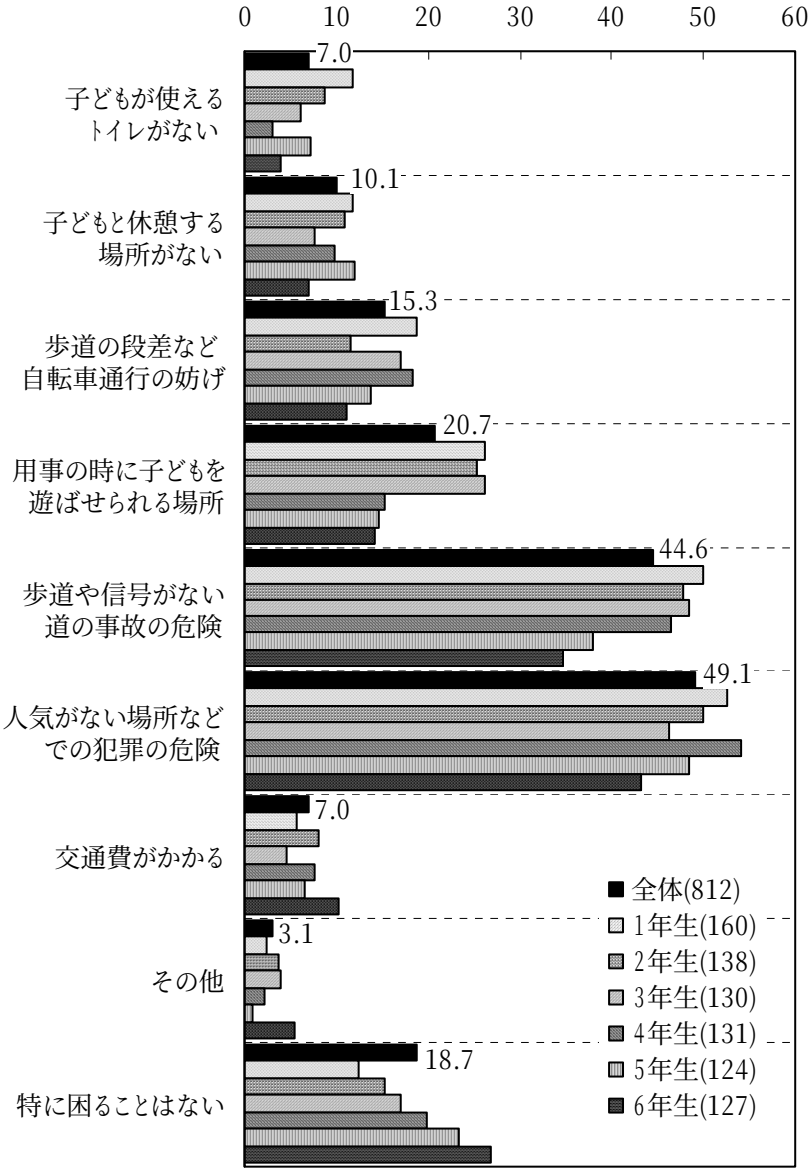
（回答者数 845 人、複数回答）

子どもとの外出で、自家用車を利用するのは９割。
１割前後はバス・電車を利用。

「子どもと出かける時」の外出手段は、９割以上が「自家用車」を用いている。また、「バス」や「電車」を使う家庭も少なくない。

② 出かけるとき困ること　〔学年別〕

問 39 子どもと出かける時や、子どもが外で過ごす時、困ることは何ですか？



（かっこ内は回答者数、複数回答、全体のみ数値を記載、数値を省略した項目は資料編を参照）

小学生児童の保護者の４割台は、子どもが
事故や犯罪にあう危険を心配している。

子どもと出かける時や、子どもが外で過ごす時、困ることとして、小学生児童をもつ家庭・保護者が指摘している問題点は、「歩道や信号がない道の事故の危険」や「人気がない場所などでの犯罪の危険」などである。これらは、就学前児童の調査結果では、児童の年齢が高くなるほど問題点として指摘する家庭・保護者が多かったものであり、子どもたちの単独行動を前提とした安全で楽しい街づくりの必要性を示している。

４．父母の就労と子育て意識

(1)子育ての悩み

〈まとめ〉

①「ゆっくりとした気分」で子どもと向き合えない人も１割未満だがいる。「何とも言えない」とする人も約３割。

②育児に自信を持てないことがある４割の家庭。「何とも言えない」とする人も３割を超えている。

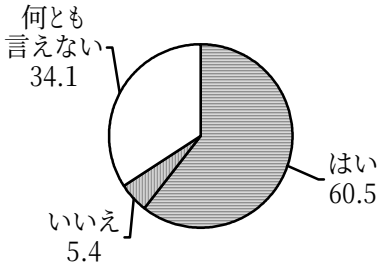
③子どもを感情的に怒ることがある約６割の家庭。わずかだが繰り返したたく例も。

④虐待していると思うことがないと回答する７割強の家庭。「何とも言えない」とする人は約２割。

⑤子育ての悩みとして指摘する家庭が最も多いのは「子どもの安全」。

① ゆっくりした気分で子どもと向き合うこと

問 33 あなたは、ゆっくりとした気分でお子さんと向き合うことがありますか？



（回答者数 841 人）

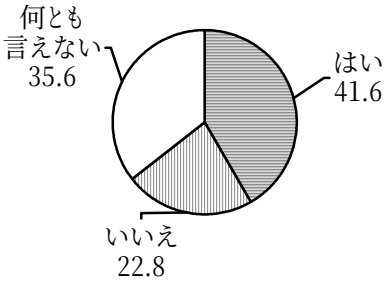
「ゆっくりとした気分」で子どもと向き合えない人も１割未満だがいる。「何とも言えない」とする人も約３割。

「ゆっくりとした気分で」子どもと向き合うことがある（「はい」）とする家庭・保護者は、約６割である。一方で、そのような時間をもてない（「いいえ」）とする家庭・保護者が、１割未満ではあるが、一定数いることが分かる。

また、「何とも言えない」と回答しづらかった家庭・保護者は約３割である。

② 育児に自信がもてないこと

問 34 あなたは、育児に自信が持てないことがありますか？



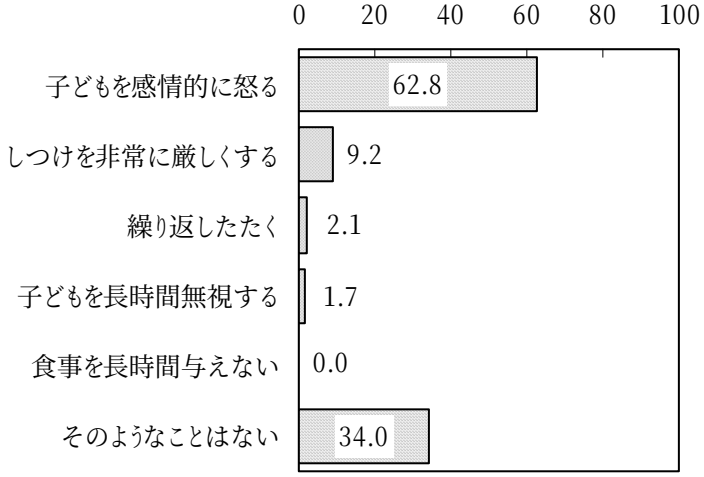
（回答者数 842 人）

育児に自信を持てないことがある４割の家庭。
「何とも言えない」とする人も３割を超えている。

「育児に自信が持てないこと」がある（「はい」）家庭・保護者は、約４割に及んでいる。また、「何とも言えない」と回答しづらかった家庭・保護者も３割を超えている。

③ 子どもとの接し方

問 35 あなたは、子どもに次のような接し方をすることがありますか？



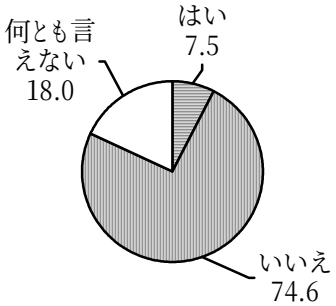
（回答者数 827 人、複数回答）

子どもを感情的に怒ることがある約６割の家庭。
わずかだが繰り返したたく例も。

子どもとの接し方について「子どもを感情的に怒る」ことがあるとする家庭・保護者は約６割に及んでいる。少数事例ではあるものの、「しつけを非常に厳しくする」「繰り返したたく」「子どもを長時間無視する」「食事を長時間与えない」ことがある家庭・保護者も、見受けられる。

④ 虐待の意識

問 36 自分が、子どもを虐待しているのではないかと思うことがありますか？



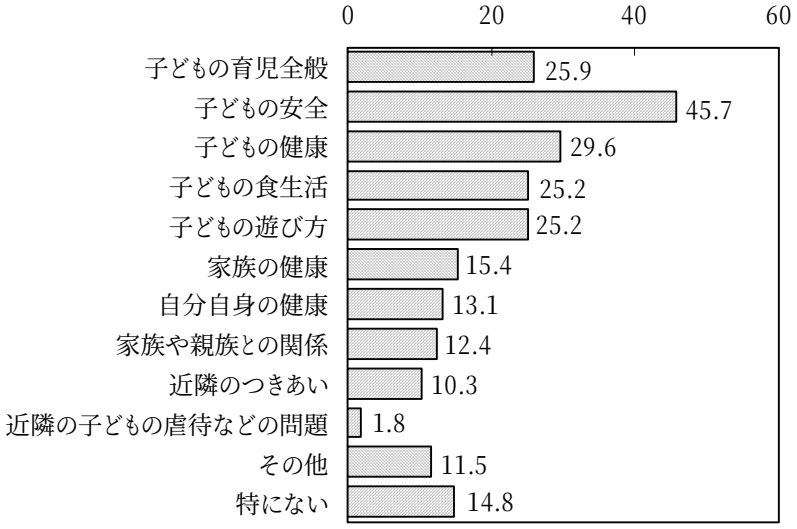
（回答者数 841 人）

虐待していると思うことがないと回答する７割強の家庭。
「何とも言えない」とする人は約２割。

「子どもを虐待しているのではないかと思うこと」がない（「いいえ」）とする家庭・保護者は約７割である。しかしながら、「何とも言えない」と回答しづらかった家庭・保護者が約２割、明確に「はい」と回答したのが約１割である。

⑤ 子育ての悩み・問題

問 37 あなたご自身が、子育てについて感じている悩みや問題はありますか？



（回答者数 825 人、複数回答）

子育ての悩みとして指摘する家庭が最も多いのは「子どもの安全」。

「子育てについて感じている悩みや問題」として、多くの家庭・保護者が指摘するのは、子どもの「育児全般」「安全」「健康」「食生活」「遊び方」などである。

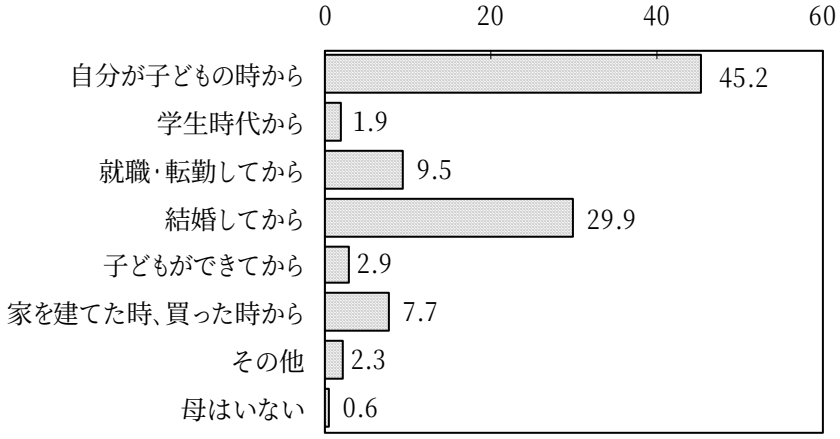
就学前児童の調査結果と比較すると、「子どもの安全」に対する不安をもつ家庭・保護者の割合が大きいことが特徴である。

(2)母親の就労と子育て実態

〈まとめ〉
①本市出身の母親は４割を超える。就職・結婚後の転入は３割。
②低学年児童の母親の３～４割は専業主婦、高学年では２割台。
③働く母親の職種で２割を超えるのは、事務職、サービス・販売職、専門職。
④働く母親のうち、子どもの世話のため休み・早退しにくいのは２割強。
⑤母親が子育てをしながら仕事をするためには、夫・勤め先・親族などの理解・協力が必要。
⑥母親が子どもと一緒に過ごす時間は、３～６時間が６割弱。

① 母親が本市で住まい始めた時期

問 41 お母さんは、四日市市には、いつからお住まいですか？



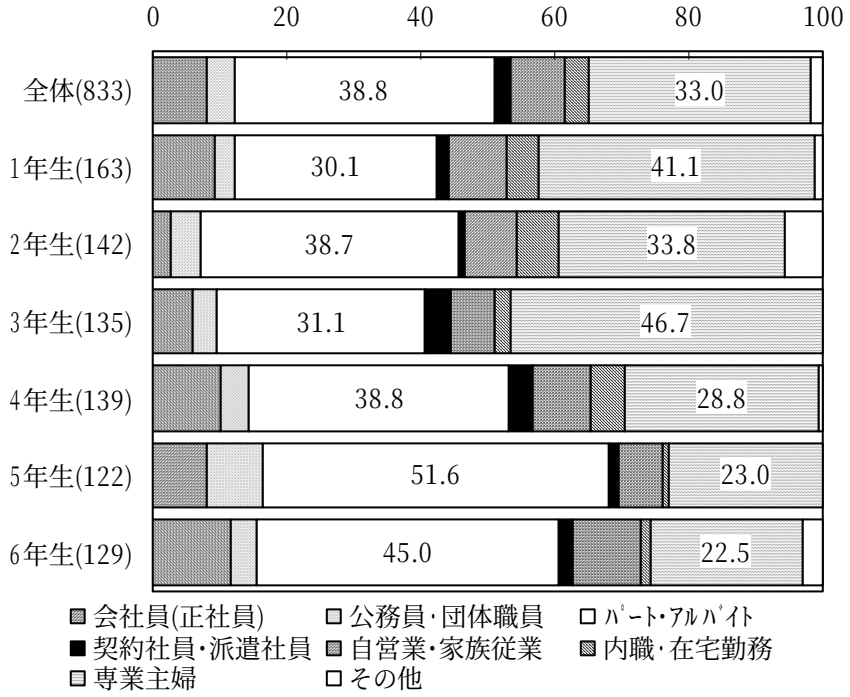
（回答者数 842 人）

本市出身の母親は４割を超える。就職・結婚後の転入は３割。

小学生児童の母親が、本市で住まい始めた時期は、４割以上が「自分が子どもの時から」としている。一方、「就職・転勤してから」「結婚してから」「子どもができてから」など（市内で子ども時代を過ごさずに）大人になってから本市で住まい始めた人も少なくない。なお、ごく少数事例であるが「母親はいない」家庭もある。

② 母親の仕事　〔学年別〕

問 42 お母さんのお仕事は何ですか？



（かっこ内は回答者数、母親のいる人、数値を省略した項目は資料編を参照）

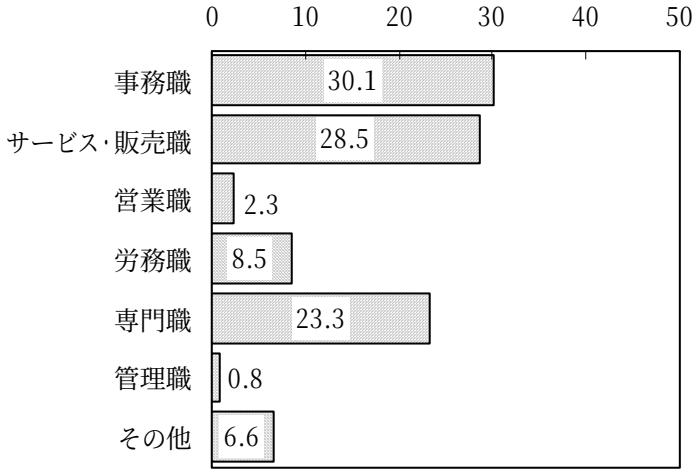
低学年児童の母親の３～４割は専業主婦、高学年では２割台。

小学生児童が低学年である母親の３～４割台、高学年は２割台が「専業主婦」である。一方、児童が１～４年生である母親の３割台、５・６年生では４～５割が「パート・アルバイト」である。

また、いずれの学年においても、「会社員」「公務員・団体職員」や「契約・派遣社員」「内職・在宅勤務」などで仕事をしている母親も、一定数見受けられる。

③ 母親の職業

問 43 職種は何ですか？



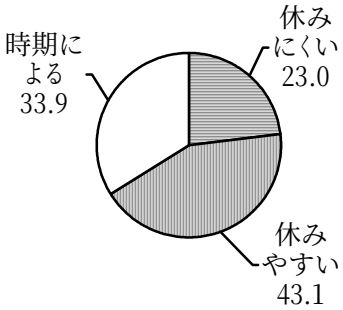
（回答者数 529 人、就労している母親）

働く母親の職種で２割を超えるのは、事務職、サービス・販売職、専門職。

仕事をしている母親の約３割は「事務職」、３割弱は「サービス・販売職」に就いており、約２割は「専門職」である。少数事例ではあるが、「営業職」や「労務職」に就き仕事をしている母親もいる。

④ 母親が子どもの世話で仕事を休むこと

問 45 子どもの世話のために、仕事を休んだり早退することは難しいですか？



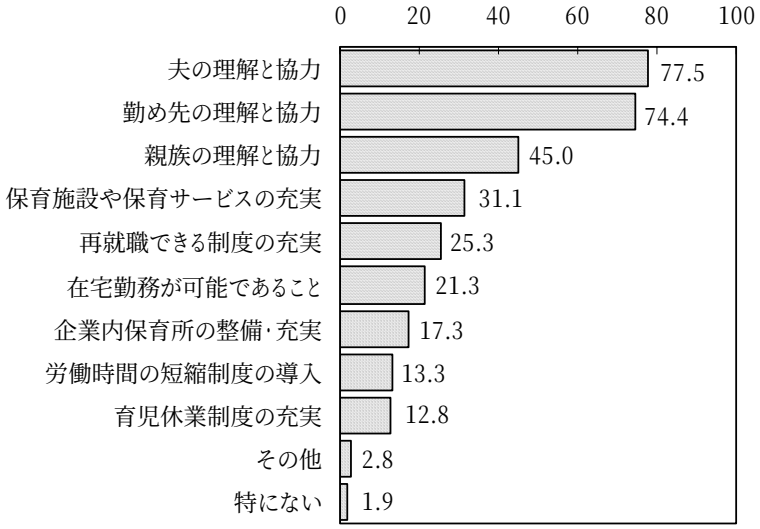
（回答者数 522 人、就労している母親）

働く母親のうち、子どもの世話のため休み・早退しにくいのは２割強。

仕事をしている母親に「子どもの世話のために、仕事を休んだり早退すること」について尋ねたところ、「休みやすい」とする母親が約２割であり、「休みにくい」とする母親が４割を超え、「時期による」とする人も約３割いる。

⑤ 母親が仕事をするため必要なこと

問 46 子育てをしながら仕事をする上で、必要なことは何ですか？



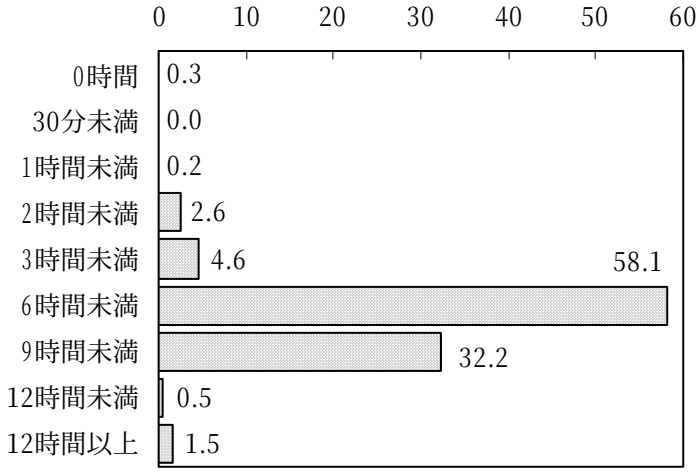
（回答者数 578 人、複数回答、母親のいる人）

母親が子育てをしながら仕事をするためには、
夫・勤め先・親族などの理解・協力が必要。

母親が「子育てをしながら仕事をする」上で必要なこととして、多くの人が指摘するのは、夫・勤め先・親族などの「理解と協力」という点であり、それぞれ４割を超えている。

⑥ 母親が子どもと過ごす時間

問 47 普段の平日で、お母さんが子どもと過ごす時間は何時間ですか？



（回答者数 587 人、母親のいる人）

母親が子どもと一緒に過ごす時間は、３～６時間が６割弱。

母親が子どもと一緒に過ごす時間は、３時間以上６時間未満が約６割、６時間以上９時間未満が約３割である。就学前児童のある家庭・保護者と比べ、一緒に過ごす時間が６時間を超える家庭・保護者の割合が低くなっている。

(3)父親の就労と子育て実態

〈まとめ〉

①父親の仕事は、児童の学年を問わず６割以上が「会社員」。

②働いている父親の３割は労務職。多様な職種で働いている。

③働く父親の６割弱は、子どもの世話のため仕事を休み・早退しにくい。

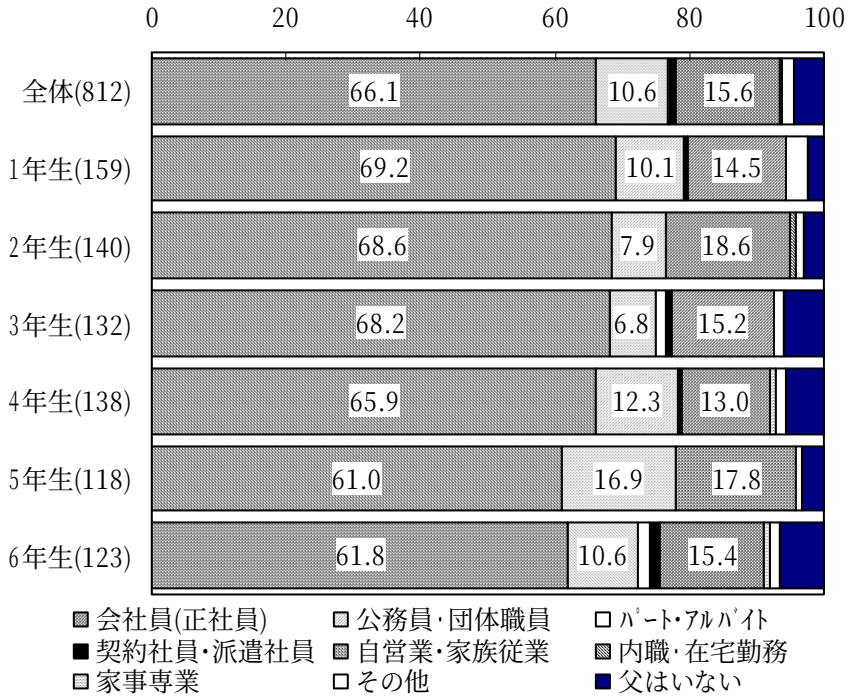
④父親が子育てをしながら仕事をするためには、家族・勤め先の理解・協力が必要とする人は過半数。

⑤父親が子どもと過ごす時間は、０時間が１割。

⑥１年生の子どもと「よく遊ぶ」父親は４割弱。６年生の３割強は「ほとんど遊ぶことはない」。

① 父親の仕事　〔学年別〕

問 48 お父さんのお仕事は何ですか？



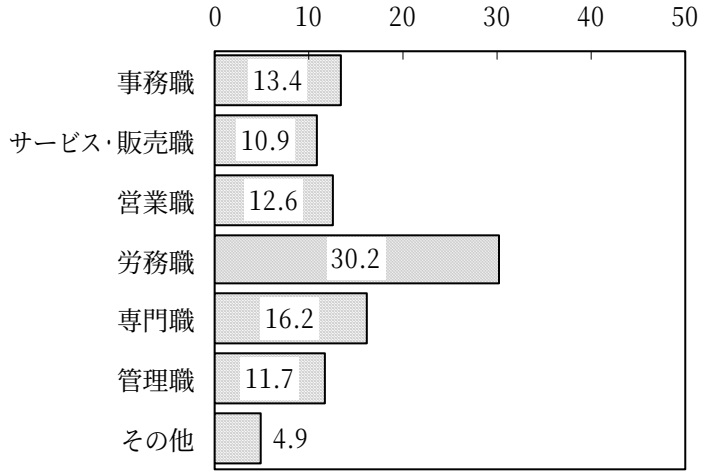
（かっこ内は回答者数、数値を省略した項目は資料編を参照）

父親の仕事は、児童の学年を問わず６割以上が「会社員」。

父親は、母親の就労状態とは異なり、「会社員」として働く人の割合が高く、児童の学年を問わず概ね一定である。母親で多かった「家事専業」（「専業主婦」）や「パート・アルバイト」は、父親ではごくわずかである。

② 父親の職業

問 49 働いている方の職種は何ですか？



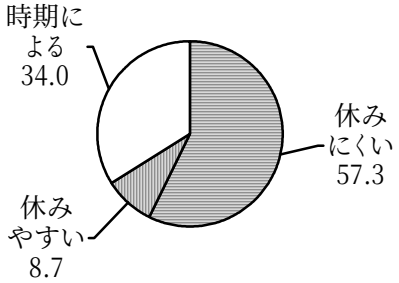
（回答者数 752 人、就労している父親）

働いている父親の３割は労務職。多様な職種で働いている。

仕事をしている父親の約３割は「労務職」に就いている。「事務職」・「専門職」に就いている父親は、１割台である。

③ 父親が子どもの世話で仕事を休むこと

問 51 子どもの世話のために、仕事を休んだり早退することは難しいですか？



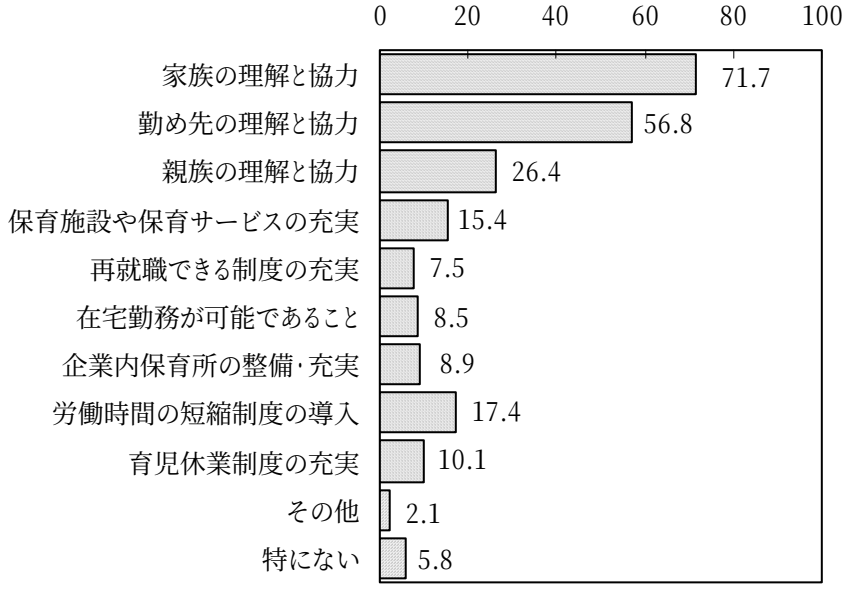
（回答者数 762 人、就労している父親）

働く父親の６割弱は、子どもの世話のため仕事を休み・早退しにくい。

仕事をしている父親に「子どもの世話のために、仕事を休んだり早退すること」について尋ねたところ、「休みやすい」とする父親は１割に満たない。「休みにくい」とする父親は過半数である。

④ 父親が仕事をするため必要なこと

問 52 子育てをしながら仕事をする上で、必要なことは何ですか？



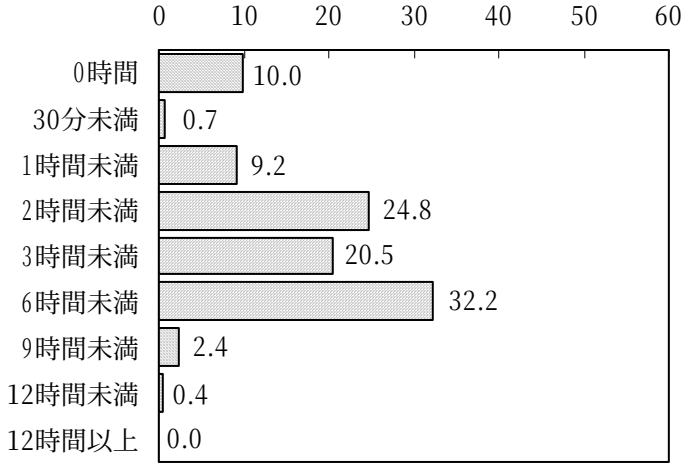
（回答者数 720 人、複数回答、父親のいる人）

父親が子育てをしながら仕事をするためには、
家族・勤め先の理解・協力が必要とする人は過半数。

父親が「子育てをしながら仕事をする」上で必要なことは、家族や勤め先の「理解と協力」を多くの人が指摘しており、また、「再就職できる制度の充実」「在宅勤務が可能であること」「企業内保育所の整備・充実」「労働時間の短縮制度の導入」「育児休業制度の充実」など社会全体での対応も求められている。

⑤ 父親が子どもと過ごす時間

問 53 普段の平日で、お父さんが子どもと過ごす時間は何時間ですか？



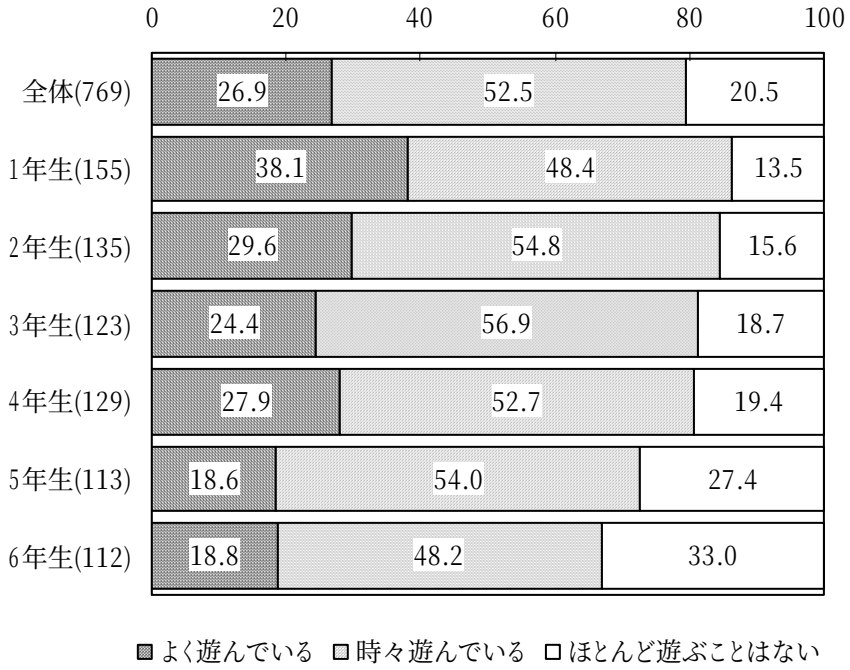
（回答者数 762 人、父親のいる人）

父親が子どもと過ごす時間は、０時間が１割。

父親が子どもと一緒にいる時間は、３時間以上６時間未満が約３割であり、１時間以上２時間未満が約２割、30 分以上１時間未満が約１割などである。１日あたり６時間未満という父親がほとんどである。

⑥ 父親は子どもとよく遊ぶか　〔学年別〕

問 54 お父さんは、お子さんとよく遊んでいますか？



（かっこ内は回答者数、父親のいる人）

１年生の子どもと「よく遊ぶ」父親は４割弱。
６年生の３割強は「ほとんど遊ぶことはない」。

回答者のほとんどは母親であったが、その回答者のうち父親が子どもと「よく遊んでいる」と感じているのは約３割、「時々遊んでいる」とするのは５割である。一方、「ほとんど遊ぶことはない」とする人も少なくない。

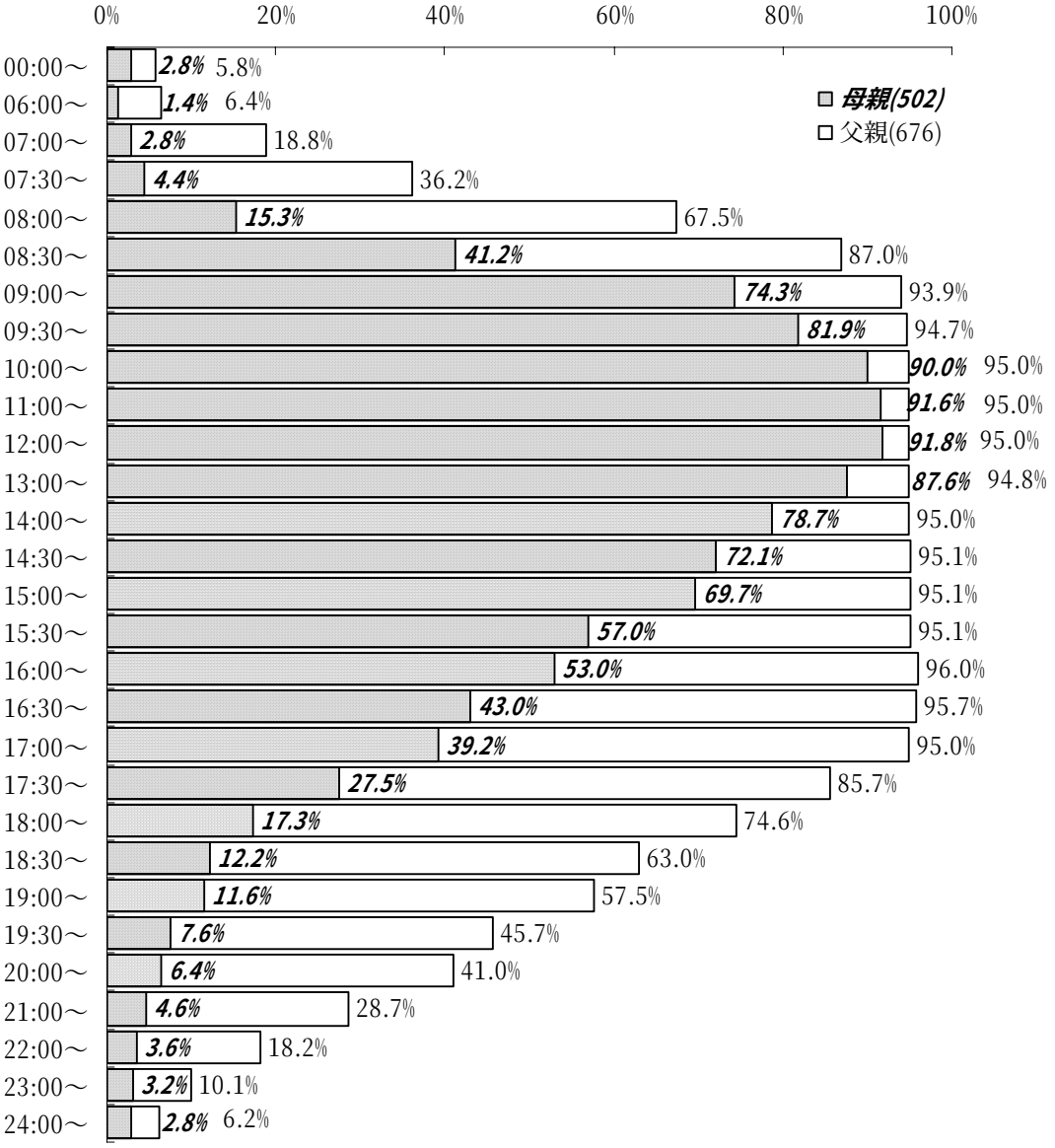
また、学年が上がるほど「ほとんど遊ぶことはない」とする家庭の割合が大きくなり、１年生では約１割であるのに対し、５・６年生では約３割である。

(4)父母の就労時間帯

〈まとめ〉
①母親が仕事をしている時間帯のピークは、10 時から 14 時。

① 父母の就労時間帯

問 44 就労日数と時間はどのくらいですか？　（働いている母親）
問 50 働いている方の就労日数と時間はどのくらいですか？　（働いている父親）



（かっこ内は回答者数、就労している母親・就労している父親）

母親が仕事をしている時間帯のピークは、10 時から 14 時。

仕事をしている母親と父親のうち、就労している時間帯別に就労者の割合を整理したものが前図である。（100%は、仕事に従事している母親・父親）。

仕事をしている父親の９割以上は、９時から 17 時までの時間帯に就労している。それに対し、仕事をしている母親の９割以上が就労しているのは、10 時から 13 時台である。

また、7 ～ 8 時台と 16～21 時台は、就労している父母の間での割合の開きが大きい。なお、24 時以降や６時以前にも就労している母親・父親があることが分かる。

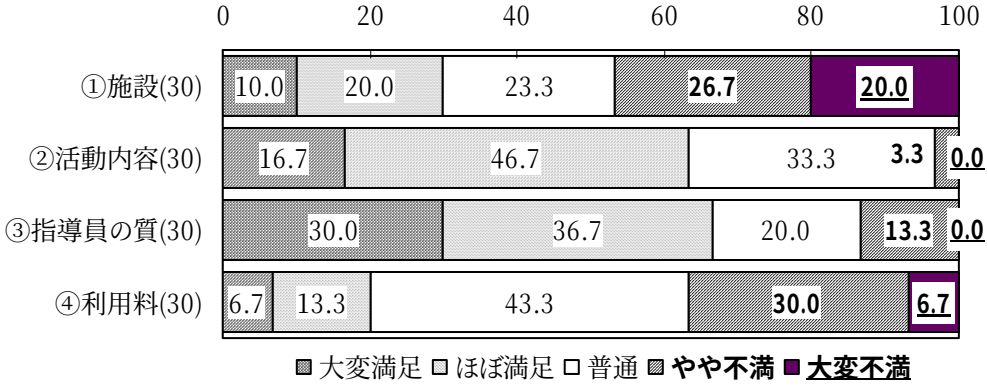
５．学童保育所への希望

(1)利用先の現状への評価

〈まとめ〉
①「活動内容」「指導員の質」には満足だが、「施設」「利用料」に不満な人もいる。

① 学童保育所への評価

問 15 通っている学童保育所（放課後児童クラブ）について、どのようにお感じですか？



（かっこ内は回答者数、放課後児童クラブの利用者）

「活動内容」「指導員の質」には満足だが、
「施設」「利用料」に不満な人もいる。

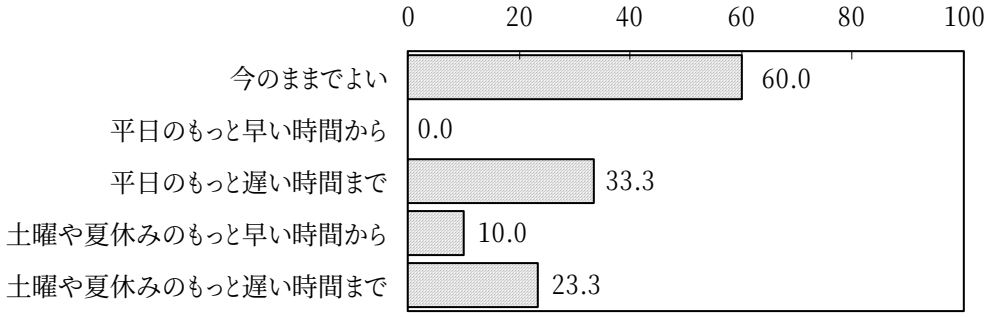
問 11 で学童保育所（放課後児童クラブ）を利用しているとした児童・保護者 30 人について、利用している学童保育所を利用しての感想を尋ねた。「活動内容」や「指導員の質」という観点では「大変満足」「ほぼ満足」とする人が半数を超えているのに対し、「施設」や「利用料」という観点では、「やや不満」「大変不満」とする人が若干目立つ。

(2)今後の希望

〈まとめ〉
①夕方の延長希望が少なくない。
②日曜・祝日も預かって欲しいとする保護者が見受けられる。

① 延長の希望

問 16 利用時間の延長希望は、ありますか？



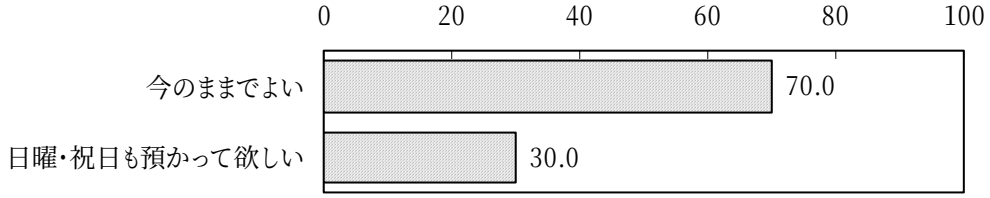
（回答者数 30 人、複数回答、放課後児童クラブの利用者）

夕方の延長希望が少なくない。

利用している学童保育所について、「もっと遅い時間まで」延長してほしいと考えている児童・保護者は、平日だけでなく、土曜や夏休みについても見受けられる。なお、利用時間帯は「今のままでよい」とする人は、６割である。

② 日・祝日の希望

問 17 日曜や祝日の利用希望は、ありますか？



（回答者数 30 人、放課後児童クラブの利用者）

日曜・祝日も預かって欲しいとする保護者が見受けられる。

利用している学童保育所について、「日曜・祝日も預かって欲しい」とする児童・保護者が見受けられる。なお、「今のままでよい」とする人は、７割である。

６．支援施策の利用と希望

(1)施設・会の利用と希望

〈まとめ〉

①図書館に「よく行く」のは１割超。児童館に行かないのは９割弱。

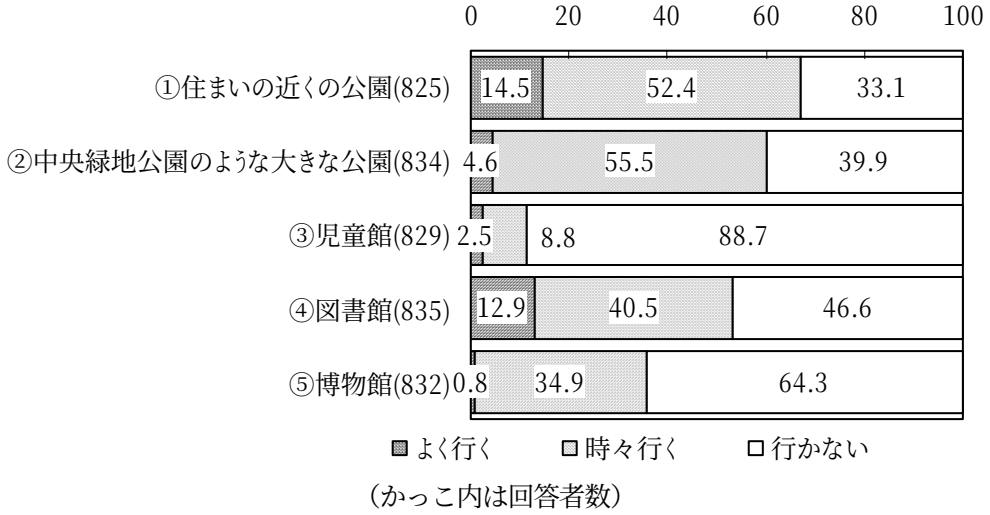
②「大きな公園」「図書館」に満足は約２割、「近くの公園」「児童館」に不満は約３割。

③不満な理由の第１は「遠い」こと。「近くの公園」は「安全でない」ことも問題。

① 施設・会の利用

問 40　四日市市には、子どものための次のような施設や会がありますが、
利用していらっしゃいますか？

(1)利用の有無



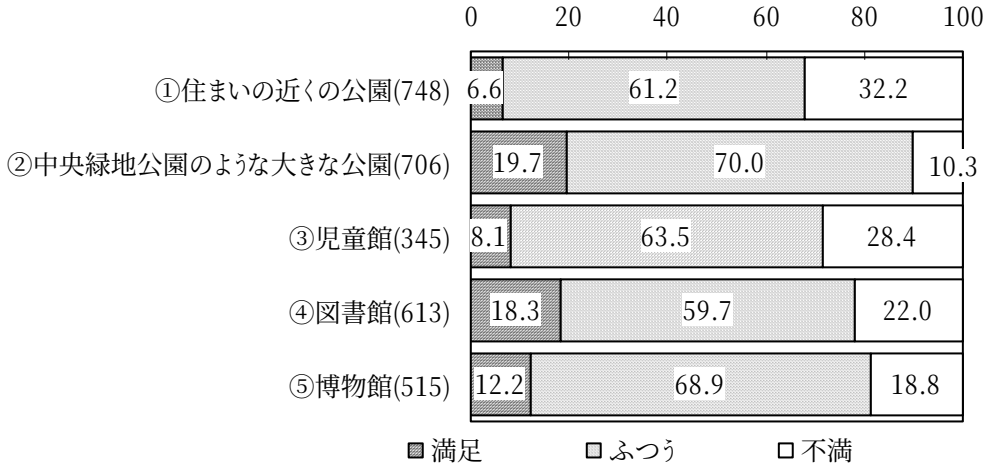
（かっこ内は回答者数）

図書館に「よく行く」のは１割超。児童館に行かないのは９割弱。

市の「施設や会」について、利用経験を尋ねた。「住まいの近くの公園」や「中央緑地公園のような大きな公園」は、「時々行く」とする家庭が５割台である。また、「図書館」「博物館」は、「時々行く」児童・家庭は３～４割台である。一方、「児童館」は、「よく行く」「時々行く」を合わせても１割に満たない。

② 施設・会への評価

問 40　四日市市には、子どものための次のような施設や会がありますが、
利用していらっしゃいますか？
(2)施設はどうお感じですか？



（かっこ内は回答者数）

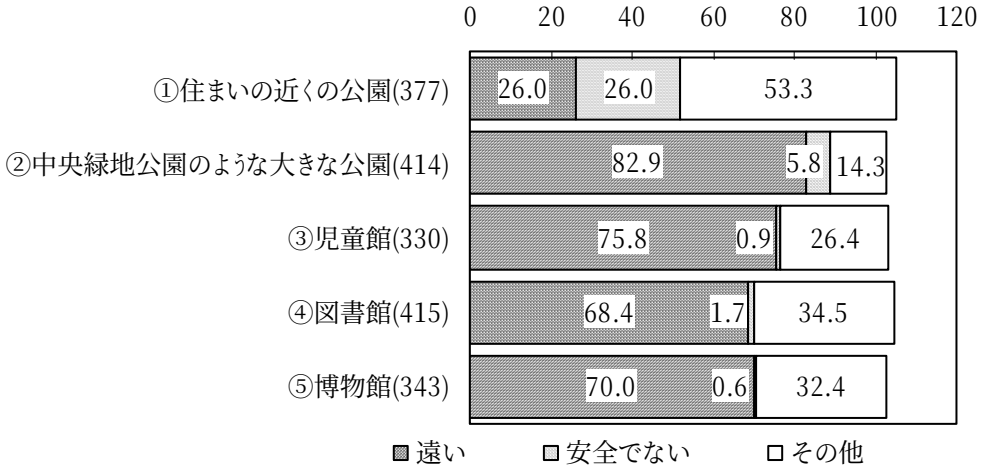
「大きな公園」「図書館」に満足は約２割、
「近くの公園」「児童館」に不満は約３割。

市の「施設や会」について、どのように感じているかを尋ねた。「住まいの近くの公園」や「児童館」「図書館」は「不満」とする保護者が２割を超えている。

一方、「中央緑地公園のような大きな公園」「図書館」について「満足」とする児童・保護者は２割近くに及んでいる。

③ 施設・会の不満点

問 40　四日市市には、子どものための次のような施設や会がありますが、
利用していらっしゃいますか？
(3)不満な点があれば、ご記入ください。



（かっこ内は回答者数、複数回答）

不満な理由の第１は「遠い」こと。
「近くの公園」は「安全でない」ことも問題。

市の「施設や会」の不満な点を尋ねた。いずれの施設についても「遠い」ことが問題となっているなかで、「近くの公園」については「安全でない」と感じている児童・保護者が相対的に目立っている。

なお、不満な点について「その他」の主な記入内容は、次のとおりである。

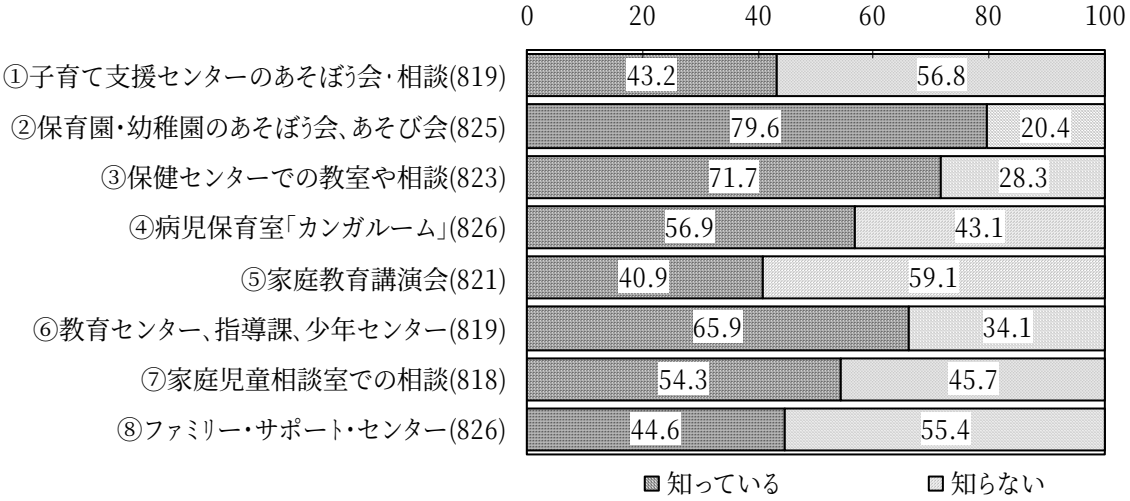
「住まいの近くの公園」
・清潔でない、遊具が少ない、トイレが（少）ない　など
「中央緑地公園のような大きな公園」
・トイレが少ない、駐車場が少ない　など
「児童館」
・知らない　など
「図書館」
・駐車場が少ない、本が少ない　など
「博物館」
・駐車場が少なく、内容的に合わない　など

(2)子育て支援の利用と希望

〈まとめ〉
①知っている人が７割以上の子育て支援は「あそぼう会・あそび会」「保健センター」。
②利用経験が多いのは「保育園・幼稚園のあそぼう会、あそび会」の４割強。次いで「保健センター」の２割。
③利用希望をもつ家庭が３割に及ぶ「家庭教育講演会」。

① 子育て支援の知識

問 55　四日市市では、次のような子育て支援を行っています。これらの支援をご存じですか？
また利用されたことはありますか？
(1) この支援をご存じですか？



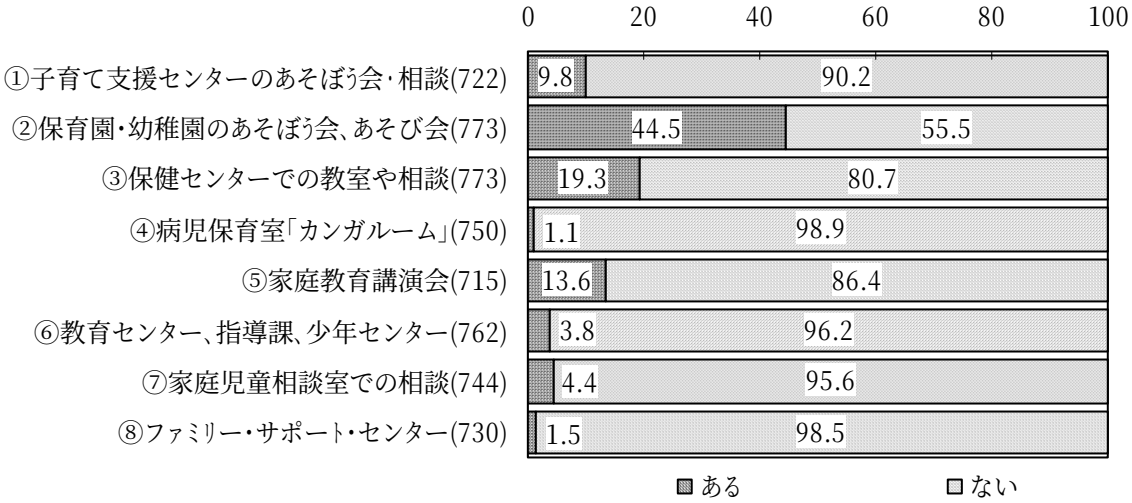
（かっこ内は回答者数）

知っている人が７割以上の子育て支援は
「あそぼう会・あそび会」「保健センター」。

市の「子育て支援」についての周知度を尋ねたところ、知っている人が半数を超えている事業として、多い順に「保育園・幼稚園のあそぼう会・あそび会」「保健センターでの教室や相談」のほか、「教育センター、指導課、少年センター」や「病児保育室“カンガルーム”」「家庭児童相談室での相談」などを挙げることができる。

② 子育て支援の利用経験

問 55　四日市市では、次のような子育て支援を行っています。これらの支援をご存じですか？
また利用されたことはありますか？
(2)利用したことはありますか？



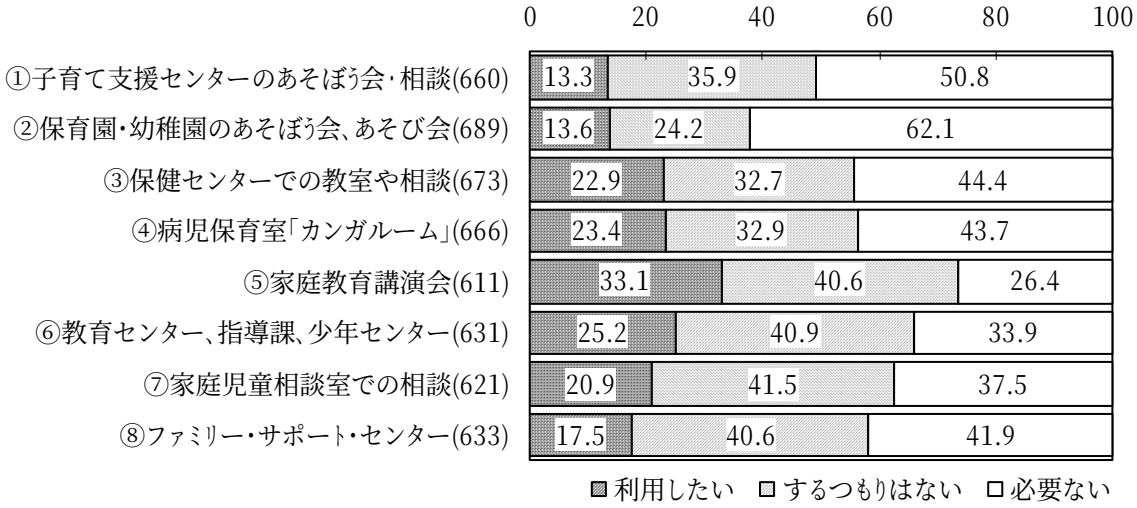
（かっこ内は回答者数）

利用経験が多いのは「保育園・幼稚園のあそぼう会、あそび会」の４割強。
次いで「保健センター」の２割。

市の「子育て支援」についての利用経験を尋ねたところ、利用したことがある人が多い事業は、「保育園・幼稚園のあそぼう会・あそび会」であり、約４割の児童・家庭が活用している。次いで、利用経験のある人が多い事業は「保健センターでの教室や相談」などであり、約２割の児童・家庭が活用している。

③ 子育て支援の希望

問 55　四日市市では、次のような子育て支援を行っています。これらの支援をご存じですか？
また利用されたことはありますか？
(3)今後、利用したいですか？



（かっこ内は回答者数）

利用希望をもつ家庭が３割に及ぶ「家庭教育講演会」。

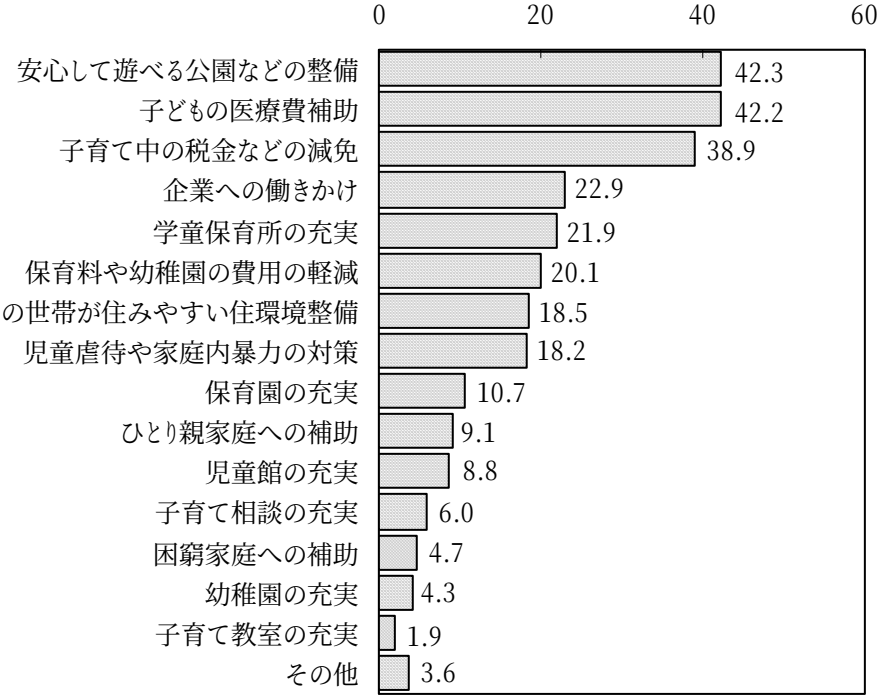
市の「子育て支援」について今後の利用希望を尋ねたところ、いずれの事業についても、１～３割台の児童・家庭が利用したいとしている。利用意向の割合が最も高いのは、「家庭教育講演会」であり３割を超えている。

(3)子育て支援施策への意見・要望

〈まとめ〉
①公園などの整備、医療費補助、税金などの減免など、多方面の子育て支援策の充実が必要。
②約４割は、負担増を伴ってでも施策の充実を希望。

① 本市の子育て支援への要望

問 56 今後、本市はどのような子育て支援に力を入れるべきでしょうか？



（回答者数 822 人、複数回答３つまで）

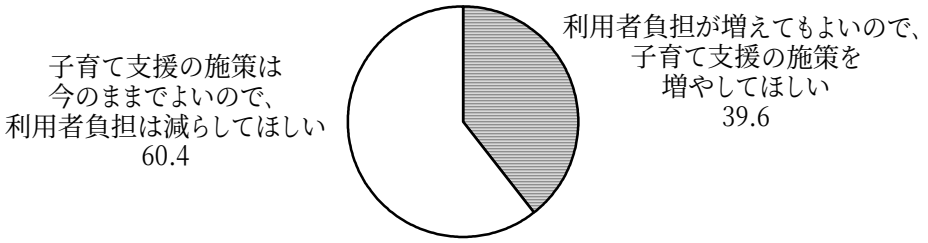
公園などの整備、医療費補助、税金などの減免など、
多方面の子育て支援策の充実が必要。

本市が力を入れるべき子育て支援施策として、多くの保護者が考えている施策は、「安心して遊べる公園などの整備」や「子どもの医療費補助」「子育て中の税金などの減免」などの経済的な支援策であり、それぞれ約４割である。また、「学童保育所の充実」や「児童館の充実」を求める保護者は、それぞれ約２割、約１割となっている。

なお、就学前児童の調査結果と選択肢が異なるため正しく比較できないが、要望する保護者の割合が５％以上多くなっている施策としては、「児童虐待や家庭内暴力の対策」や「ひとり親家庭への補助」を例示することができる。

② 子育て支援施策のあり方

問 57　今後、子育て支援をすすめるにあたって、あなたのお考えに近いものに
　　○をしてください。



（回答者数 713 人）

約４割は、負担増を伴ってでも施策の充実を希望。

子育て支援施策の推進にあたっての負担の問題について尋ねた。保護者の約４割は、「利用者負担が増えてもよいので、子育て支援の施策を増やしてほしい」という意見をもっている。しかし、「子育て支援の施策は今のままでよいので、利用者負担は減らしてほしい」とする意見をもつ保護者は過半数に及んでいる。

資料編

（調査票・集計表）

平成 16 年３月

四日市市　子育てについての アンケートのお願い

「四日市市　次世代育成支援対策行動計画」のための調査

四日市市

日頃は、本市の児童福祉にご理解と協力をいただき、誠にありがとうございます。四日市市から、子育てについてのアンケートのお願いをいたします。

本市では、子育て支援施策をさらに充実させていくために、「四日市市　次世代育成支援対策行動計画」を策定いたします。このアンケートは、計画策定のために住民の皆様の子育ての実情や本市へのご意見・ご要望をうかがうためのものです。

どうか、子育てについてのお考えや要望をお聞かせくださいますよう、よろしくお願いいたします。

アンケートの答え方

１．お答えは、あてはまる番号を○で囲んでください。

２．かっこ内など記述していただくものもあります。

３．アンケートは無記名です。お名前をご記入いただく必要はありません。

４．ご記入いただきましたら同封の返信用封筒に入れ、３月１２日（金）までに、郵便ポストに投函してください。切手は不要です。

◎回答いただいた内容は、統計的に処理しますので個人的な情報は公表されません。

◎このアンケートは、１月 13 日現在で市内にお住まいの就学前のお子さん 2000 人の、保護者の方に送らせていただきました。

◎アンケートの結果は、４月以降に広報などで発表させていただきます。

◆お問い合わせ先◆

四日市市　保健福祉部　児童福祉課

〒510-8601　四日市市諏訪町１番５号

電話：５４－８１７３　FAX：５７－５２６０

email：jidoufukushi@city.yokkaichi.mie.jp

☞ はじめに、このアンケートに回答していただく方にうかがいます

問 1　回答していただく方の、お子さんとの続柄は何ですか？

1．母　　2．父　　3．祖母・祖父　　4．その他

問 2　回答していただく方の年齢は、おいくつですか？

1.１０歳代　2.２０歳代　3.３０歳代　4.４０歳代　5.５０歳代　6.６０歳以上

問 3　あて名のお子さんのお誕生月はいつですか？

平成（　　）年（　　）月生まれ

☞ ご家族についてうかがいます

問 4　あて名のお子さんは、何人きょうだいですか？

1．（　）人（あて名のお子さんを含む）　　2．きょうだいはいない（ひとりっこ）

問 5　ご家族は、次のどれに当たりますか？

1．核家族　　2．三世代・四世代家族（祖父母と親と子）　　3．ひとり親家族（祖父母との同居も含む）　　4．その他

問 6　お子さんの、父方のおじいさん・おばあさんは、どちらにお住まいですか？

1．同居している（敷地内も含む）　2．市内　3．県内　4．県外　5．すでに２人とも亡くなっている

問 7　お子さんの、母方のおじいさん・おばあさんは、どちらにお住まいですか？

1．同居している（敷地内も含む）　2．市内　3．県内　4．県外　5．すでに２人とも亡くなっている

問 8　子育てで、お子さんのおじいさん・おばあさんの手助けはありますか？　（○はいくつでも）

1．子どもを預かってもらうこと　　2．金銭的な援助
3．子ども用品など物的な援助　　4．精神的な支え
5．子育ての知恵　　6．その他（　　）
7．特にない

☞ 普段のお子さんの世話について

問 9　現在、あて名のお子さんを、保育園や幼稚園や託児所、または親族などに預けていますか？

1．親族や友人に預けている	2．保育園や幼稚園、託児所などに預けている	3．預けていない

次ページへ進む

５ページへ進む

＊＊＊親族や友人に預けている方にうかがいます＊＊＊

問 10　預けている人はどなたですか？　（○はいくつでも）

1．子どもの祖母	2．子どもの祖父	3．おば・おじ（子どもからみて）
4．上記以外の親族	5．知人・友人	6．その他（　　）

問 11　預けている日数と時間はどのくらいですか？　１か月の平均的な日数でお答えください。

(1)日　数	週に（　　）日
(2)時　間	（　　）時（　　）分から（　　）時（　　）分まで
(3)１日当たりの時間	（　　）時間（　　）分

↓

５ページへ進む

＊＊＊保育園や幼稚園に、お子さんを預けている方にうかがいます＊＊＊

☞ 保育園や幼稚園の利用について

問 12　現在、どちらの園や託児所などに預けていらっしゃいますか？

1．市立保育園	2．私立保育園	3．市立幼稚園	4．私立幼稚園
5．勤め先の託児所	6．民間の託児所	7．ベビーシッター	8．その他（　　）

問 13　預けている日数と時間はどのくらいですか？　１か月の平均的な日数でお答えください

(1)日　数	週に（　　）日
(2)時　間	（　　）時（　　）分から（　　）時（　　）分まで
(3)１日当たりの時間	（　　）時間（　　）分

問 14　その保育園や幼稚園などを選んだ理由は何ですか？　（○はいくつでも）

1．家から近いから	2．勤務先に近いから
3．保育時間や活動時間が長いから	4．保育時間や活動時間が都合よいから
5．きょうだいや友人の子も通っているから	6．保育や教育内容がよいから
7．信頼できるから	8．送迎バスがあるから
9．希望の保育園に入れなかったから	10．他にないから
11．その他（　　）	

問 15　現在通っている保育園や幼稚園などについて、どのように感じていますか？
それぞれの項目について、当てはまる番号に○をしてください。

項目	満足度			
①園舎や園庭、遊具	1．大変満足	2．ほぼ満足	3．やや不満	4．大変不満
②保育や幼児教育の内容	1．大変満足	2．ほぼ満足	3．やや不満	4．大変不満
③保護者への連絡	1．大変満足	2．ほぼ満足	3．やや不満	4．大変不満
④安全への配慮や危険管理	1．大変満足	2．ほぼ満足	3．やや不満	4．大変不満
⑤食事やおやつの内容（食事のある場合）	1．大変満足	2．ほぼ満足	3．やや不満	4．大変不満

☞ 保育園や幼稚園への要望について

問 16　保育や利用時間の延長などの希望はありますか？　（○はいくつでも）

1．もっと、早い時間から預かって欲しい（　　）時（　　）分から
2．このままでよい
3．もっと遅い時間まで預かって欲しい　（　　）時（　　）分まで

問 17　土曜日や日曜祝日の希望はありますか？　（○はいくつでも）

1．土曜日も預かって欲しい　2．日曜日も預かって欲しい　3．祝日も預かって欲しい
4．このままでいい

問 18　保育年齢や入園年齢への希望はありますか？

1．もっと、早い年齢から預かって欲しい（　　歳　　か月から）
2．このままでいい

☞ お子さんが、病気の時の保育などについて

問 19　この１年間で、あて名のお子さんが病気で保育園や幼稚園を休んだことはありましたか？

1．あった（　　）日くらい　　2．なかった

次ページへ進む

＊＊＊休んだことがある方にうかがいます＊＊＊

問 20　お子さんが休んだときは、どなたがお子さんの面倒をみましたか？　（○はいくつでも）

1．子どもの父親がみた　　2．子どもの母親がみた
3．祖母・祖父など家族がみた　　4．親族や知人に預けた
5．病児保育室を利用した　　6．子どもだけで留守番させた
7．その他（　　）

＊＊＊このページから、すべての方にうかがいます＊＊＊

☞ 保護者の病気や急用時の子どもの世話について

問 21　この１年間に、緊急の用事や保護者の病気や出産で、あて名のお子さんの面倒をみられないことがありましたか？

1．なかった　　2．　あった（　　）日くらい

＊＊＊面倒をみられないことがあった方にうかがいます＊＊＊

問 22 その時は、どなたがお子さんの面倒をみましたか？　（○はいくつでも）

1．子どもの父親がみた　　2．子どもの母親がみた
3．祖母・祖父など家族がみた　　4．親族や知人に預けた
5．一時保育を利用した　　6．子どもだけで留守番させた
7．その他（　　）

☞ 小学校に入学したときの世話について

問 23　あて名のお子さんが小学校に入学したら、学童保育所（放課後児童クラブ）でみてもらいたいとお考えですか？

1．学童保育所でみてもらうつもり　　2．学童保育所は利用しないつもり
3．まだわからない　　4．その他（　　）

【学童保育所（放課後児童クラブ）とは】
保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校の児童をあずかり、適切な遊びや生活を通じた保育を行う所をいいます。本市の場合、地域の運営委員会や父母会によって運営されています。

☞ お住まいの地域での子育てについて

問 24　お住まいの地区はどちらですか？

1．富洲原	2．富田	3．羽津	4．常磐	5．日永	6．四郷
7．内部	8．塩浜	9．小山田	10．川島	11．神前	12．桜
13．三重	14．県	15．八郷	16．下野	17．大矢知	18．河原田
19．水沢	20．保々	21．海蔵	22．橋北	23．中部	
24．地区名を知らない					

問 25　お住まいは、次のどれに当たりますか？

1．賃貸マンション・アパート	2．市営・県営公団賃貸	3．持ち家（一戸建て）	4．持ち家（マンション）	5．その他社宅など

問 26　お宅では、普段近所とのおつきあいをどの程度していますか？

1．困ったときには助け合える	2．時々、立ち話や茶飲み話をする	3．あいさつをする程度	4．ほとんど付き合いがない

問 27　あなたのお住まいの地区の民生・児童委員、主任児童委員をご存知ですか？

1．よく相談する	2．相談したことはないが、知っている	3．知らない

問 28　お住まいの地区は子育てしやすい地域ですか？

1．大変子育てしやすい	2．まあまあ子育てしやすい	3．あまり子育てしやすくない	4．子育てしにくい

問 29　子育てしやすい理由　（○はいくつでも）

1．自然環境がいい
2．安全で安心して過ごせる
3．近所づきあいや地域活動が盛ん
4．公園や児童館など公共施設が近い
5．その他（　　）

問 30　子育てしにくい理由　（○はいくつでも）

1．自然環境がよくない
2．犯罪や事故が多く危険
3．近所づきあいや地域活動があまりない
4．公園や児童館など公共施設がない
5．その他（　　）

☞ 親同士のつきあいや子育ての助け合いについて

問 31　あなたは、子どもの親同士のグループに参加したり、親同士のつきあいをしていますか？
（○はいくつでも）

1．子育てを助け合う「子育てグループ」に入っている
2．公園などで一緒に子どもを遊ばせる「子育て仲間」がいる
3．子育ての相談をする「友人」がいる
4．あまり親同士のつきあいはない

＊＊＊「子育てグループ」に入っていない方へうかがいます＊＊＊

問 32　「子育てグループ」があれば参加したいですか？

1．参加したい　　2．条件が合えば参加したい　　3．参加したくない

問 33　あなたには、育児のことで相談にのってもらったり、子どもを預かってもらえる人はいますか？

(1)相談をする場・相手	1．いる	2．いない
(2)子どもを預かってもらえる人	1．いる	2．いない

問 34　あなた自身が、知人や親族の子育ての相談にのったり、子どもを預かることはありますか？
（○はいくつでも）

1．相談にのることがある　　年（　　）回くらい
2．子どもを預かることがある　年（　　）回くらい
3．特にない

☞ 子育ての悩みについて

問 35　あなたは、ゆっくりとした気分でお子さんと向き合うことがありますか？

1．はい	2．いいえ	3．何とも言えない

問 36　あなたは、育児に自信が持てないことがありますか？

1．はい	2．いいえ	3．何とも言えない

問 37　あなたは、子どもに次のような接し方をすることがありますか？　（○はいくつでも）

1．繰り返したたく	2．食事を長時間与えない	3．しつけを非常に厳しくする
4．子どもを感情的に怒る	5．子どもを長時間無視する	6．そのようなことはない

問 38　自分が、子どもを虐待しているのではないかと思うことがありますか？

1．はい	2．いいえ	3．何とも言えない

問 39　あなたご自身が、子育てについて感じている悩みや問題はありますか？　（○はいくつでも）

1．子どもの育児全般	2．子どもの食生活
3．子どもの遊び方	4．家族や親族との関係
5．子どもの安全	6．子どもの健康
7．自分自身の健康	8．家族の健康
9．近隣のつきあい	10．近隣の子どもの虐待などの問題
11．その他（　　）	12．特にない

☞ 子どもの遊び場や、子どもとの外出について

問 40　普段、子どもと出かける時は、どの交通手段を使いますか？　（○はいくつでも）

1．徒歩	2．自転車	3．自家用車	4．バス
5．電車	6．タクシー	7．その他（　　）	

問 41　子どもと出かける時や、子どもが外で過ごす時、困ることは何ですか？　（○はいくつでも）

1．子どもが使えるトイレがない	2．子どもと休憩する場所がない
3．ベビーカーが使いにくい	4．用事の時に子どもを遊ばせられる場所がない
5．歩道や信号がない道の事故の危険	6．人気のない場所などでの犯罪の危険
7．交通費がかかる	8．その他（　　）
9．特に困ることはない	

問 42　四日市市には、子どものための次のような施設や会がありますが、利用していらっしゃいますか？　各施設の利用について、当てはまる番号に○をつけてください。

施設の種類	(1) 利用の有無	(2) 施設はどう お感じですか？	(3) 不満な点があれば、 ご記入ください
① 住まいの近くの公園	1．よく行く 2．時々行く 3．行かない	1．満足 2．ふつう 3．不満	1．遠い 2．安全でない 3．その他（　　）
② 中央緑地公園の ような大きな公園	1．よく行く 2．時々行く 3．行かない	1．満足 2．ふつう 3．不満	1．遠い 2．安全でない 3．その他（　　）
③ 保育園の遊ぼう会	1．よく行く 2．時々行く 3．行かない	1．満足 2．ふつう 3．不満	1．遠い 2．安全でない 3．その他（　　）
④ 幼稚園のあそび会	1．よく行く 2．時々行く 3．行かない	1．満足 2．ふつう 3．不満	1．遠い 2．安全でない 3．その他（　　）
⑤ 橋北子育て 支援センター	1．よく行く 2．時々行く 3．行かない	1．満足 2．ふつう 3．不満	1．遠い 2．安全でない 3．その他（　　）

☞ お母さんについて、うかがいます

問 43　お母さんは、四日市市には、いつからお住まいですか？

1．自分が子どもの時から	2．学生時代から	3．就職・転勤してから
4．結婚してから	5．子どもができてから	6．家を建てた時、買った時から
7．その他	8．母はいない→次ページの問50へ	

問 44　お母さんのお仕事は何ですか？

1．会社員（正社員）	2．公務員・団体職員	3．パート･アルバイト	4．契約社員･派遣社員
5．自営業・家族従業	6．内職・在宅勤務	7．専業主婦	8．その他

＊＊＊働いている方にうかがいます＊＊＊

問 45　職種は何ですか？　（一つ）

1．事務職（簿記や事務、データ入力など）
2．サービス・販売職（飲食業のサービスや物品の販売など）
3．営業職
4．労務職（建設や組立などの作業）
5．専門職（教師、保育士、医師、看護師、弁護士など）
6．管理職
7．その他（農業・漁業など）

問 46　就労日数と時間はどのくらいですか？
１か月の平均的な日数をお答えください。

(1)日　数	週に（　　）日
(2)時　間	（　　）時（　　）分から（　　）時（　　）分まで
(3)通勤時間	（　　）分
(4)出勤に○	1.土曜　2．日曜　3．祝日　4．その他（　　）

問 47　子どもの世話のために、仕事を休んだり早退することは難しいですか？

1．休みにくい　2．休みやすい　3．時期による

問 48　子育てをしながら仕事をする上で、必要なことは何ですか？　（○はいくつでも）

1．夫の理解と協力
2．親族の理解と協力
3．時間単位に育児休業導入など育児休業制度の充実
4．子育て後に再就職できる制度の充実
5．労働時間の短縮制度の導入
6．育児にあわせた在宅勤務が可能であること
7．企業内保育所の整備・充実
8．勤め先の理解と協力
9．保育施設や保育サービスの充実
10．その他（　　）
11．特にない

問 49　普段の平日で、お母さんが子どもと過ごす時間は何時間ですか？　（寝ている時間はのぞく）

およそ（　　）時間

☞ お父さんについてうかがいます

問 50　お父さんのお仕事は何ですか？

1．会社員（正社員）　2．公務員・団体職員　3．パート･アルバイト　4．契約社員･派遣社員
5．自営業・家族従業　6．内職・在宅勤務　7．家事専業　8．その他
9．父はいない→13ページの問58へ

問 51　働いている方の職種は何ですか？　（一つ）

1．事務職（簿記や事務、データ入力など）
2．サービス・販売職（飲食業のサービスや物品の販売など）
3．営業職
4．労務職（建設や組立などの作業）
5．専門職（教師、保育士、医師、看護師、弁護士など）
6．管理職
7．その他（農業・漁業など）

問 52　働いている方の就労日数と時間はどのくらいですか？
１か月の平均的な日数をお答えください

(1)日　数	週に（　　）日
(2)時　間	（　　）時（　　）分から（　　）時（　　）分まで
(3)通勤時間	（　　）分
(4)出勤に○	1.土曜　2．日曜　3．祝日　4．その他（　　）

問 53　子どもの世話のために、仕事を休んだり早退することは難しいですか？

1．休みにくい	2．休みやすい	3．時期による

問 54　子育てをしながら仕事をする上で、必要なことは何ですか？　（○はいくつでも）

1．家族の理解と協力	2．親族の理解と協力
3．時間単位に育児休業導入など育児休業制度の充実	
4．子育て後に再就職できる制度の充実	5．労働時間の短縮制度の導入
6．育児にあわせた在宅勤務が可能であること	7．企業内保育所の整備・充実
8．勤め先の理解と協力	9．保育施設や保育サービスの充実
10．その他（　　）	11．特にない

問 55　普段の平日で、お父さんが子どもと過ごす時間は何時間ですか？　（寝ている時間はのぞく）

およそ（　　）時間

問 56　お父さんは育児をよくしていますか？

1．よくやっている	2．時々やっている	3．ほとんどしていない

問 57　お父さんは、お子さんとよく遊んでいますか？

1．よくやっている	2．時々やっている	3．ほとんどしていない

☞ 現在の子育て支援について

問 58　四日市市では、次のような子育て支援を行っています。これらの支援をご存じですか？
また利用されたことはありますか？　当てはまる番号に○をしてください。

子育て支援の種類	(1) この支援をご存じですか？	(2) 利用したことはありますが	(3) 今後、利用したいですか？
① 子育て支援センターでのあそぼう会・相談	1．知っている 2．知らない	1．ある 2．ない	1．利用したい 2．するつもりはない 3．必要ない
② 保育園・幼稚園のあそぼう会、あそび会	1．知っている 2．知らない	1．ある 2．ない	1．利用したい 2．するつもりはない 3．必要ない
③ 病児保育室「カンガルーム」（病気回復期の児童を病院隣接の保育室にて看護師等が預かります）	1．知っている 2．知らない	1．ある 2．ない	1．利用したい 2．するつもりはない 3．必要ない
④ 保健センターでの教室や相談	1．知っている 2．知らない	1．ある 2．ない	1．利用したい 2．するつもりはない 3．必要ない
⑤ 家庭教育講演会	1．知っている 2．知らない	1．ある 2．ない	1．利用したい 2．するつもりはない 3．必要ない
⑥ 教育センター、指導課、少年センターでの教育相談（電話相談、教育相談員による面談）	1．知っている 2．知らない	1．ある 2．ない	1．利用したい 2．するつもりはない 3．必要ない
⑦ 家庭児童相談室での相談	1．知っている 2．知らない	1．ある 2．ない	1．利用したい 2．するつもりはない 3．必要ない
⑧ ファミリー・サポート・センター（会員登録した地域住民による一時預かりを中心とした相互援助活動）	1．知っている 2．知らない	1．ある 2．ない	1．利用したい 2．するつもりはない 3．必要ない

☞ 今後の子育て支援の方向について

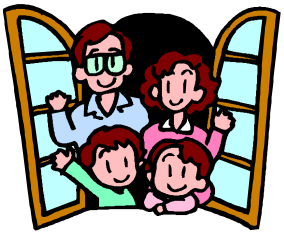
問 59　今後、本市はどのような子育て支援に力を入れるべきでしょうか？　　（○は３つまで）

1．保育園の充実　　2．幼稚園の充実
3．保育料や幼稚園の費用の軽減　　4．子育て相談の充実
5．児童虐待や家庭内暴力の対策　　6．子育て支援センターの充実
7．子育て教室の充実　　8．安心して遊べる公園などの整備
9．子育て中の世帯が住みやすい住環境整備
10．子育てをしやすい職場づくりのための企業への働きかけ
11．子どもの医療費補助　　12．子育て中の税金などの減免
13．困窮家庭への補助　　14．ひとり親家庭への補助
15．その他（　　）

問 60　今後、子育て支援をすすめるにあたって、あなたのお考えに近いものに○をしてください。

1．利用者負担が増えてもよいので、子育て支援の施策を増やしてほしい
2．子育て支援の施策は今のままでよいので、利用者負担は減らしてほしい。

問 61　本市の子育て支援について、ご意見や要望などがありましたら、ご自由にご記入ください。



お忙しい中、回答をいただきましてありがとうございます。
同封の封筒に入れて、ご返送いただけますようお願いいたします。（切手は不要です）

平成 16 年３月

四日市市　子育てについての アンケートのお願い

「四日市市　次世代育成支援対策行動計画」のための調査

四日市市

日頃は、本市の児童福祉にご理解と協力をいただき、誠にありがとうございます。四日市市から、子育てについてのアンケートのお願いをいたします。

本市では、子育て支援施策をさらに充実させていくために、「四日市市　次世代育成支援対策行動計画」を策定いたします。このアンケートは、計画策定のために住民の皆様の子育ての実情や本市へのご意見・ご要望をうかがうためのものです。

どうか、子育てについてのお考えや要望をお聞かせくださいますよう、よろしくお願いいたします。

アンケートの答え方

１．お答えは、あてはまる番号を○で囲んでください。

２．かっこ内など記述していただくものもあります。

３．アンケートは無記名です。お名前をご記入いただく必要はありません。

４．ご記入いただきましたら同封の返信用封筒に入れ、３月１２日（金）までに、郵便ポストに投函してください。切手は不要です。

◎回答いただいた内容は、統計的に処理しますので個人的な情報は公表されません。

◎このアンケートは、１月 13 日現在で市内にお住まいの小学生のお子さん 2000 人の、保護者の方に送らせていただきました。

◎アンケートの結果は、４月以降に広報などで発表させていただきます。

◆お問い合わせ先◆

四日市市　保健福祉部　児童福祉課

〒510-8601　四日市市諏訪町１番５号

電話：５４－８１７３　FAX：５７－５２６０

email：jidoufukushi@city.yokkaichi.mie.jp

☞はじめに、このアンケートに回答していただく方にうかがいます

問 1　回答していただく方の、お子さんとの続柄は何ですか？

1．母　　2．父　　3．祖母・祖父　　4．その他

問 2　回答していただく方の年齢は、おいくつですか？

1.１０歳代　2.２０歳代　3.３０歳代　4.４０歳代　5.５０歳代　6.６０歳以上

問 3　あて名のお子さんは何年生ですか？

1．１年生　2．２年生　3．３年生　4．４年生　5．５年生　6．６年生

☞ ご家族についてうかがいます

問 4　あて名のお子さんは、何人きょうだいですか？

1．（　　）人（あて名のお子さんを含む）　　2．きょうだいはいない（ひとりっこ）

問 5　ご家族は、次のどれに当たりますか？

1．核家族　　2．三世代・四世代家族（祖父母と親と子）　　3．ひとり親家族　　4．その他

問 6　お子さんの、父方のおじいさん・おばあさんは、どちらにお住まいですか？

1．同居している（敷地内も含む）　2．市内　3．県内　4．県外　5．すでに２人とも亡くなっている

問 7　お子さんの、母方のおじいさん・おばあさんは、どちらにお住まいですか？

1．同居している（敷地内も含む）　2．市内　3．県内　4．県外　5．すでに２人とも亡くなっている

問 8　子育てで、お子さんのおじいさん・おばあさんの手助けはありますか？（○はいくつでも）

1．子どもを預かってもらうこと　　2．金銭的な援助
3．子ども用品など物的な援助　　4．精神的な支え
5．子育ての知恵　　6．その他（　　）
7．特にない

☞ お子さんの、放課後の生活についてうかがいます

問 9　平日の放課後や土曜日は、お子さんはどこで過ごすことが多いですか？（○は主なもの２つ）

(1)平日の放課後、夜７時頃まで	(2)土曜日の昼間
1．自宅や友人宅	1．自宅や友人宅
2．学校の校庭	2．学校の校庭
3．公園など野外	3．公園など野外
4．児童館・図書館	4．児童館・図書館
5．学童保育所（放課後児童クラブ）	5．学童保育所（放課後児童クラブ）
6．塾・習いごと	6．塾・習いごと
7．スポーツ少年団	7．スポーツ少年団
8．その他（　　）	8．その他（　　）
9．わからない	9．わからない

問 10　平日の放課後や土曜日は、主にどなたがお子さんをみていますか？　（○は主なもの２つ）

(1)平日の放課後、夜７時頃まで	(2)土曜日の昼間
1．家族がみている	1．家族がみている
2．きょうだいといっしょにいる	2．きょうだいといっしょにいる
3．学童保育所（放課後児童クラブ）の指導員	3．学童保育所（放課後児童クラブ）の指導員
4．習い事や塾の先生	4．習い事や塾の先生
5．スポーツ少年団の指導員	5．スポーツ少年団の指導員
6．友人など子どもだけで過ごしている	6．友人など子どもだけで過ごしている
7．一人でいて、みる人はいない	7．一人でいて、みる人はいない

☞ 学童保育所(放課後児童クラブ)についてうかがいます

【学童保育所（放課後児童クラブ)とは】

保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校の児童をあずかり、適切な遊びや生活を通じた保育を行う所をいいます。本市の場合、地域の運営委員会や父母会によって運営されています。

問 11　あて名のお子さんを、学童保育所（放課後児童クラブ）を利用していますか？

1．利用している（　　学童保育所）　　2．利用していない

次ページへ進む

問 12　今後、学童保育所（放課後児童クラブ）を利用したいですか？

1．必要がない　　2．利用したい　　3．条件が合えば利用する

５ページへ進む

＊＊＊現在、学童保育所を利用している方にうかがいます＊＊＊

☞ 学童保育所(放課後児童クラブ)の利用について

問 13　利用している曜日は何曜日ですか？　１か月の平均的な曜日でお答えください

1．月曜　2．火曜　3．水曜　4．木曜　5．金曜　6．土曜

問 14　利用している時間はどのくらいですか？　１か月の平均的な時間でお答えください

(1)平日の時間　（　　）時（　　）分から（　　）時（　　）分まで

(2)土曜日の時間　（　　）時（　　）分から（　　）時（　　）分まで

問 15　通っている学童保育所（放課後児童クラブ）について、どのようにお感じですか？
それぞれの項目について、当てはまる番号に○をしてください

項目	満足度				
①施設	1．大変満足	2．ほぼ満足	3．普通	4．やや不満	5．大変不満
②活動内容	1．大変満足	2．ほぼ満足	3．普通	4．やや不満	5．大変不満
③指導員の質	1．大変満足	2．ほぼ満足	3．普通	4．やや不満	5．大変不満
④利用料	1．大変満足	2．ほぼ満足	3．普通	4．やや不満	5．大変不満

問 16　利用時間の延長希望は、ありますか？　（○はいくつでも）

1．今のままでよい
2．平日のもっと早い時間からやってほしい　（　　）時（　　）分から
3．平日のもっと遅い時間までやってほしい　（　　）時（　　）分まで
4．土曜や夏休みのもっと早い時間からやってほしい（　　）時（　　）分から
5．土曜や夏休みのもっと遅い時間までやってほしい（　　）時（　　）分まで

問 17　日曜や祝日の利用希望は、ありますか？

1．日曜･祝日も預かって欲しい　2．今のままでよい

☞ お子さんが、病気の時の世話について

問 18　この１年間で、あて名のお子さんが病気で学校を休んだことはありましたか？

1．なかった　　2．　あった（　　）日くらい

＊＊＊休んだことがある方にうかがいます＊＊＊

問 19　お子さんが休んだときは、どなたがお子さんの面倒をみましたか？
（○はいくつでも）

1．子どもの母親がみた　　2．子どもの父親がみた
3．祖母・祖父など家族がみた　　4．親族や知人に預けた
5．子どもだけで留守番させた　　6．その他（　　）

☞ 保護者の病気や急用時の子どもの世話について

問 20　この１年間に、緊急の用事や保護者の病気や出産で、あて名のお子さんの面倒をみられないことがありましたか？

1．なかった　　2．　あった（　　）日くらい

＊＊＊面倒をみられないことがあった方にうかがいます＊＊＊

問 21 その時は、どなたがお子さんの面倒をみましたか？　（○はいくつでも）

1．子どもの母親がみた　　2．子どもの父親がみた
3．祖母・祖父など家族がみた　　4．親族や知人に預けた
5．子どもだけで留守番させた　　6．その他（　　）

☞ お住まいの地域での子育てについて

問 22　お住まいの地区はどちらですか？

1．富洲原	2．富田	3．羽津	4．常磐	5．日永	6．四郷
7．内部	8．塩浜	9．小山田	10．川島	11．神前	12．桜
13．三重	14．県	15．八郷	16．下野	17．大矢知	18．河原田
19．水沢	20．保々	21．海蔵	22．橋北	23．中部	
24．地区名を知らない					

問 23　お住まいは、次のどれに当たりますか？

1．賃貸マンション・アパート	2．市営・県営公団賃貸	3．持ち家（一戸建て）	4．持ち家（マンション）	5．その他社宅など

問 24　お宅では、普段近所とのおつきあいをどの程度していますか？

1．困ったときには助け合える	2．時々、立ち話や茶飲み話をする	3．あいさつをする程度	4．ほとんど付き合いがない

問 25　あなたのお住まいの地区の民生・児童委員、主任児童委員をご存知ですか？

1．よく相談する	2．相談したことはないが、知っている	3．知らない

問 26　お住まいの地区は子育てしやすい地域ですか？

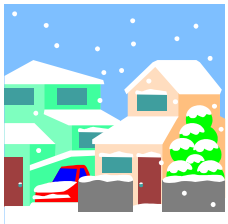
1．大変子育てしやすい	2．まあまあ子育てしやすい	3．あまり子育てしやすくない	4．子育てしにくい

問 27　子育てしやすい理由（○はいくつでも）

1．自然環境がいい
2．安全で安心して過ごせる
3．近所づきあいや地域活動が盛ん
4．公園や児童館など公共施設が近い
5．その他（　　）

問 28　子育てしにくい理由（○はいくつでも）

1．自然環境がよくない
2．犯罪や事故が多く危険
3．近所づきあいや地域活動があまりない
4．公園や児童館など公共施設がない
5．その他（　　）



☞ 親同士のつきあいや子育ての助け合いについて

問 29　あなたは、子どもの親同士のグループに参加したり、親同士のつきあいをしていますか？
（○はいくつでも）

1．子育てを助け合う「子育てグループ」に入っている
2．公園などで一緒に子どもを遊ばせる「子育て仲間」がいる
3．子育ての相談をする「友人」がいる
4．あまり親同士のつきあいはない

＊＊＊「子育てグループ」に入っていない方へうかがいます＊＊＊

問 30　「子育てグループ」があれば参加したいですか？

1．参加したい　2．条件が合えば参加したい　3．参加したくない

問 31　あなたは、育児のことで相談にのってもらったり、子どもを預かってもらえる人はいますか？

(1)相談をする場・相手	1．いる	2．いない
(2)子どもを預かってもらえる人	1．いる	2．いない

問 32　あなた自身が、知人や親族の子育ての相談にのったり、子どもを預かることはありますか？
（○はいくつでも）

1．相談にのることがある　年（　　）回くらい
2．子どもを預かることがある　年（　　）回くらい
3．特にない

☞ 子育ての悩みについて

問 33　あなたは、ゆっくりとした気分でお子さんと向き合うことがありますか？

1．はい	2．いいえ	3．何とも言えない

問 34　あなたは、育児に自信が持てないことがありますか？

1．はい	2．いいえ	3．何とも言えない

問 35　あなたは、子どもに次のような接し方をすることがありますか？　（○はいくつでも）

1．繰り返したたく	2．食事を長時間与えない	3．しつけを非常に厳しくする
4．子どもを感情的に怒る	5．子どもを長時間無視する	6．そのようなことはない

問 36　自分が、子どもを虐待しているのではないかと思うことがありますか？

1．はい	2．いいえ	3．何とも言えない

問 37　あなたご自身が、子育てについて感じている悩みや問題はありますか？（○はいくつでも）

1．子どもの育児全般	2．子どもの食生活
3．子どもの遊び方	4．家族や親族との関係
5．子どもの安全	6．子どもの健康
7．自分自身の健康	8．家族の健康
9．近隣のつきあい	10．近隣の子どもの虐待などの問題
11．その他（　　）	
12．特にない	

☞ 子どもの遊び場や、子どもとの外出について

問 38　普段、子どもと出かける時は、どの交通手段を使いますか？　（○はいくつでも）

1．徒歩	2．自転車	3．自家用車	4．バス
5．電車	6．タクシー	7．その他（　　）	

問 39　子どもと出かける時や、子どもが外で過ごす時、困ることは何ですか？（○はいくつでも）

1．子どもが使えるトイレがない	2．子どもと休憩する場所がない
3．歩道の段差など自転車通行の妨げ	4．用事の時に子どもを遊ばせられる場所がない
5．歩道や信号がない道の事故の危険	6．人気のない場所などでの犯罪の危険
7．交通費がかかる	8．その他（　　）
9．特に困ることはない	

問 40　四日市市には子どものための次のような施設がありますが、利用していらっしゃいますか？
各施設の利用について、当てはまる番号に○をつけてください。

施設の種類	(1) 利用の有無	(2) 施設はどう お感じですか？	(3) 不満な点があれば、 ご記入ください
① 住まいの近くの公園	1．よく行く 2．時々行く 3．行かない	1．満足 2．ふつう 3．不満	1．遠い 2．安全でない 3．その他（　　）
② 中央緑地公園の ような大きな公園	1．よく行く 2．時々行く 3．行かない	1．満足 2．ふつう 3．不満	1．遠い 2．安全でない 3．その他（　　）
③ 児童館	1．よく行く 2．時々行く 3．行かない	1．満足 2．ふつう 3．不満	1．遠い 2．安全でない 3．その他（　　）
④ 図書館	1．よく行く 2．時々行く 3．行かない	1．満足 2．ふつう 3．不満	1．遠い 2．安全でない 3．その他（　　）
⑤ 博物館	1．よく行く 2．時々行く 3．行かない	1．満足 2．ふつう 3．不満	1．遠い 2．安全でない 3．その他（　　）

☞ お母さんについて、うかがいます

問 41　お母さんは、四日市市には、いつからお住まいですか？

1．自分が子どもの時から	2．学生時代から	3．就職・転勤してから
4．結婚してから	5．子どもができてから	6．家を建てた時､買った時から
7．その他	8．母はいない→次ページの問48へ	

問 42　お母さんのお仕事は何ですか？

1．会社員（正社員）	2．公務員・団体職員	3．パート･アルバイト	4．契約社員･派遣社員
5．自営業・家族従業	6．内職・在宅勤務	7．専業主婦	8．その他

＊＊＊働いている方にうかがいます＊＊＊

問 43　職種は何ですか？　（一つ）

1．事務職（簿記や事務、データ入力など）
2．サービス・販売職（飲食業のサービスや物品の販売など）
3．営業職
4．労務職（建設や組立などの作業）
5．専門職（教師、保育士、医師、看護師、弁護士など）
6．管理職
7．その他（農業・漁業など）

問 44　就労日数と時間はどのくらいですか？
１か月の平均的な日数をお答えください。

(1)日　数	週に（　　）日
(2)時　間	（　　）時（　　）分から（　　）時（　　）分まで
(3)通勤時間	（　　）分
(4)出勤に○	1.土曜　2．日曜　3．祝日　4．その他（　　）

問 45　子どもの世話のために、仕事を休んだり早退することは難しいですか？

1．休みにくい　2．休みやすい　3．時期による

問 46　子育てをしながら仕事をする上で、必要なことは何ですか？　（○はいくつでも）

1．夫の理解と協力
2．親族の理解と協力
3．時間単位に育児休業導入など育児休業制度の充実
4．子育て後に再就職できる制度の充実
5．労働時間の短縮制度の導入
6．育児にあわせた在宅勤務が可能であること
7．企業内保育所の整備・充実
8．勤め先の理解と協力
9．保育施設や保育サービスの充実
10．その他（　　）
11．特にない

問 47　普段の平日で、お母さんが子どもと過ごす時間は何時間ですか？　（寝ている時間はのぞく）

およそ（　　）時間

☞ お父さんについてうかがいます

問 48　お父さんのお仕事は何ですか？

1．会社員（正社員）　2．公務員・団体職員　3．パート･アルバイト　4．契約社員･派遣社員
5．自営業・家族従業　6．内職・在宅勤務　7．家事専業　8．その他
9．父はいない→13ページの問55へ

問 49　働いている方の職種は何ですか？　（一つ）

1．事務職（簿記や事務、データ入力など）
2．サービス・販売職（飲食業のサービスや物品の販売など）
3．営業職
4．労務職（建設や組立などの作業）
5．専門職（教師、保育士、医師、看護師、弁護士など）
6．管理職
7．その他（農業・漁業など）

問 50　働いている方の就労日数と時間はどのくらいですか？
１か月の平均的な日数をお答えください

(1)日　数	週に（　　）日
(2)時　間	（　　）時（　　）分から（　　）時（　　）分まで
(3)通勤時間	（　　）分
(4)出勤に○	1.土曜　2．日曜　3．祝日　4．その他（　　）

問 51　子どもの世話のために、仕事を休んだり早退することは難しいですか？

1．休みにくい　　2．休みやすい　　3．時期による

問 52　子育てをしながら仕事をする上で、必要なことは何ですか？　（○はいくつでも）

1．家族の理解と協力
2．親族の理解と協力
3．時間単位に育児休業導入など育児休業制度の充実
4．子育て後に再就職できる制度の充実
5．労働時間の短縮制度の導入
6．育児にあわせた在宅勤務が可能であること
7．企業内保育所の整備・充実
8．勤め先の理解と協力
9．保育施設や保育サービスの充実
10．その他（　　）
11．特にない

問 53　普段の平日で、お父さんが子どもと過ごす時間は何時間ですか？　（寝ている時間はのぞく）

およそ（　　）時間

問 54　お父さんは、お子さんとよく遊んでいますか？

1．よく遊んでいる　　2．時々遊んでいる　　3．ほとんど遊ぶことはない

☞ 現在の子育て支援について

問 55　四日市市では、次のような子育て支援を行っています。これらの支援をご存じですか？
また利用されたことはありますか？　当てはまる番号に○をしてください。

子育てサービスの種類	(1) この支援をご存じですか？	(2) 利用したことはありますが	(3) 今後、利用したいですか？
① 子育て支援センターでのあそぼう会・相談	1．知っている 2．知らない	1．ある 2．ない	1．利用したい 2．するつもりはない 3．必要ない
② 保育園・幼稚園のあそぼう会、あそび会	1．知っている 2．知らない	1．ある 2．ない	1．利用したい 2．するつもりはない 3．必要ない
③ 保健センターでの教室や相談	1．知っている 2．知らない	1．ある 2．ない	1．利用したい 2．するつもりはない 3．必要ない
④ 病児保育室「カンガルーム」（病気回復期の児童を病院隣接の保育室にて看護師等が預かります）	1．知っている 2．知らない	1．ある 2．ない	1．利用したい 2．するつもりはない 3．必要ない
⑤ 家庭教育講演会	1．知っている 2．知らない	1．ある 2．ない	1．利用したい 2．するつもりはない 3．必要ない
⑥ 教育センター、指導課、少年センターでの教育相談（電話相談、教育相談員による面談）	1．知っている 2．知らない	1．ある 2．ない	1．利用したい 2．するつもりはない 3．必要ない
⑦ 家庭児童相談室での相談	1．知っている 2．知らない	1．ある 2．ない	1．利用したい 2．するつもりはない 3．必要ない
⑧ ファミリー・サポート・センター（会員登録した地域住民による一時預かりを中心とした相互援助活動）	1．知っている 2．知らない	1．ある 2．ない	1．利用したい 2．するつもりはない 3．必要ない

☞ 今後の子育て支援の方向について

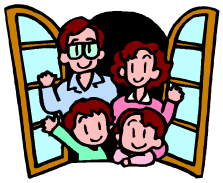
問 56　今後、本市はどのような子育て支援に力を入れるべきでしょうか？　　（○は３つまで）

1．保育園の充実　　2．幼稚園の充実
3．保育料や幼稚園の費用の軽減　　4．学童保育所（放課後児童クラブ）の充実
5．子育て相談の充実　　6．児童虐待や家庭内暴力の対策
7．児童館の充実　　8．子育て教室の充実
9．安心して遊べる公園などの整備　　10．子育て中の世帯が住みやすい住環境整備
11．子育てをしやすい職場づくりのための企業への働きかけ
12．子どもの医療費補助　　13．子育て中の税金などの減免
14．困窮家庭への補助　　15．ひとり親家庭への補助
16．その他（　　）

問 57　今後、子育て支援をすすめるにあたって、あなたのお考えに近いものに○をしてください。

1．利用者負担が増えてもよいので、子育て支援の施策を増やしてほしい
2．子育て支援の施策は今のままでよいので、利用者負担は減らしてほしい。

問 58　本市の子育て支援について、ご意見や要望などがありましたら、ご自由にご記入ください。



お忙しい中、回答をいただきましてありがとうございます。
同封の封筒に入れて、ご返送いただけますようお願いいたします。（切手は不要です）

（第１章 3.(3)② 19ページ）

		合計	問41子どもと出かける時や、子どもが外で過ごす時、困ることは何ですか？								
			子どもが使えるトイレがない	子どもと休憩する場所がない	ﾍﾞﾋﾞｰｶｰが使いにくい	用事の時の子どもの遊び場所	歩道や信号がない道の事故の危険	人気のない場所などでの犯罪の危険	交通費がかかる	その他	特に困ることはない
全体		963	238	242	213	369	361	308	49	56	109
		100.0	24.7	25.1	22.1	38.3	37.5	32.0	5.1	5.8	11.3
年齢別	０歳児	178	41	70	71	57	45	36	9	17	22
		100.0	23.0	39.3	39.9	32.0	25.3	20.2	5.1	9.6	12.4
	１歳児	162	49	43	46	73	61	48	10	14	12
		100.0	30.2	26.5	28.4	45.1	37.7	29.6	6.2	8.6	7.4
	２歳児	164	52	50	33	64	61	48	9	7	16
		100.0	31.7	30.5	20.1	39.0	37.2	29.3	5.5	4.3	9.8
	３歳児	149	41	31	25	54	59	41	6	5	21
		100.0	27.5	20.8	16.8	36.2	39.6	27.5	4.0	3.4	14.1
	４歳児	142	29	28	23	64	63	60	9	5	18
		100.0	20.4	19.7	16.2	45.1	44.4	42.3	6.3	3.5	12.7
	５歳児	158	24	16	12	53	69	71	6	7	19
		100.0	15.2	10.1	7.6	33.5	43.7	44.9	3.8	4.4	12.0

（第１章 4.(2)② 24ページ）

		合計	問44お母さんのお仕事は何ですか？							
			会社員(正社員)	公務員・団体職員	パート・ｱﾙﾊﾞｲﾄ	契約社員・派遣社員	自営業・家族従業	内職・在宅勤務	専業主婦	その他
全体		976	67	44	171	10	61	18	590	15
		100.0	6.9	4.5	17.5	1.0	6.3	1.8	60.5	1.5
年齢別	０歳児	182	13	11	9	0	9	4	134	2
		100.0	7.1	6.0	4.9	0.0	4.9	2.2	73.6	1.1
	１歳児	164	13	4	21	1	9	2	111	3
		100.0	7.9	2.4	12.8	0.6	5.5	1.2	67.7	1.8
	２歳児	167	13	7	29	2	10	4	98	4
		100.0	7.8	4.2	17.4	1.2	6.0	2.4	58.7	2.4
	３歳児	147	5	10	22	2	12	3	89	4
		100.0	3.4	6.8	15.0	1.4	8.2	2.0	60.5	2.7
	４歳児	143	12	4	33	4	7	2	80	1
		100.0	8.4	2.8	23.1	2.8	4.9	1.4	55.9	0.7
	５歳児	161	11	8	53	1	11	3	73	1
		100.0	6.8	5.0	32.9	0.6	6.8	1.9	45.3	0.6

（第１章 4.(3)① 28ページ）

		合計	問50お父さんのお仕事は何ですか？								
			会社員(正社員)	公務員・団体職員	パート・ｱﾙﾊﾞｲﾄ	契約社員・派遣社員	自営業・家族従業	内職・在宅勤務	家事専業	その他	父はいない
全体		963	706	86	4	10	117	0	1	11	28
		100.0	73.3	8.9	0.4	1.0	12.1	0.0	0.1	1.1	2.9
年齢別	０歳児	182	135	20	1	2	18	0	0	4	2
		100.0	74.2	11.0	0.5	1.1	9.9	0.0	0.0	2.2	1.1
	１歳児	160	124	12	1	3	17	0	0	1	2
		100.0	77.5	7.5	0.6	1.9	10.6	0.0	0.0	0.6	1.3
	２歳児	160	109	11	0	4	24	0	0	3	9
		100.0	68.1	6.9	0.0	2.5	15.0	0.0	0.0	1.9	5.6
	３歳児	147	116	11	1	0	16	0	0	1	2
		100.0	78.9	7.5	0.7	0.0	10.9	0.0	0.0	0.7	1.4
	４歳児	142	104	13	1	0	16	0	1	1	6
		100.0	73.2	9.2	0.7	0.0	11.3	0.0	0.7	0.7	4.2
	５歳児	160	113	18	0	1	20	0	0	1	7
		100.0	70.6	11.3	0.0	0.6	12.5	0.0	0.0	0.6	4.4

（第１章 5.(1)① 34ページ）

		合計	問12どちらの園や託児所などに預けていらっしゃいますか？							
			市立保育園	私立保育園	市立幼稚園	私立幼稚園	勤め先の託児所	民間の託児所	ベビーシッター	その他
全体		496	127	113	84	149	14	1	0	8
		100.0	25.6	22.8	16.9	30.0	2.8	0.2	0.0	1.6
年齢別	０歳児	17	5	6	1	2	1	0	0	2
		100.0	29.4	35.3	5.9	11.8	5.9	0.0	0.0	11.8
	１歳児	35	16	11	0	2	5	0	0	1
		100.0	45.7	31.4	0.0	5.7	14.3	0.0	0.0	2.9
	２歳児	38	17	13	1	2	5	0	0	0
		100.0	44.7	34.2	2.6	5.3	13.2	0.0	0.0	0.0
	３歳児	100	22	18	2	50	3	1	0	4
		100.0	22.0	18.0	2.0	50.0	3.0	1.0	0.0	4.0
	４歳児	141	29	31	37	44	0	0	0	0
		100.0	20.6	22.0	26.2	31.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	５歳児	159	35	32	43	48	0	0	0	1
		100.0	22.0	20.1	27.0	30.2	0.0	0.0	0.0	0.6

（第１章 5.(2)① 37ページ）

		合計	問14その保育園や幼稚園などを選んだ理由は何ですか？										
			家から近いから	勤務先に近いから	保育時間や活動時間が長いから	保育時間や活動時間が都合よいから	きょうだいや友人の子も通っているから	保育や教育内容がよいから	信頼できるから	送迎バスがあるから	希望の保育園に入れなかったから	他にないから	その他
全体		497	299	52	81	61	145	174	120	108	9	10	76
		100.0	60.2	10.5	16.3	12.3	29.2	35.0	24.1	21.7	1.8	2.0	15.3
預け先別	市立保育園	127	102	25	26	18	23	15	16	0	2	3	17
		100.0	80.3	19.7	20.5	14.2	18.1	11.8	12.6	0.0	1.6	2.4	13.4
	私立保育園	113	73	18	32	20	37	45	33	12	6	4	8
		100.0	64.6	15.9	28.3	17.7	32.7	39.8	29.2	10.6	5.3	3.5	7.1
	市立幼稚園	84	60	0	1	1	24	26	17	2	1	2	17
		100.0	71.4	0.0	1.2	1.2	28.6	31.0	20.2	2.4	1.2	2.4	20.2
	私立幼稚園	149	60	2	19	19	58	87	48	93	0	1	21
		100.0	40.3	1.3	12.8	12.8	38.9	58.4	32.2	62.4	0.0	0.7	14.1
	その他	24	4	7	3	3	3	1	6	1	0	0	13
		100.0	16.7	29.2	12.5	12.5	12.5	4.2	25.0	4.2	0.0	0.0	54.2

（第２章 2.① 64ページ）

		合計	問９平日の放課後や土曜日は、お子さんはどこで過ごすことが多いですか？ (1)平日の放課後、夜７時頃まで								
			自宅や友人宅	学校の校庭	公園など野外	児童館・図書館	学童保育所	塾・習いごと	スポーツ少年団	その他	わからない
全体		846	763	48	170	10	24	359	83	13	3
		100.0	90.2	5.7	20.1	1.2	2.8	42.4	9.8	1.5	0.4
学年別	１年生	165	159	11	34	2	6	63	7	1	0
		100.0	96.4	6.7	20.6	1.2	3.6	38.2	4.2	0.6	0.0
	２年生	145	137	7	34	3	5	57	13	1	0
		100.0	94.5	4.8	23.4	2.1	3.4	39.3	9.0	0.7	0.0
	３年生	135	119	8	25	2	4	65	12	3	1
		100.0	88.1	5.9	18.5	1.5	3.0	48.1	8.9	2.2	0.7
	４年生	140	124	8	28	0	7	62	9	3	1
		100.0	88.6	5.7	20.0	0.0	5.0	44.3	6.4	2.1	0.7
	５年生	126	109	9	20	0	1	58	20	2	1
		100.0	86.5	7.1	15.9	0.0	0.8	46.0	15.9	1.6	0.8
	６年生	133	114	5	28	3	1	53	22	3	0
		100.0	85.7	3.8	21.1	2.3	0.8	39.8	16.5	2.3	0.0

（第２章 2.① 64ページ）

		合計	問９平日の放課後や土曜日は、お子さんはどこで過ごすことが多いですか？ (2)土曜日の昼間								
			自宅や友人宅	学校の校庭	公園など野外	児童館・図書館	学童保育所	塾・習いごと	スポーツ少年団	その他	わからない
全体		843	759	25	220	19	3	147	102	94	4
		100.0	90.0	3.0	26.1	2.3	0.4	17.4	12.1	11.2	0.5
学年別	１年生	163	150	6	54	4	0	30	6	22	1
		100.0	92.0	3.7	33.1	2.5	0.0	18.4	3.7	13.5	0.6
	２年生	145	133	2	34	4	2	28	13	20	0
		100.0	91.7	1.4	23.4	2.8	1.4	19.3	9.0	13.8	0.0
	３年生	135	124	2	45	2	0	23	15	11	1
		100.0	91.9	1.5	33.3	1.5	0.0	17.0	11.1	8.1	0.7
	４年生	140	123	6	36	6	1	16	16	15	2
		100.0	87.9	4.3	25.7	4.3	0.7	11.4	11.4	10.7	1.4
	５年生	126	111	5	22	0	0	27	21	15	0
		100.0	88.1	4.0	17.5	0.0	0.0	21.4	16.7	11.9	0.0
	６年生	133	117	4	29	3	0	22	31	11	0
		100.0	88.0	3.0	21.8	2.3	0.0	16.5	23.3	8.3	0.0

（第２章 2.② 65ページ）

		合計	問10平日の放課後や土曜日は、主にどなたがお子さんをみていますか？ (1)平日の放課後、夜７時頃まで						
			家族がみている	きょうだいといっしょにいる	学童保育所の指導員	習い事や塾の先生	スポーツ少年団の指導員	友人など子どもだけで過ごしている	一人でいて、みる人はいない
全体		846	713	288	22	139	53	144	26
		100.0	84.3	34.0	2.6	16.4	6.3	17.0	3.1
学年別	１年生	164	151	64	5	24	3	16	0
		100.0	92.1	39.0	3.0	14.6	1.8	9.8	0.0
	２年生	145	128	56	5	13	7	23	1
		100.0	88.3	38.6	3.4	9.0	4.8	15.9	0.7
	３年生	135	116	38	3	37	5	25	3
		100.0	85.9	28.1	2.2	27.4	3.7	18.5	2.2
	４年生	140	115	49	7	25	7	21	4
		100.0	82.1	35.0	5.0	17.9	5.0	15.0	2.9
	５年生	127	100	40	1	20	14	26	9
		100.0	78.7	31.5	0.8	15.7	11.0	20.5	7.1
	６年生	133	101	41	1	19	17	33	9
		100.0	75.9	30.8	0.8	14.3	12.8	24.8	6.8

（第２章 2.② 65ページ）

		合計	問10平日の放課後や土曜日は、主にどなたがお子さんをみていますか？ (2)土曜日の昼間						
			家族がみている	きょうだいといっしょにいる	学童保育所の指導員	習い事や塾の先生	スポーツ少年団の指導員	友人など子どもだけで過ごしている	一人でいて、みる人はいない
全体		842	750	333	5	65	86	97	11
		100.0	89.1	39.5	0.6	7.7	10.2	11.5	1.3
学年別	１年生	165	156	74	2	15	4	7	0
		100.0	94.5	44.8	1.2	9.1	2.4	4.2	0.0
	２年生	144	134	62	2	6	10	10	1
		100.0	93.1	43.1	1.4	4.2	6.9	6.9	0.7
	３年生	134	128	50	0	11	13	14	2
		100.0	95.5	37.3	0.0	8.2	9.7	10.4	1.5
	４年生	140	120	56	1	8	15	20	3
		100.0	85.7	40.0	0.7	5.7	10.7	14.3	2.1
	５年生	126	105	44	0	11	20	21	3
		100.0	83.3	34.9	0.0	8.7	15.9	16.7	2.4
	６年生	131	105	47	0	13	24	25	2
		100.0	80.2	35.9	0.0	9.9	18.3	19.1	1.5

（第２章 3.(4)② 79ページ）

		合計	問39子どもと出かける時や、子どもが外で過ごす時、困ることは何ですか？								
			子どもが使えるトイレ	子どもと休憩する場所	歩道の段差など	用事の時の遊び場所	歩道や信号など事故の危険	犯罪の危険	交通費がかかる	その他	特に困ることはない
全体		812	57	82	124	168	362	399	57	25	152
		100.0	7.0	10.1	15.3	20.7	44.6	49.1	7.0	3.1	18.7
学年別	１年生	160	19	19	30	42	80	84	9	4	20
		100.0	11.9	11.9	18.8	26.3	50.0	52.5	5.6	2.5	12.5
	２年生	138	12	15	16	35	66	69	11	5	21
		100.0	8.7	10.9	11.6	25.4	47.8	50.0	8.0	3.6	15.2
	３年生	130	8	10	22	34	63	60	6	5	22
		100.0	6.2	7.7	16.9	26.2	48.5	46.2	4.6	3.8	16.9
	４年生	131	4	13	24	20	61	71	10	3	26
		100.0	3.1	9.9	18.3	15.3	46.6	54.2	7.6	2.3	19.8
	５年生	124	9	15	17	18	47	60	8	1	29
		100.0	7.3	12.1	13.7	14.5	37.9	48.4	6.5	0.8	23.4
	６年生	127	5	9	14	18	44	55	13	7	34
		100.0	3.9	7.1	11.0	14.2	34.6	43.3	10.2	5.5	26.8

（第２章 4.(2)② 84ページ）

		合計	問42お母さんのお仕事は何ですか？							
			会社員(正社員)	公務員・団体職員	パート・ｱﾙﾊﾞｲﾄ	契約社員・派遣社員	自営業・家族従業	内職・在宅勤務	専業主婦	その他
全体		833	66	37	323	20	67	30	275	15
		100.0	7.9	4.4	38.8	2.4	8.0	3.6	33.0	1.8
学年別	１年生	163	15	5	49	3	14	8	67	2
		100.0	9.2	3.1	30.1	1.8	8.6	4.9	41.1	1.2
	２年生	142	4	6	55	1	11	9	48	8
		100.0	2.8	4.2	38.7	0.7	7.7	6.3	33.8	5.6
	３年生	135	8	5	42	5	9	3	63	0
		100.0	5.9	3.7	31.1	3.7	6.7	2.2	46.7	0.0
	４年生	139	14	6	54	5	12	7	40	1
		100.0	10.1	4.3	38.8	3.6	8.6	5.0	28.8	0.7
	５年生	122	10	10	63	2	8	1	28	0
		100.0	8.2	8.2	51.6	1.6	6.6	0.8	23.0	0.0
	６年生	129	15	5	58	3	13	2	29	4
		100.0	11.6	3.9	45.0	2.3	10.1	1.6	22.5	3.1

（第２章 4.(3)① 87ページ）

		合計	問48お父さんのお仕事は何ですか？								
			会社員(正社員)	公務員・団体職員	パート・ｱﾙﾊﾞｲﾄ	契約社員・派遣社員	自営業・家族従業	内職・在宅勤務	家事専業	その他	父はいない
全体		812	537	86	4	5	127	1	2	14	36
		100.0	66.1	10.6	0.5	0.6	15.6	0.1	0.2	1.7	4.4
学年別	１年生	159	110	16	0	1	23	0	0	5	4
		100.0	69.2	10.1	0.0	0.6	14.5	0.0	0.0	3.1	2.5
	２年生	140	96	11	0	0	26	1	0	2	4
		100.0	68.6	7.9	0.0	0.0	18.6	0.7	0.0	1.4	2.9
	３年生	132	90	9	2	1	20	0	0	2	8
		100.0	68.2	6.8	1.5	0.8	15.2	0.0	0.0	1.5	6.1
	４年生	138	91	17	0	1	18	0	1	2	8
		100.0	65.9	12.3	0.0	0.7	13.0	0.0	0.7	1.4	5.8
	５年生	118	72	20	0	0	21	0	0	1	4
		100.0	61.0	16.9	0.0	0.0	17.8	0.0	0.0	0.8	3.4
	６年生	123	76	13	2	2	19	0	1	2	8
		100.0	61.8	10.6	1.6	1.6	15.4	0.0	0.8	1.6	6.5